

仙台市博物館年報

第 37 号

平成 21 年度

目 次

ごあいさつ

1. 展示	2
常設展示・国指定文化財の公開／特別展・企画展／ リニューアル工事の概要	
2. 資料の収集保管	28
受贈資料／購入資料／寄託資料／資料修理／資料保存／ 資料貸出／写真資料貸出・利用	
3. 教育・普及	33
講座・イベント／プレイミュージアム／情報資料センター／ 学校教育との連携／広報／刊行物グッズ等	
4. 調査・研究	45
5. 市史編さん事業	46
6. ボランティア	50
7. 友の会	51
8. 組織・予算・運営	52
仙台市博物館組織図／事務分掌／予算概要／職員／ 仙台市博物館協議会／仙台市史編さん委員会	
9. 利用状況	56
月別観覧者数／施設利用状況	
10. 条例・規則・要綱等	58
仙台市博物館条例／仙台市博物館条例施行規則／ 仙台市史編さん委員会設置要綱	
11. 仙台市博物館のあゆみ	64

ごあいさつ

「仙台城ガイダンス機能拡充等事業」については、平成15年に仙台城跡が国史跡指定を受けたことに伴い、平成17年度に「仙台城跡整備基本計画」が策定され、三の丸蔵屋敷区域の整備内容として、当館におけるガイダンス機能の展開や、登城路の整備等が提唱されました。それを受けて、平成19年度基本計画の策定、20年度の総合設計完了を経て、今年度は館内改修工事に着手いたしました。常設展示には、新たに「城」「藩」「町」に関する展示コーナーを新設し、特に仙台城や城下町を中心とする展示コーナーが充実します。加えて、多くの方々が心地よく当館を利用できるような展示ケース及び照明設備の改変やレイアウトの変更、音声ガイドの充実など、見やすく、分かりやすい博物館として整備されています。

平成21年度は、常設展示室の改修工事に伴い8月30日までの開館となりました。

展覧会事業に関しましては、「朝鮮王朝の絵画と日本～宗達、大雅、若冲も学んだ隣国の美～」 「古代カルタゴとローマ展～きらめく地中海文明の至宝～」の2回の特別展を行い、常設展では春・夏と2回の展示替を行ったほか、各展覧会に関連する講演会や各種イベントなどの事業を展開しました。市民の皆様により身近に博物館を感じていただくため、特別展における従来の企画に加え、子供たちにも楽しめる体験型のイベントを数多く実施し、好評を博しました。

市史編さん事業では、『通史編7 近代2』『特別編8 慶長遣欧使節』を刊行いたしました。慶長遣欧使節を乗せたサン・ファン・パウティスタ号は1613年（慶長18）に出帆しており、2013年には出帆から400年を迎えることとなります。『特別編8 慶長遣欧使節』は、当館所蔵の国宝「慶長遣欧使節関係資料」はもちろん、国内外に所在する文献史料、美術資料を博搜し、慶長遣欧使節の全貌に迫る一書となっております。

ぜひとも、多くの皆様に仙台市博物館にお出かけいただき、貴重な歴史資料をご活用いただけますようお願い申し上げます。

仙台市博物館

館長 佐藤 敏 国

1. 展 示

常 設 展 示

(1) 展示概要と使用展示室

当館には常設展示室が8室ある。

総合展示室Ⅰ・Ⅱ・Ⅲは、通史展示で、23の大テーマで構成されている。総合展示室Ⅰは、旧石器時代から戦国時代、Ⅱは江戸時代、Ⅲは明治から昭和にかけての各時代を扱っている。

テーマ展示室は2室ある。テーマ展示室Ⅰは、「仙台藩の武器・武具」と題し、重要文化財「黒漆五枚胴具足（伊達政宗所用）」など仙台藩歴代藩主の具足をはじめ、陣羽織、刀剣などを展示している。テーマ展示室Ⅱでは、「支倉常長と東北のキリシタン」と題し、2001年に歴史資料としてはじめて国宝に指定された「慶長遣欧使節関係資料」を展示している。

なお、テーマ展示室は、前室と奥室の二つの空間から成るが、テーマ展示室Ⅱの奥室は、資料保存の観点から閉室する場合もあった。

コレクション展示室では、当館の特徴的なコレクション類を特集して展示している。コレクション展示室Ⅰでは、茶道具や古人形、漆工芸、陶磁器を展示している。このコレクション展示室Ⅰの前には、特別ケースを設置し、浮世絵を常時展示している。コレクション展示室Ⅱでは、主として絵画を展示している。

これら展示室のほか、プレイミュージアムでは、前出の黒漆五枚胴具足や銀伊予札白糸威胴丸具足（豊臣秀吉所用・伊達政宗拝領）などの複製資料を展示している。また、郷土玩具なども豊富にそろえ大人から子供まで楽しめる体験型展示を行っている。その詳細については、「3. 教育・普及 プレイミュージアム」の項を参照されたい。

(2) 平成21年度の常設展示

現在、当館は、9万点を超える資料を収蔵している。これらの資料を可能な限り数多く展示し、来館者が楽しめるよう、当館では、平成9年度より、季節ごとに年4回の常設展展示替えを実施している。展示替えに当たっては、春であれば「雛祭り」や「花見」、夏は「七夕」、冬は「正月」にかかわる資料を取り上げるなど、季節感を感じさせるよう工夫し

ている。この「変わる常設展」ともいべき取り組みによって、「常設展」という言葉から想起される「いつも同じ内容」というイメージを少しずつ払拭しリピーターの増加につなげている。

なお、平成21年度は、改修工事（後述）のために、春の展示・夏の展示のみとなった。常設展の展示替えの詳細については、小テーマは右頁「表1」を、その具体的な展示資料については後掲「常設展示展示資料目録（抄録）」を参照されたい。

(3) 外国人来館者への配慮

年々増加の傾向を見せる外国人の来館者に、展示をより深く理解していただくために、これまで当館では以下のようなさまざまな取り組みを進めてきた。

- 1 英・中・韓3カ国語対応の音声ガイドの導入
- 2 英文パンフレットの作成
- 3 小テーマの解説への英・中・韓3カ国語併記
- 4 展示資料のキャプションへの英文併記

なお、当館では、「慶長遣欧使節」を取り上げるテーマ展示室Ⅱの隣にミニシアターを設置し、「支倉常長－光と影－」と題する映像ソフトを上映しているが、この字幕にも英文を併記している。

(4) 今後の課題

当館は、平成19年度より「仙台城ガイダンス機能拡充等事業」に係る準備を進めてきた。平成21年度は、9月1日より常設展示室やミュージアム・ストリートの改修工事を実施、平成22年4月20日、いよいよリニューアルオープンする（以上、詳細は別項参照）。

当館は、平成23年に開館50周年を迎える。これらを機会に、今後もより一層、サービスの向上に務めていくとともに、展示・収集・保存・調査研究という博物館の担うべき役割を果たしていきたいと思う。



改修前の総合展示室Ⅱ（平成21年8月30日撮影）

表1 平成21年度(2009)常設展展示替え一覧

展示室	コーナー	2009春の展示 3/10 - 5/31		2009夏の展示 6/2 - 8/30
総合Ⅰ	1 旧石器の世界	上ノ原山遺跡・川添東遺跡出土の石器		上ノ原山遺跡・川添東遺跡出土の石器
	2 狩猟・採集から稲作へ	高柳遺跡・六反田遺跡の出土資料ほか		高柳遺跡・六反田遺跡の出土資料ほか
	3 古墳と豪族	遠見塚古墳・裏町古墳の出土資料ほか		遠見塚古墳・裏町古墳の出土資料ほか
	4 みちのくと律令制	郡山遺跡・陸奥国分寺の出土資料ほか		郡山遺跡・陸奥国分寺の出土資料ほか
	5 中世の信仰と生活	陸奥国分寺の仏像1ほか		陸奥国分寺の仏像2ほか
	6 伊達氏と戦国の群雄	戦国伊達氏三代・穂宗・晴宗・輝宗		鎌倉・室町時代の伊達氏
総合Ⅱ	7 伊達政宗	政宗、おもしろエピソード		教養人、政宗
	8 南奥羽の統一と小田原参陣	政宗、小田原へ		政宗、仙台へ
	9 仙台開府	3/10 - 4/5 仙台北障壁画	4/7 - 5/13 仙台藩の武器・武具と仙台北障壁画	6/2 - 8/30 仙台藩の武器・武具と野馬図屏風
	10 仙台藩の家臣団	家臣たちのお給料		歴代藩主と家臣たち
	11 寛文事件	刃傷の当事者、伊達安芸と原田甲斐		斬った者と斬られた者ー原田甲斐と伊達安芸ー
	12 街道と宿場	奥州の名所		旅の案内記
	13 藩校と寺子屋	仙台藩の学者たち		仙台藩校養賢堂
	14 城下町仙台の人とくらし	1594年の花見、仙台の花見		伊達家の七夕、仙台の七夕
	15 村の生活			
	16 飢饉と城下の衰退	仙台藩の飢饉とその備え		仙台藩の飢饉とその備え
17 林子平と海防論	林子平と三国通覧図説		林子平と海国兵談	
18 異国船の渡来と開国	～4/5 仙台藩の洋式船「開成丸」	4/7 - 国宝・慶長遣欧使節関係資料 (公民権証書4/7 - 5/31、8/18-30、祭服4/7 - 5/31、壁掛6/2 - 8/30)		
総合Ⅲ	19 戊辰戦争	戊辰戦争をめぐる人々		仙台藩と戊辰戦争
	20 明治維新と文明開化	明治の新制度		廃藩置県
	21 自由民権と立憲政治	言論と自由民権運動		西南戦争と仙台
	22 近代教育と教科書	国語の教科書		修身の教科書
	23 戦争と市民	戦時中の仙台		戦時中の仙台
企画展示室		閉室		
テーマⅠ	仙台藩の武器武具	3/10 - 4/5 仙台藩の武器・武具 重要文化財三沢初子の帯	4/17 - 5/24 特別展「朝鮮王朝の絵画と日本」 ※4/7 - 16閉室	6/12 - 8/16 特別展「世界遺産カルタゴ」 ※5/26 - 6/11、8/18 - 30閉室
テーマⅡ	慶長遣欧使節 前室	3/10 - 4/5 慶長遣欧使節関係資料		
	慶長遣欧使節 奥室	閉室		
コレクションⅠ	北側ケース(陶磁器)	宮城の焼物		切込焼
	中央ケース	伊達家の化粧道具と衣桁		
	奥室	堤人形と山形の古人形		芝居と東北の古人形
	L	漆手板		切込焼
	S 茶道具	茶道具5		茶道具6
	浮世絵	幕末・明治の錦絵40		幕末・明治の錦絵41
コレクションⅡ		3/10 - 4/5 仙台藩と黄檗宗	4/17 - 5/24 特別展「朝鮮王朝の絵画と日本」 ※4/7 - 16閉室	6/12 - 8/16 特別展「世界遺産カルタゴ」 ※5/26 - 6/11、8/18 - 30閉室
プレイミュージアム		3/17 - 4/5 「投扇興」	4/14 - 5/24 「つくって遊ぼう!チエギチャギ」	6/9 - 8/16 「チュニジアのお守りをつくろう」

常設展示展示資料目録

1. コレクション名については一部略記した。
2. その他の略記事項については以下の通り。
仙台市博物館蔵資料 = 館蔵 伊達家寄贈文化財 = 伊文
仙台市教育委員会 = 仙台市教委 世紀 = C
コレクション = C

総合展示室 I

1 旧石器の世界

2009.3/10～8/30

1. 上ノ原山遺跡出土石器 約2～1.5万年前 17点
仙台市教委蔵
2. 川添東遺跡出土石器 約1.6～1.3万年前 11点
仙台市教委蔵

2 狩猟・採集から稲作へ

2009.3/10～8/30

1. 北原街道B遺跡出土土器・石器 縄文時代前期 2件4点
仙台市教委蔵
2. 北前遺跡出土土器 縄文時代前期 1点 仙台市教委蔵
3. 高柳遺跡出土土器 縄文時代中期 3点 仙台市教委蔵
4. 山田上ノ台遺跡出土土器 縄文時代中期 1点
仙台市教委蔵
5. 六反田遺跡出土土器・石器 縄文時代後期 2件11点
仙台市教委蔵
6. 梨野A遺跡出土土器 縄文時代晩期 3点 仙台市教委蔵
7. 山口遺跡出土土製品 縄文時代後期 2件2点
仙台市教委蔵
8. 恵比須田遺跡土偶(複製) 縄文時代晩期 1点 館蔵
9. 南小泉遺跡出土土器 弥生時代中期 3点
東北大考古学研究室蔵
10. 中在家南遺跡出土土器 弥生時代中期 6点 仙台市教委蔵
11. 富沢遺跡出土木製品 弥生時代中期 2点 仙台市教委蔵
12. 下ノ内浦遺跡出土土器・石器・土製品 弥生時代中期～後期
3件6点 仙台市教委蔵

3 古墳と豪族

2009.3/10～8/30

1. 戸ノ内遺跡出土土器 4C 2点 仙台市教委蔵
2. 遠見塚古墳出土土器・石製品・ガラス製品 4C末～5C
3件35点 仙台市教委蔵
3. 南小泉遺跡出土須恵器壺 5C後半 1点 仙台市教委蔵
4. 裏町古墳出土銅鏡・埴輪・金属製品 5C後半 4件5点
仙台市教委蔵

5. 大野田古墳群出土埴輪 5C後半～6C 2件2点
仙台市教委蔵
6. 鴻ノ巣遺跡出土遺物 5C 3件9点 仙台市教委蔵
7. 栗遺跡出土土器 7C 10点 仙台市教委蔵
8. 宗禅寺横穴墓群出土土器 7C後半～8C前半 5点
仙台市教委蔵

4 みちのくと律令制

2009.3/10～8/30

1. 郡山遺跡出土瓦・土器・硯・木簡・金属製品
7C後半～8C前半 5件10点 仙台市教委蔵
2. 陸奥国分寺跡出土瓦・土器 奈良～平安時代 2件3点
仙台市教委蔵
3. 陸奥国分寺跡出土金属製品 奈良～平安時代 1点
東北大考古学研究室蔵
4. 陸奥国分寺跡出土瓦(複製) 奈良～平安時代 1点 館蔵
5. 陸奥国分寺跡復元模型 奈良～平安時代 1点 館蔵
6. 陸奥国分尼寺跡出土土器 平安時代 1点
東北大考古学研究室蔵
7. 八幡西遺跡出土土器・金属製品 平安時代 2件8点
仙台市教委蔵

5 中世の信仰と生活

2009.3/10～8/30

1. 東光寺遺跡出土瓦 14C 4点 仙台市教委蔵
2. 鴻ノ巣遺跡出土山茶碗窯系陶器 12～13C 1点
仙台市教委蔵
3. 鴻ノ巣遺跡出土木製品 12～13C 2点 仙台市教委蔵
4. 鴻ノ巣遺跡出土中国青磁碗 13～14C 2点 仙台市教委蔵
5. 鴻ノ巣遺跡出土常滑甕 14C 1点 仙台市教委蔵
6. 鴻ノ巣遺跡中国銭(聖宋元寶) 北宋 1点 仙台市教委蔵
7. 今泉遺跡出土物忌札 14C 3点 仙台市教委蔵
8. 王ノ壇遺跡出土陶器
(美濃須衛三筋壺、渥美刻文壺、須恵器系陶器壺) 12C
3件3点 仙台市教委蔵
9. 王ノ壇遺跡出土在地産甕、搦鉢 13～14C 2件2点
仙台市教委蔵
10. 王ノ壇遺跡出土古瀬戸製品(水注、卸皿) 13C 2点
仙台市教委蔵
11. 王ノ壇遺跡出土古瀬戸梅瓶 14C 1点
仙台市教委蔵
12. 王ノ壇遺跡出土古瀬戸天目茶碗 14C 1点 仙台市教委蔵
13. 王ノ壇遺跡出土中国産緑釉陶器盤 13～14C 1点
仙台市教委蔵
14. 王ノ壇遺跡出土中国産青磁碗、皿 12～13C 2件2点
仙台市教委蔵
15. 王ノ壇遺跡出土中国産白磁四耳壺 11～13C 1点
仙台市教委蔵

16. 王ノ壇遺跡出土土温石 13~14C 1点 仙台市教委蔵
 17. 王ノ壇遺跡出土土柁 12~13C 1点 仙台市教委蔵
 18. 柳生台畑遺跡出土古瀬戸瓶子 13C後半 1点 仙台市教委蔵

「陸奥国分寺の仏像1」 2009.3/10~5/31

1. 木造不動明王立像 鎌倉 1 軀 陸奥国分寺
 2. 木造十二神将立像のうち子神像 鎌倉 1 軀 陸奥国分寺
 3. 木造十二神将立像のうち丑神像 鎌倉 1 軀 陸奥国分寺
 4. 木造十二神将立像のうち巳神像 鎌倉 1 軀 陸奥国分寺
 5. 木造十二神将立像のうち午神像 鎌倉 1 軀 陸奥国分寺

「陸奥国分寺の仏像2」 6/2~8/30

1. 木造毘沙門天立像 鎌倉 1 軀 陸奥国分寺
 2. 木造十二神将立像のうち寅神像 鎌倉 1 軀 陸奥国分寺
 3. 木造十二神将立像のうち辰神像 鎌倉 1 軀 陸奥国分寺
 4. 木造十二神将立像のうち申神像 鎌倉 1 軀 陸奥国分寺
 5. 木造十二神将立像のうち亥神像 鎌倉 1 軀 陸奥国分寺



1. 木造毘沙門天立像

6 伊達氏と戦国の群雄

「戦国伊達氏三代-種宗・晴宗・輝宗」 2009.3/10~5/31

1. 伊達種宗画像(伊達家歴代画真のうち) 長谷川養辰筆 享保9年 1面 伊文
 2. 伊達晴宗画像(伊達家歴代画真のうち) 長谷川養辰筆 享保9年 1面 伊文
 3. 伊達輝宗画像(伊達家歴代画真のうち) 長谷川養辰筆 享保9年 1面 伊文
 4. 重要文化財 塵芥集(村田親重献上本) 天文5年4月14日 1冊 伊文
 5. 棟役日記 天文4年3月 1冊 伊文
 6. 伊達種宗安堵状 福田備後守宛 (大永3年)12月22日 1通 伊文
 7. 伊達種宗書状 神谷常陸宛 年未詳6月14日 1通 伊文
 8. 足利義晴一字状 伊達次郎宛 (天文2年5月10日) 1通 伊文

9. 足利義輝御内書 伊達晴宗宛 (永禄2年)9月24日 1通 伊文
 10. 晴宗公采地下賜録 天文24年 2冊 伊文
 11. 伊達輝宗日記 天正2年 1冊 伊文

「鎌倉・室町時代の伊達氏」 6/2~8/30

1. 伊達正統世次考 元禄16年 2冊 伊文
 2. 伊達宗遠一揆契状 永和2年8月28日 1通 伊文
 3. 伊達政宗一揆契状 永和3年10月10日 1通 伊文
 4. 伊達氏宗知行安堵状 応永14年3月15日 1通 国分家資料
 5. 伊達持宗施行状 文安2年10月17日 1通 国分家資料
 6. 成宗公御上洛之日記写 文明15年 1冊 伊文
 7. 伊達尚宗書状 年未詳11月28日 1通 伊文
 8. 伊達朝宗画像(伊達家歴代画真のうち) 長谷川養辰筆 享保9年 1面 伊文
 9. 伊達政宗画像(伊達家歴代画真のうち) 長谷川養辰筆 享保9年 1面 伊文
 10. 伊達成宗画像(伊達家歴代画真のうち) 長谷川養辰筆 享保9年 1面 伊文
 11. 伊達政宗知行配分状 嘉慶2年7月4日 1通 国分家資料
 12. 伊達政宗知行安堵状 応永9年11月30日 1通 国分家資料

総合展示室Ⅱ

7 伊達政宗

「政宗、おもしろエピソード」 2009.3/10~5/31

1. 伊達政宗書状 (只野作十郎宛) 年未詳正月9日 1幅 館蔵
 2. 伊達政宗書状 茂庭綱元宛 (慶長15年)8月14日 1巻 館蔵
 3. 伊達政宗書状 村左宛 年月未詳20日 1幅 館蔵
 4. 伊達政宗書状 茂庭綱元宛 年未詳10月1日 1幅 三原良吉C
 5. 西大條右兵衛書付 年未詳6月16日 1通 伊文
 6. 小倉百人一首 伊達政宗筆 慶長12年5月5日 1冊 伊文
 7. 金梨子地葵紋桐紋糸巻太刀拵 瑞鳳殿発掘資料 江戸初期 1振 伊達貞宗氏寄贈
 8. 煙管 瑞鳳殿発掘資料 江戸初期 2本 伊達貞宗氏寄贈
 9. 懐中鏡 瑞鳳殿発掘資料 江戸初期 1面 伊達貞宗氏寄贈
 10. 文鎮 瑞鳳殿発掘資料 江戸初期 1口 伊達貞宗氏寄贈
 11. 黄金製ブローチ 瑞鳳殿発掘資料 江戸初期 1点 館蔵
 12. 慶長一分金 瑞鳳殿発掘資料 江戸初期 3枚 館蔵
 13. 墨 瑞鳳殿発掘資料 16C末~17C初期 1点 伊達貞宗氏寄贈

「教養人・政宗」 6/2~8/30

1. 伊達政宗画像 狩野安信筆 江戸前期 1幅 伊文
 2. 伊達政宗自筆書状 金森重頼宛 (寛永3年)8月16日 1幅 伊文

3. 貞山公治家記録卷之三十二 寛永3年8月15日条 1冊
伊文
4. 伊達政宗自筆書状 名村金右衛門宛 年未詳4月26日 1幅
阿部次郎C
5. 伊達政宗自筆書状 進藤長滋宛 (寛永10年)9月9日 1卷
館蔵
6. 伊達政宗筆和文「今更に」 慶長19年 1卷 伊文
7. 伊達政宗筆「小倉百人一首」 慶長12年 1冊 伊文
8. 金梨子地葵紋桐紋糸巻太刀拵 瑞鳳殿発掘資料 江戸初期
1振 伊達貞宗氏寄贈
9. 煙管 瑞鳳殿発掘資料 江戸初期 2本 伊達貞宗氏寄贈
10. 懐中鏡 瑞鳳殿発掘資料 江戸初期 1面 伊達貞宗氏寄贈
11. 文鎮 瑞鳳殿発掘資料 江戸初期 1口 伊達貞宗氏寄贈
12. 黄金製ブローチ 瑞鳳殿発掘資料 江戸初期 1点 館蔵
13. 慶長一分金 瑞鳳殿発掘資料 江戸初期 3枚 館蔵
14. 墨 瑞鳳殿発掘資料 16C末~17C初期 1点
伊達貞宗氏寄贈

8 南奥羽の統一と小田原参陣

「政宗、小田原へ」 2009.3/10~5/31

1. 豊臣秀吉朱印状写 北条氏直宛 天正17年11月24日
1通 伊文
2. 伊達政宗画像(複製) 狩野安信筆 江戸前期 1幅 館蔵
3. 北条氏直書状 伊達政宗宛 (天正18年)1月17日 1通
伊文
4. 北条氏照書状 伊達政宗宛 (天正13年)6月11日 1幅
片倉家資料
5. 豊臣秀吉小田原陣立書 (天正17年)11月20日 1幅 伊文
6. 上郡山仲為・和久宗是連書覚書 桑折宗長等宛 (天正17年)
11月20日 1通 伊文
7. 和久宗是書状 伊達政宗宛 (天正18年)7月1日 1通
伊文
8. 浅野長政書状 伊達政宗宛 (天正18年)4月20日 1通
伊文
9. 伊達政宗書状 中島宗求宛 (天正18年)4月21日 1幅
館蔵
10. 増田長盛書状 伊達政宗宛 (天正18年)7月1日 1通
伊文

「政宗、仙台へ」 6/2~8/30

1. 国分千代御城之事 江戸 1通 千田家資料
2. 三体詩鈔 雪心素隠著 寛永14年刊 1冊 館蔵
3. 伊達政宗甲冑像(複製) 狩野探幽筆 江戸初期 1幅 伊文
4. 伊達政宗和歌詠草「入そめて」 伊達政宗筆 江戸時代初期
1幅 伊文
5. 仙台橋(大橋)の擬宝珠 慶長6年 1口 (財)齋藤報恩会蔵
6. 大崎八幡来由記 画:松原探水筆 実政泰音著 享保元年
1巻 大崎八幡宮蔵
7. 田町願書写 寛永18年8月26日 1綴 伊文

8. 金銅菊唐草文八双金具 仙台北城丸跡出土 桃山 1点
仙台市教委蔵
9. 金箔押菊丸瓦 仙台北城丸跡出土 桃山 1点
仙台市教委蔵
10. 青ガラスモール鉢片 仙台北城丸跡出土 17C前半 1点
仙台市教委蔵
11. 伊達政宗伝馬黒印状 慶長15年1月15日 1通 片倉家資料
12. 伊達政宗書状 石川昭光宛 慶長5年9月晦日 1幅 館蔵
※No.8は6/2~7/26の展示
※No.9は7/28~8/30の展示

9 仙台開府

「仙台北城障壁画」 2009.3/10~4/5

1. 扇面図屏風 慶長10年 2曲1隻 伊文
 2. 竹図屏風 慶長10年 2曲1隻 館蔵
 3. 赤壁図屏風 東洋洋筆 文政3年 6曲1双 個人蔵
- 4/7~5/31
1. 鉄錆地五枚胴具足 江戸中期 1領 伊文
 2. 重要文化財 黒漆五枚胴具足 伊達政宗所用
兜銘「宗久」 桃山 1領 伊文
 3. 赤羅紗地二引両紋陣羽織 江戸後期 1領 目黒照子氏寄贈
 4. 黒漆五枚胴具足 伝伊達政宗所用 桃山 1領 駒形神社蔵
 5. 赤呉呂地金束菖蒲紋陣羽織 江戸 1領 菅野家資料
 6. 重要文化財 山形文様陣羽織 伊達政宗所用 桃山 1領
伊文
 7. 扇面図屏風 慶長10年 6曲1双 伊文
※No.2・6は5/19~5/31の展示
※No.3は4/7~4/26の展示
※No.4は4/7~5/17の展示
※No.5は4/28~5/17の展示

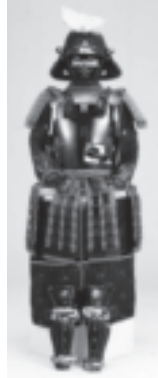
6/2~8/30

1. 黒呉細地竹に雀紋火事装束 江戸後期 1領 館蔵
2. 野馬図屏風 荒川洞月筆 江戸後期 6曲2隻 伊文
3. 黒漆五枚胴具足 伝片倉重綱所用 江戸初期 1領
片倉家資料
4. 黒漆五枚胴具足 2代伊達忠宗所用 江戸前期 1領 伊文
5. 緋羅紗地北斗七星文様陣羽織 江戸後期 1領
佐藤正人氏寄贈
6. 野馬図屏風 荒川洞月筆 江戸後期 6曲2隻 伊文
7. 重要文化財 銀伊予札白糸威胴丸具足
豊臣秀吉所用・伊達政宗拝領 桃山 1領 伊文
8. 黒漆五枚胴具足 4代伊達綱村所用 江戸前期 1領 伊文
9. 黒羅背板地胴服 伊達政宗所用 江戸初期 1領
菅野家資料
10. 重要文化財 黒漆五枚胴具足 伊達政宗所用
兜銘「宗久」 桃山 1領 伊文
※No.1は6/2~6/28の展示

※No.2は6/2~7/12の展示
 ※No.3・4は6/2~7/26の展示
 ※No.5は6/30~7/26の展示
 ※No.6は7/14~8/30の展示
 ※No.7は7/28~8/16の展示
 ※No.8・9は7/28~8/30の展示
 ※No.10は8/18~8/30の展示



3. 黒漆五枚胴具足
伝片倉重綱所用



4. 黒漆五枚胴具足
2代伊達忠宗所用

10 仙台藩の家臣団

「家臣たちのお給料」 2009.3/10~5/31

- 御切米御扶持方帳 寛文10年8月7日 2冊 伊文
- 御扶持方渡通帳 嘉永7年6月2日 1冊 三原良吉C
- 御切米御役料給付木札 元治元年11月 1点 国分家資料
- 伊達政宗自筆書状 奥山常辰宛 (寛永4年)5月23日
1幅 菅野家資料
- 伊達吉村領知朱印状 武田左太郎宛 宝永元年6月 1通
武田家資料
- 知行割御目録 武田左太郎宛 宝永元年6月 1通
武田家資料
- 名取郡手倉田村御検地帳 延宝6年3月5日写 1冊
濱田史氏寄贈
- 名取郡手倉田村濱田平十郎割地百姓高名付帳
元禄16年2月22日 1冊 濱田史氏寄贈
- 左沼要害図 江戸 1鋪 伊文
- 涌谷要害図 江戸 1鋪 伊文
- 亘理要害図 江戸 1鋪 伊文

「歴代藩主と家臣たち」 6/2~8/30

- 御家中衆先祖書牒 元禄4年5月 2冊 伊文
- 伊達世臣家譜 寛政4年 2冊 伊文
- 三代勤功書 江戸中期 2冊 伊文
- 白石城図 江戸 1鋪 伊文
- 亘理要害図 1鋪 伊文
- 岩谷堂(江刺)要害図 1鋪 伊文
- 仙台藩歴代藩主領知朱印状 江戸時代 1巻 濱田史氏寄贈
- 恩賜録并献上物覚 安政1~元治1 1冊 濱田家資料
- 下坐絵図 濱田縫殿助筆 年月日未詳 1冊 濱田家資料

- 覚間沢境絵図 延宝9年4月2日 1鋪 伊文
- 江刺郡人首村覚間沢南部領出入絵図 寛永19年6月15日
1鋪 伊文

11 寛文事件

「刃傷の当事者、伊達安芸と原田甲斐」 2009.3/10~5/31

- 伊達の黒箱 寛文11年 1点 伊文
 - 浮世絵「伽羅先代萩」「高尾(岩井糸三郎)と頼兼(坂東彦三郎)」
三代歌川豊国画 文久元年 2枚続 大宮司C
 - 福井玄孝書状 まんしゅういん宛 (寛文11年)4月22日
1通 伊文
 - 浮世絵「伽羅先代萩」「八汐・鶴千代・政岡・千松・沖の井」
歌川国芳画 弘化4年~嘉永5年 3枚続 大宮司C
 - 浮世絵「伽羅先代萩」
「当麻鬼貫・仁木弾正・渡辺外記左衛門・山名宗全」
三代歌川豊国画 弘化4年~嘉永5年 3枚続 大宮司C
 - 浮世絵「伽羅先代萩」
「弾正姉八汐・局政岡・荒獅子男之助・仁木弾正」
三代歌川豊国画 安政4年 3枚続 大宮司C
 - 伊達氏重臣連署血判起請文 (万治3年)7月16日 1通
伊文
 - 原田家由緒書上 (貞享4年)1月晦日 1綴 伊文
 - 浮世絵「文楽座新狂言伽羅先代萩」 楊州周延画 明治18年
3枚続 大宮司C
 - 原田甲斐宗輔覚書 年未詳3月7日 1通 館蔵
- 「斬った者と斬られた者—原田甲斐と伊達安芸—」 6/2~8/30
- 大文字屋宛書状等写 江戸後期 1冊 館蔵
 - 伊達政宗と二十四将図 明治 1幅 青木家資料
 - 伊達氏重臣連署血判起請文 (万治3年)7月16日
1通 伊文
 - 伊達安芸宗重画像 江戸後期 1幅 松川マサ氏寄贈
 - 原田甲斐宗輔覚書 年未詳3月7日 1通 館蔵
 - 伊達安芸跡目相続についての書付 寛文11年7月 1綴
個人蔵
 - 伊達安芸宗重書状 伊達宗元・伊達宗信宛 (寛文11年)
3月26日 1巻 個人蔵
 - 原田家由緒書上 (貞享4年)1月晦日 1綴 伊文
 - 伊達綱宗画像(伊達家歴代画真のうち) 長谷川養辰筆
享保9年 1面 伊文
 - 伊達の黒箱 寛文11年 1点 伊文

12 街道と宿場

「奥州の名所」 2009.3/10~5/31

- 奥州仙台名所尽集 江戸後期 1枚 大宮司C
- 塩釜詣 文政8年 1冊 尚文館C
- 金華山詣 文政8年 1冊 尚文館C
- 仙府神社仏閣案内記 天保14年 1冊 尚文館C

5. 楽山公行列図巻 武藤弘毅 江戸後期～明治 2巻 伊文
6. 従江戸至仙台道法 江戸中期 1帖 館蔵
7. 雲龍図蒔絵印籠 底銘「松立斎(花押)」 江戸後期 1合 館蔵
8. 端午の節句蒔絵印籠 底銘「稲川作(印)」 江戸後期 1合 新津宗助C
9. 唐獅子牡丹蒔絵印籠 銘「羊遊斎」 江戸後期 1合 新津宗助C
10. 毛槍 2本

「旅の案内記」 6/2～8/30

1. 舟中一覽 塩竈・菅原陳之編 文政2年刊 1冊 尚文館C
2. 諸国順覧懷宝道中図鑑 嘉永5年刊 1冊 尚文館C
3. 東都芝萬松山泉岳禪寺略図 江戸時代 1枚 尚文館C
4. 奥州仙台領街道絵図 江戸中期 1帖 館蔵
5. 楽山公行列図巻 武藤弘毅 江戸後期～明治 2巻 伊文
6. 従江戸至仙台道法 江戸中期 1帖 館蔵
7. 雲龍図蒔絵印籠 底銘「松立斎(花押)」 江戸後期 1合 館蔵
8. 端午の節句蒔絵印籠 底銘「稲川作(印)」 江戸後期 1合 新津宗助C
9. 唐獅子牡丹蒔絵印籠 銘「羊遊斎」 江戸後期 1合 新津宗助C
10. 毛槍 江戸 2本 橋本信次郎氏寄贈

13 藩校と寺子屋

「仙台藩の学者たち」 2009.3/10～5/31

1. 養賢堂の図(複製) 江戸後期 1面 館蔵(原資料宮城県図書館蔵)
 2. 講堂小誌 大槻平泉著 明治25年9月2日刊 1冊 尚文館C
 3. 結社誓辞碑拓本 桜田欽斎撰 江戸後期 1幅 伊文
 4. 山水図 大槻習斎筆 文政8年6月 1幅 菊田C
 5. 朱竹図 石川桜所筆 年不詳 1幅 宮城正俊氏寄贈
 6. 理気鄙言 桜田欽斎著 文化元年刊 1冊 中村C
 7. 大槻俊斎書状 大槻龍之進宛 弘化3年5月1日 1巻 大槻祐一氏寄贈
 8. 存真図腋 佐々木中沢著・畠山仙江画 文政5年 1冊 山形敏一氏寄贈
 9. 養賢堂の机 江戸後期 1脚 関善内氏寄贈
 10. 寺子屋の机 江戸後期 1脚 石島庸男氏寄贈
- ※No.9・10は3/10～8/30の展示

「仙台藩校養賢堂」 6/2～8/30

1. 獅山公治家記録 元文元年11月1日条 1冊 伊文
2. 大槻平泉画像 東東洋画・高橋松亭模写 江戸後期 1幅 佐藤暉雄氏寄贈
3. 大舜命契図 東東洋筆 江戸後期 1幅 伊文
4. 養賢堂全図 江戸後期 1幅 館蔵

5. 藩主養賢堂出御次第書付 江戸末期 1綴 伊文
 6. 養賢堂版書経 江戸後期 2冊 館蔵
 7. 養賢堂版礼記 江戸後期 2冊 館蔵
 8. 大江時彦(佐藤時彦)所蔵の四書 江戸末期 3冊 佐藤時彦氏寄贈
 9. 養賢堂の図(複製) 江戸後期 1面 館蔵
- ※No.2は6/2～7/26の展示
※No.3は7/28～8/30の展示

14 城下町仙台の人とくらし

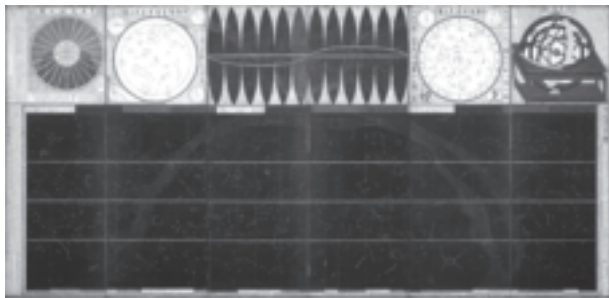
「1594年の花見」 2009.3/10～5/31

1. 古筆了延書状 古筆了延 清水道簡 延享元年9月15日 1通 館蔵
2. 古筆了延目録 延享元年9月中旬 1通 館蔵
3. 榴岡花見図屏風(仙台市指定文化財) 江戸中期 6曲1隻 大平成一氏・半田千里氏寄贈
4. 吉野懐紙内箱の銘書 林大学頭信充 江戸中期 1枚 館蔵
5. 人見又兵衛書状 人見又兵衛 野村宮門 江戸中期 1通 館蔵
6. 吉野懐紙中箱の銘書 人見又兵衛 江戸中期 2枚 館蔵
7. 吉野懐紙内箱 江戸中期 1合 館蔵
8. 吉野懐紙(重要美術品) 中巻 文禄3年2月29日 1巻 館蔵
9. 吉野懐紙(重要美術品) 下巻 文禄3年2月29日 1巻 館蔵
10. 吉野花見図屏風写真パネル 6枚

「伊達家の七夕、仙台の七夕」 6/2～8/30

1. 伊達綱村和歌詠草 七夕迎夜 伊達綱村 (元禄12年)7月7日 1通 伊文
2. 伊達政宗和歌詠草 伊達政宗 元和4年 1幅 館蔵
3. 伊達吉村和歌詠草 名所七夕 伊達吉村 雲松院 江戸中期 1通 伊文
4. 和歌短冊 七夕 伊達吉村 江戸中期 1枚 伊文
5. 和歌短冊 あへるたなばた 伊達吉村 江戸中期 1枚 伊文
6. やくたい草 伊達慶邦 明治6年 1冊 伊文
7. 和歌短冊 七夕 伊達周宗 江戸後期 1枚 伊文
8. 和歌短冊 七夕天 伊達齊宗 文化11年 1枚 伊文
9. 和歌短冊 寄七夕契恋 伊達齊宗 文化11年 1枚 伊文
10. 和歌短冊 七夕 伊達慶邦 江戸後期 1枚 伊文
11. 和歌短冊 七夕祝 伊達慶邦 江戸後期 1枚 伊文
12. 和歌短冊 七夕鶴 伊達慶邦 江戸後期 1枚 伊文
13. 坤輿万国・天文図屏風 江戸後期 6曲1隻 館蔵
14. 七夕飾りの衣 大正 2点 管野邦夫氏寄贈
15. 七夕飾りの紙衣 大正 13点 管野邦夫氏寄贈
16. 七夕飾りの巾着 大正 1点 管野邦夫氏寄贈
17. 七夕飾りの材料 短冊 大正 7枚 管野邦夫氏寄贈
18. 七夕飾りの材料 紙 大正 5枚 管野邦夫氏寄贈

19. 七夕流し写真パネル 原本は佐吉著 1枚
 20. 昔の七夕写真パネル(昭和7・11年) 2枚



13. 坤輿万国・天文図屏風

15 村の生活 (H21展示無)

16 飢饉と城下の衰退

「仙台藩の飢饉とその備え」 2009.3/10～8/30

1. 民間備荒録 建部清庵著 明和8年 2冊 個人蔵
2. 天明飢死図集 鈴木三伯筆 天明5年 1冊 館蔵
3. 佐伯是保風俗等書上 佐伯是保筆 嘉永6年 1冊 伊文
4. 飢饉食料草木 佐々城朴庵筆 天保4年 1冊 三原良吉C
5. 天明飢饉の記録板書 天明4年 1点 伊東善広氏寄贈
6. 間引きをいましめる図(複製) 1面
館蔵(原資料七ヶ宿町関泉寺蔵)
7. 林子平上書(写) 天明5年 1冊 尚文館C
8. 鉄銭と天明の銀札 天明4年 7点 館蔵
9. 救荒瑣論 天保8年 1冊 三原良吉C
10. きさんのころえ 万延元年 1冊 三原良吉C
11. 飢饉の時の食物大略 中山弥助筆 天保8年 1冊
三原良吉C
12. 救荒新策 長谷川猷筆 天保10年 1冊 三原良吉C

17 林子平と海防論

「林子平と三国通覧図説」 2009.3/10～5/31

1. 仙台城下絵図 林子平筆 江戸中～後期 1鋪 中村C
2. 漢土加留多 6葉 藤塚家資料
3. 三国通覧図説 林子平著 天明6年 1冊
猪苗代翁・彌氏寄贈
4. 三国通覧図説のうち無人島の図 林子平作 天明6年
1鋪 猪苗代翁・彌氏寄贈
5. 三国通覧図説屏風 江戸後期 6曲1隻 桜田穆氏寄贈
6. 三国通覧図説(写本) 林子平著 江戸後期 1冊 尚文館C
7. 仏訳三国通覧図説 林子平著・クラブロート訳 1832年
1冊 館蔵
8. 仏訳三国通覧図説のうち無人島の図 林子平著・クラブロー
ト訳 1832年 1冊 館蔵

「林子平と海国兵談」 6/2～8/30

1. 海国兵談 林子平著 寛政3年 1冊 館蔵

2. 海国兵談(写本) 林子平著 文政5年 1冊 尚文館C
3. 校正海国兵談 嘉永6年 1冊 館蔵
4. 海国兵談 安政2年 1冊 クリストフ・ヘフケン氏寄贈
5. 精校海国兵談 安政3年 1冊 館蔵
6. 林子平画像 牧互秀筆 近代 1幅 愛宕中学校寄贈
7. 阿蘭陀船図説(複製) 林子平作 天明2年版 1面 館蔵
8. 報賽歌 林子平筆 1幅 藤塚家資料
9. 林子平書状 藤塚式部宛 寛政4年6月1日 1巻 中村C
10. 林子平赦免状(写) 江戸後期 1通 館蔵

18 異国船の渡来と開国

「仙台藩の洋式船『開成丸』」 2009.3/10～4/5

1. 三浦乾也写真(印刷) 1面 新井田C
2. 開成丸陶板 三浦乾也作 江戸末期 1面 亀田兵治C
3. 開成丸進水図 小野寺鳳谷原図 江戸末期 1幅
菊田定郷C
4. 開成丸航海日誌 小野寺鳳谷著 安政4年 1冊
亀田兵治C
5. 開成丸近海航海之図 安政5年7月 1枚 伊文
6. 開成丸調練帰帆図 三浦乾也画 安政5年 1幅
菊田定郷C
7. 開成丸題字 大槻習齋筆 江戸末期 1幅
亀田兵治C
8. 開成丸の旗 江戸末期 1旗 亀田兵治C
9. 開成丸模型 現代 1基 吉田耕平氏寄贈
10. 開成丸乗組員の双眼鏡 江戸末期 1点 亀田兵治C

総合展示室Ⅲ

19 戊辰戦争

「戊辰戦争をめぐる人々」 2009.3/10～5/31

1. 伊達慶邦画像 明治 1幅 伊文
2. 伊達慶邦布告控 (慶応4年)6月21日 1通 伊文
3. 天璋院消息 伊達宰相宛 (慶応4年)7月9日 1通 伊文
4. 輪王寺宮公現法親王書状 中将宛 (慶応4年)8月18日
1通 伊文
5. 書「世事崎嶇」 徳川慶喜筆 江戸後期～大正 1幅
大久保C
6. 一行書「晩節寒華老甫心」 勝海舟筆 明治 1幅 大久保C
7. 坂本龍馬書状 (慶応2年)7月28日 1通 大久保C
8. 伊達慶邦所用印章 江戸後期 3顆 伊文
9. 戊辰戦争時の弾丸 慶応4年 5点 沼崎哲郎氏寄贈
10. 藩士の鉢金 慶応4年 1頭 個人蔵
11. 堤焼砲弾の型 慶応4年 1点 升川三雄氏寄贈
12. 陶製砲弾 慶応4年 19点 庄司博氏寄贈
13. 砲弾箱 明治初期 1合 伊文
14. 木砲 慶応4年 2門 個人蔵
15. スペンサー銃の弾丸箱 明治初期 1合 個人蔵
16. エンフィールド銃 1868年 1挺 館蔵

17. スタール銃 19C 1挺 菅野寿雄氏寄贈
※No.9～17は3/10～8/30の展示

「仙台藩と戊辰戦争」 6/2～8/30

1. 錦旗 慶応4年 1旒 伊文
2. 伊達慶邦肖像 印藤真楯筆 明治13年 1面 伊文
3. 伊達慶邦写真(パネル) 1点
4. 鎮撫総督会津討入達書 慶応4年3月26日 1通 伊文
5. 伊達慶邦建言書下書 慶応4年2月11日 1通 伊文
6. 会津追討ニ付仙台様御出陣被御行列図 慶応4年4月1巻 館蔵
7. 白河口戦闘絵図(複製) 明治 1幅 館蔵(原資料斎藤報恩会蔵)
8. 若生文十郎書「欲向中原掃妖塵」 江戸末期 1幅 伊藤省三氏寄贈
9. 玉蟲左太夫肖像 庄子勇筆 大正 1面 玉蟲誼氏寄贈
10. 明治元年現状仙台城市之図 明治 1鋪 館蔵
11. 行政官沙汰書 伊達亀三郎宛 (明治元年)12月12日 1通 伊文

※No.1は6/2～6/21の展示

※No.2・5は6/23～8/30の展示

20 明治維新と文明開化

「明治の新制度」 2009.3/10～5/31

1. 新貨条例 明治4年5月 1冊 武市家資料
2. 明治天皇東北巡幸行列図 明治9年 1枚 館蔵
3. 地租改正条例 明治6年 1通 三原良吉C
4. 開化旧弊馬鹿の見立 佐々木彌三郎編集出版 明治11年1枚 館蔵
5. 「仙台及塩竈松島名所図絵」より芭蕉ノ辻・電信郵便局 明治29年 1枚 三原良吉C
6. 「仙台及塩竈松島名所図絵」より榴カ岡桜花満開及招魂碑景 明治29年 1枚 三原良吉C
7. 対物宮城の穴 菅野長平編集 明治15年 1枚 三原良吉C
8. 太政官高札 明治3年12月 1点 個人蔵
9. 五箇条の御誓文 明治29年 1幅 大久保C
10. ランプ 明治 1基 個人蔵
11. 芭蕉辻伊勢佐桃見世当図 明治 3枚続 阿部次郎C
12. 印度紅茶製造伝習卒業証書及び教科書 明治11年 2点 個人蔵
13. 第一回内国勸業博覧会入賞メダル及び受賞者名簿 明治10年 2点 個人蔵
14. 名勝絵入仙台地図 明治34年 1枚 三原良吉C
15. 仙台座のチラシ 明治25年 1枚 三原良吉C

※No.8～15は3/10～8/30の展示

「廃藩置県」 6/2～8/30

1. 版籍奉還に関する書状写 明治2年3月 1通 個人蔵
2. 陸前国仙台藩籍調 明治2年5月 1冊 伊文

3. 伊達宗敦仙台藩知事辞令写 藤原宗敦宛 明治3年10月25日1通 伊文
4. 仙台藩職掌録 明治3年12月末頃 1通 個人蔵
5. 一関県参事辞令 増田繁幸宛 明治4年11月2日 1通 館蔵
6. 第一大区小五区川内三十人町裏庁下郡村境界絵図 戸長濱田景長筆 明治6年9月29日 1枚 濱田家資料

21 自由民権と立憲政治

「言論と自由民権運動」 2009.3/10～5/31

1. 成島柳北書「朝雲暮雨佳人夢」 明治15年榴月 1幅 大久保C
 2. 朝野新聞1648号 明治12年3月11日 1枚 佐藤彦郎氏寄贈
 3. 東京日日新聞1号 明治5年2月21日 1枚 三原良吉C
 4. 東京日日新聞431号 落合芳幾画 明治初期 堅大判1枚 阿部次郎C
 5. 郵便報知新聞589号 月岡芳年画 明治8年 堅大判1枚 古トウC
 6. 团团珍聞134号「猿説之錠を卸す図」 明治12年11月15日1冊 尚文館C
 7. 東北新報65号「大団扇の威勢鳥衆を飛散せしむる図」 明治14年3月15日 1冊 尚文館C
 8. 滑稽新聞 明治40年7月20日発行 1冊 小野台蔵C
 9. 開明貴族表 明治10年 3枚続 大宮司C
 10. 社会平等権論 明治16年 1冊 尚文館C
 11. 自由之理 明治10年 1冊 安久津家資料
 12. おッペけペー歌 明治24年 2枚続 阿部次郎C
 13. 泰西国法論 明治11年 1冊 安久津家資料
 14. 分権論 明治10年 1冊 安久津家資料
 15. 国憲論編 明治13年 1冊 尚文館C
 16. 大日本帝国国会仮議事堂之図 明治21年 3枚続 大宮司C
 17. 佐藤時彦写真 明治 1面 佐藤彦郎氏寄贈
 18. 佐藤時彦原稿 明治13～15年 4点 佐藤彦郎氏寄贈
 19. 真山寛写真 明治 1面 館蔵
 20. 若生精一郎写真 明治 1面 館蔵
 21. 若生精一郎国会開設哀願書 明治13年12月 1点 逸見順子氏寄贈
 22. 国会開設要求署名 明治13年 1冊 逸見順子氏寄贈
- ※No.8～22は3/10～8/30の展示

「西南戦争と仙台」 6/2～8/30

1. 石狩国札幌郡・空知郡開拓の太政官沙汰書 亙理元太郎 (明治2年)11月 1通 個人蔵
2. 開拓被免の太政官沙汰書 亙理元太郎 明治4年8月1通 個人蔵
3. 警部補辞令 石母田琢磨宛 明治10年6月19日 1通 石母田久家文書
4. 慰労金下賜証書 石母田琢磨宛 明治10年10月6日

- 1 通 石母田久家文書
5. 征討御会議之図 明治10年 3枚続 和泉C
6. 鹿児島紀聞之内(田原坂) 鮮斎永濯画 明治10年 3枚続 尚文館C
7. 警視各隊江賜酒者之図 大蘇芳年画 明治10年 3枚続 大宮司C
8. 鹿児島城山戦争之図 長嶋孟斎画 明治10年 3枚続 大宮司C
9. 「教導立志基」から西南戦争を取材する福地桜痴 小林清親画 明治18年 1枚 館蔵

22 近代教育と教科書

「国語の教科書」 2009.3/10～5/31

1. 単語篇 明治6年 1冊 尚文館C
2. 小学読本 明治初期 1冊 尚文館C
3. 小学始教 明治6年 1冊 尚文館C
4. 帝国読本 明治26年 2冊 尚文館C
5. 小学国語読本 昭和8年 1冊 個人蔵
6. 初等科国語 昭和18年 1冊 個人蔵
7. 校長先生の制服 銅板写真 昭和20年頃 1点 原資料個人蔵
8. 宮城野原への遠足 東二番丁小学校 銅板写真 明治40年頃 1点 館蔵
9. 女学生のフォークダンス 身章私塾の学生 銅板写真 明治38年頃 1点 原資料個人蔵
10. 南材木町小学校の全校生徒 銅板写真 明治40年6月 1点 館蔵
11. 大正天皇即位記念奉祝行進 宮城県師範学校附属小学校 銅板写真 大正4年11月 1点 館蔵
12. 大正天皇即位記念 東八番丁尋常小学校(榴岡小学校の前身) 銅板写真 大正4年11月 1点 館蔵
13. 東華高等女学校の遠足 銅板写真 大正6年 1点 館蔵
14. 宮城県立高等女学校の桂島遠足 銅板写真 大正6年頃 1点 館蔵
15. 荒町小学校運動会 銅板写真 大正13年 1点 館蔵
16. 女学校のテニス部 宮城県第二高等女学校 銅板写真 昭和5年頃 1点 館蔵
17. 女学校の制服 宮城県第二高等女学校 銅板写真 昭和5年頃 1点 館蔵
18. 軍事教練 宮城県工業学校 銅板写真 昭和11年頃 1点 館蔵
19. 薙刀の練習 宮城県第二高等女学校 銅板写真 昭和16年 1点 館蔵
20. 戦争中の卒業記念写真 東二番丁国民学校 銅板写真 昭和19年3月 1点 館蔵

※No.7～20は3/10～8/30の展示

「修身の教科書」 6/2～8/30

1. 幼学綱要 元田永孚編 明治14年 1冊 尚文館C

2. 皇民修身鑑-尋常科生徒用- 学海指針社編 明治25年 1冊 尚文館C
3. 皇民修身鑑-高等科生徒用- 学海指針社編 明治26年 1冊 尚文館C
4. 修身絵とき 堀江義子著 明治27年 1冊 尚文館C
5. 新編修身教典-高等小学校用- 普及舎編輯所編 明治33年 1冊 郷右近馨氏寄贈
6. 小学新修身-高等科用- 文学社編輯所編 明治34年 1冊 郷右近馨氏寄贈

23 戦争と市民

「戦時中の仙台」 2009.3/10～8/30

1. 榴ヶ岡歩兵第四聯隊全図 明治30年 1面 三原良吉C
2. 仙台鎮台辞令 明治18年 1通 館蔵
3. 河内兵營之図 明治30年 1面 三原良吉C
4. 「陸軍御用」大平商店の団扇 近代 1点 川村節子氏寄贈
5. 教育日露戦争画帖 明治37年 1冊 館蔵
6. 六合社図 近代 1面 三原良吉C
7. 第二師団凱旋之図 明治29年 1面 三原良吉C
8. 第二師団遠望の図 無門筆 大正6年 1面 奥山栄五郎氏寄贈
9. 東北産業博覧会の図(絵葉書6枚付) 7枚 館蔵
10. 戦時農園の手引 情報局編集 昭和19年4月26日発行 1冊 石母田久家文書
11. 日清戦争、長町駅における出征兵士の見送り 銅板写真 明治27年 1点 館蔵
12. 日清戦争における第二師団の将校たち 銅板写真 明治28年頃 1点 館蔵
13. 満州守備軍第二師団の将兵の帰還を迎える市民 銅板写真 昭和8年1月8日 1点 館蔵
14. 陸軍記念日に行進するボーイスカウト 銅板写真 昭和10年3月10日 1点 館蔵
15. 原町陸軍造兵廠で弾丸の生産に励む女子挺身隊 銅板写真 1点 「仙台空襲より」館蔵
16. 焼跡で「勝札」を求める市民 銅板写真 1点 「仙台空襲より」館蔵
17. 空襲で焦土と化した仙台の中心部 銅板写真 昭和20年7月 1点 「仙台空襲より」館蔵
18. 仙台空襲で瓦礫の跡となった市役所前 銅板写真 昭和20年7月 1点 「仙台空襲より」館蔵
19. 鈴なりの仙石線 銅板写真 昭和22年 1点 「仙台空襲より」館蔵
20. 戦後第二回のメーデーで市役所前を行進する市民 銅板写真 昭和22年5月1日 1点 館蔵

テーマ展示室 I

「仙台藩の武器・武具」 2009.3/10～4/5

1. 黒漆五枚胴具足 伝伊達政宗所用 桃山時代 1領

- 駒形神社蔵
2. 黒漆瓦札萌黄糸威胴丸具足(畳胴丸具足) 伝稲葉氏仙姫所用
江戸前期 1領 伊文
 3. 金小札五枚胴具足 5代伊達吉村所用 江戸中期 1領
伊文
 4. 鉄錆地五枚胴具足 江戸中期 1領 伊文
 5. 紺糸威胴丸具足 13代伊達慶邦所用 江戸後期 1領 伊文
 6. 太刀 義光 建武四年(1337) 1口 亀岡八幡宮
 7. 剣 山城大掾藤原国包 寛永18年 1口 館蔵(赤羽刀)
 8. 短刀 三代国包 三代国包 江戸中期 1口
- 藤崎三郎助氏寄贈
9. 金梨子地竹に雀九曜紋蒔絵刀掛 江戸前期 1架 伊文
 10. 安孫子の陣貝 桃山 1個 片倉家資料
 11. 軍扇 延享元年(1744) 1握 伊文
 12. 金梨地花鳥蒔絵鞍轡 永正8年(1511)／加飾は江戸 1具
伊文
 13. 茶猪毛鞆 江戸後期 1合 伊文
 14. ゆがけ 江戸 3対 伊文
 15. 仙人図象嵌火縄銃 江戸後期 1口 館蔵
- 「重要文化財 三沢初子の帯」 2009.3/10～4/5
1. 重要文化財 帯 縞モール地花鳥文様帯 三沢初子所用
江戸前期 1条 伊文
 2. 重要文化財 帯 白縞子地桔梗文様帯 三沢初子所用
江戸前期 1条 伊文
 3. 重要文化財 帯 白茶地石畳に反り八角文様帯
三沢初子所用 江戸前期 1条 伊文
 4. 重要文化財 帯 浅葱紅染分綾地松竹梅文様帯
三沢初子所用 江戸前期 1条 伊文
 5. 重要文化財 帯 黒綸子地雪輪に梅文様帯
三沢初子所用 江戸前期 1条 伊文
 6. 重要文化財 帯 白綸子地雪輪に春草文様帯
三沢初子所用 江戸前期 1条 伊文
 7. 重要文化財 帯 薄浅葱縞子地桔梗文様帯
三沢初子所用 江戸前期 1条 伊文
 8. 重要文化財 帯 綸子地藍黒雲形匹田文様帯
三沢初子所用 江戸前期 1条 伊文
 9. 重要文化財 帯 浅葱綸子地梅に額文様帯
三沢初子所用 江戸前期 1条 伊文
 10. 重要文化財 帯 段風通地寿字木賊等文様帯
三沢初子所用 江戸前期 1条 伊文
- ※No.1～5は3/10～3/22の展示
※No.6～10は3/24～4/5の展示

テーマ展示室Ⅱ

慶長遣欧使節関係資料

2009.3/10～4/5

1. 国宝 支倉常長像 1615年頃 1面 館蔵

2. 国宝 ローマ教皇パウロ五世像 1615年頃 1面 館蔵
 3. 国宝 ローマ市公民権証書 1615年 1通 館蔵
 4. 国宝 ロザリオの聖母像 17世紀 2連 館蔵
 5. 国宝 祭服 17世紀 1領 館蔵
 6. 国宝 十字架像 17世紀 1口 館蔵
 7. 国宝 十字架及びメダイ 17世紀 1具 館蔵
 8. 国宝 ロザリオ 17世紀 5連 館蔵
 9. 国宝 ディスチプリナ 17世紀 1口 館蔵
 10. 国宝 テカ及び袋 17世紀 1具 館蔵
 11. 国宝 レリカリオ 17世紀 1口 館蔵
 12. 国宝 メダイ残欠 17世紀 6片 館蔵
 13. 国宝 印章 17世紀 2顆 館蔵
 14. 国宝 鞍 17世紀 1背 館蔵
 15. 国宝 鏡 17世紀 1双・1隻 館蔵
 16. 国宝 マント及びズボン 17世紀 1具 館蔵
 17. 国宝 短剣 17世紀 2口 館蔵
 18. 国宝 壁掛 17世紀 1枚 館蔵
 19. 国宝 縞模様布 17世紀 1枚 館蔵
 20. 支倉常長像(高田力蔵1972年模写) 原図は1615年頃
1面 館蔵
 21. セピリア市宛伊達政宗書状(複製) 原本は慶長18年
1面 館蔵
 22. シピオーネ・アマーティ著『伊達政宗遣欧使節記』
(イタリア語版) 1615年 1冊 館蔵
 23. シピオーネ・アマーティ著『伊達政宗遣欧使節記』
(ドイツ語版) 1617年 1冊 館蔵
 24. 支倉常長画像(銅版画) サデレル 1616～17年 1枚 館蔵
 25. 支倉常長画像(銅版画) 1616～17年 1枚 館蔵
 26. ローマ教皇宛伊達政宗書状(複製)ラテン文
原本は慶長18年 1面 館蔵
 27. ローマ教皇宛伊達政宗書状(複製)和文 原本は慶長18年
1面 館蔵
 28. 支倉常長書状 勘三郎宛(複製) 原本は元和4年 1幅
館蔵
 29. 洗礼者聖ヨハネ像メダイ(参考資料) 19世紀 1面 館蔵
 30. ガレオン船模型 1971年 1基 館蔵
- 4/7～8/30(※総合展示室Ⅱに縮小展示)
1. 国宝 支倉常長像 1615年頃 1面 館蔵
 2. 国宝 ローマ教皇パウロ五世像 1615年頃 1面 館蔵
 3. 国宝 ローマ市公民権証書 1615年 1通 館蔵
 4. 国宝 ロザリオの聖母像 17世紀 2連 館蔵
 5. 国宝 十字架及びメダイ 17世紀 1具 館蔵
 6. 国宝 ロザリオ 17世紀 5連 館蔵
 7. 国宝 祭服 17世紀 1領 館蔵
 8. 国宝 短剣 17世紀 2口 館蔵
 9. シピオーネ・アマーティ著『伊達政宗遣欧使節記』
(イタリア語版) 1615年 1冊 館蔵
 10. シピオーネ・アマーティ著『伊達政宗遣欧使節記』
(ドイツ語版) 1617年 1冊 館蔵

11. ローマ教皇宛伊達政宗書状(複製)ラテン文
 原本は慶長18年 1面 館蔵
12. ローマ教皇宛伊達政宗書状(複製)和文 原本は慶長18年
 1面 館蔵
13. ローマ市公民権証書(複製) 原本は1615年 1通 館蔵
14. 国宝 壁掛 17世紀 1枚 館蔵
- ※No.3は4/7~5/31、8/18~8/30の展示
 ※No.7は4/7~5/31の展示
 ※No.13・14は6/2~8/16の展示

コレクション展示室 I

焼物

「宮城の焼物」 2009.3/10~5/31

1. 堤焼・甕 1点 館蔵
 2. 堤焼・甕 1点 館蔵
 3. 堤焼・甕 1点 館蔵
 4. 堤焼・酒甕 1点 館蔵
 5. 堤焼・壺 1点 館蔵
 6. 堤焼・壺 1点 館蔵
 7. 堤焼・壺 1点 館蔵
 8. 塩内焼・切立 1点 館蔵
 9. 堤焼・三鳥手鉢(初代乾馬作) 1点 個人蔵
 10. 上野目焼・緑釉流菊文扇形皿 2点 館蔵
 11. 山の神焼・鉢 1点 個人蔵
 12. 新田焼・播鉢 1点 館蔵
 13. 末家焼・鉄釉片口 1点 館蔵
- ※No.1~7は8/30の展示

「切込焼」 6/2~8/30

1. 鉄砂掛分徳利 1点 古賀C
2. 染付柘榴文湯呑茶碗 1点 個人蔵
3. 鉄砂染付蘭文爛徳利 1点 古賀C
4. 染付唐子寿老人文徳利 1点 古賀C
5. 染付走馬文瓢形徳利 1点 宮城正俊氏寄贈
6. 染付鳳凰文徳利 1点 ゴトゥウC
7. 染付蓋物 1組 古賀C
8. 染付松に蛸唐草文鮎皿 1点 古賀C
9. 染付松文徳利 1点 古賀C
10. 白磁膳碗 1具 古賀C
11. 白磁蓋付壺 1組 古賀C
12. 染付葡萄文コップ(大正切込) 1点 古賀C
13. 染付竹に雀・仙台名所歌入鉢(大正切込) 1点 三原C
14. 染付牡丹蝶文辣蕒徳利 1点 館蔵
15. 染付網手花卉文辣蕒徳利 1点 宮城正俊氏寄贈
16. 染付蛸唐草文辣蕒形徳利 1点 館蔵
17. 染付蛸唐草文辣蕒形徳利 1点 和泉C
18. 染付人物文辣蕒形徳利 1点 館蔵
19. 染付瓢箪文辣蕒形徳利 1点 館蔵

漆工

「伊達家の化粧道具と衣桁」 2009.3/10~6/7

1. 雪薄竹に雀紋桜枝散蒔絵眉作箱 江戸中期 1合 館蔵
 2. 松竹梅文渡金・箱 江戸後期 1具 伊文
 3. 竹に雀紋蒔絵耳盥 江戸後期 1具 伊文
 4. 梨子地紗綾形橋文竹に雀牡丹紋調度 漱腕・手拭掛・盥・湯桶
 江戸後期 4具 館蔵
 5. 村梨子地葵紋散蒔絵衣桁 江戸後期 1基 館蔵
 6. 葵紋橋蒔絵鏡・鏡立 江戸後期 1具 館蔵
- ※No.2・3は3/10~5/17の展示
 ※No.6は5/19~6/7の展示

「漆手板」 3/10~6/7

1. 輪島沈金(石川県) 昭和30年頃 1面10枚 館蔵
2. 秀衡塗(岩手県) 昭和30年頃 1面10枚 館蔵
3. 会津溜塗(福島県)、簡易七宝(岩手県)、仙台堆朱(宮城県)
 昭和30年頃 1面10枚 館蔵
4. 赤玉虫塗、玉虫塗(産業工芸試験所) 昭和30年頃
 1面10枚 館蔵

古人形

「堤人形と山形の古人形」 2009.3/10~5/31

1. 堤人形 蛸と子供 江戸後期 1点 館蔵
2. 堤人形 熊と金太郎 江戸後期 1点 館蔵
3. 堤人形 瓢乗り 江戸後期 1点 館蔵
4. 堤人形 山姥と金太郎 江戸後期 1点 館蔵
5. 堤人形 瓢抱き 江戸後期 1点 館蔵
6. 堤人形 山姥と金太郎 江戸後期 1点 館蔵
7. 堤人形 達磨と子供 江戸後期 1点 館蔵
8. 堤人形 三番叟 江戸後期 1点 館蔵
9. 堤人形 犬と子供 江戸後期 1点 館蔵
10. 堤人形 獅子舞 江戸後期 1点 館蔵
11. 堤人形 騎者 江戸後期 1点 本出C
12. 堤人形 うさぎと子供 江戸後期 1点 本出C
13. 堤人形 枕持ち 江戸後期 1点 本出C
14. 堤人形 達磨とでんでん太鼓 江戸後期 1点 本出C
15. 堤人形 瓢かつぎ 江戸後期 1点 本出C
16. 堤人形 瓢持ち 江戸後期 1点 本出C
17. 堤人形 鯛抱き 江戸後期 1点 本出C
18. 堤人形 象乗り唐子 江戸後期 1点 足立孔C
19. 堤人形 獅子舞 江戸後期 1点 足立孔C
20. 堤人形 獅子舞 江戸後期 1点 足立孔C
21. 堤人形 達磨とでんでん太鼓 江戸後期 1点 足立孔C
22. 堤人形 蛸と子供 江戸後期 1点 足立孔C
23. 堤人形 熊と金太郎 江戸後期 1点 足立孔C
24. 相良人形 てまり 江戸後期 1点 館蔵
25. 相良人形 まんじゅう喰い 江戸後期 1点 館蔵

26. 相良人形	鯛かつぎ	江戸後期	1点	館蔵	13. 花卷人形	顔世御前	江戸後期	1点	本出C
27. 相良人形	かめ割	江戸後期	1点	館蔵	14. 花卷人形	和藤内	江戸後期	1点	本出C
28. 相良人形	山姥と金太郎	江戸後期	1点	館蔵	15. 三春人形	春駒	江戸後期	1点	本出C
29. 相良人形	鯛乗り	江戸後期	1点	館蔵	16. 三春人形	羯鼓	江戸後期	1点	本出C
30. 相良人形	亀かつぎ	江戸後期	1点	館蔵	17. 三春人形	女暫	江戸後期	1点	本出C
31. 相良人形	将棋乗り	江戸後期	1点	館蔵	18. 三春人形	武智十次郎と初菊	江戸後期	1点	本出C
32. 相良人形	太鼓打ち	江戸後期	1点	足立孔C	19. 三春人形	三番叟	江戸後期	1点	本出C
33. 相良人形	鯛乗り	江戸後期	1点	足立孔C	20. 三春人形	藤娘	江戸後期	1点	本出C
34. 相良人形	鯛つかみ	江戸後期	1点	足立孔C	21. 三春人形	道成寺	江戸後期	1点	本出C
35. 相良人形	亀抱き	江戸後期	1点	足立孔C	22. 三春人形	小浪	江戸後期	1点	本出C
36. 相良人形	太鼓打ち	江戸後期	1点	足立孔C	23. 三春人形	義経	江戸後期	1点	本出C
37. 相良人形	太鼓打ち	江戸後期	1点	足立孔C	24. 三春人形	和藤内	江戸後期	1点	本出C
38. 相良人形	俵持ち	江戸後期	1点	足立孔C	25. 三春人形	弁慶	江戸後期	1点	本出C
39. 相良人形	犬抱き	江戸後期	1点	足立孔C	26. 三春人形	力弥	江戸後期	1点	本出C
40. 相良人形	犬乗り	江戸後期	1点	足立孔C	27. 三春人形	千歳	江戸後期	1点	本出C
41. 相良人形	童子	江戸後期	1点	足立孔C	28. 三春人形	虎	江戸後期	1点	本出C
42. 相良人形	舟遊び	江戸後期	1点	足立孔C	29. 相良人形	勘平	江戸後期	1点	本出C
43. 相良人形	這い子	江戸後期	1点	足立孔C	30. 相良人形	矢の根五郎	江戸後期	1点	館蔵
44. 相良人形	馬子	江戸後期	1点	足立孔C	31. 相良人形	静御前	江戸後期	1点	館蔵
45. 鶴岡人形	犬乗り童子	明治	1点	足立孔C	32. 相良人形	口上	江戸後期	1点	館蔵
46. 鶴岡人形	犬乗り童子	明治	1点	足立孔C	33. 相良人形	八重垣姫	江戸後期	1点	館蔵
47. 鶴岡人形	龍王	明治	1点	足立孔C	34. 相良人形	佐佐木高綱	江戸後期	1点	館蔵
48. 鶴岡人形	象乗り唐子	明治	1点	足立孔C	35. 堤人形	勘平	江戸後期	1点	本出C
49. 鶴岡人形	三番叟	明治	1点	足立孔C	36. 堤人形	石橋	江戸後期	1点	本出C
50. 鶴岡人形	三番叟	明治	1点	足立孔C	37. 堤人形	弁慶	江戸後期	1点	本出C
51. 鶴岡人形	三番叟	明治	1点	足立孔C	38. 堤人形	小浪	江戸後期	1点	本出C
52. 鶴岡人形	太鼓打ち	明治	1点	足立孔C	39. 堤人形	武智十次郎	江戸後期	1点	本出C
53. 鶴岡人形	遊び仲間	明治	1点	足立孔C	40. 堤人形	鯉つかみ	江戸後期	1点	本出C
54. 鶴岡人形	箱持ち	明治	1点	足立孔C	41. 堤人形	獅子舞	江戸後期	1点	本出C
55. 鶴岡人形	立ち娘	明治	1点	足立孔C	42. 堤人形	安徳天皇	江戸後期	1点	本出C
56. 鶴岡人形	立ち娘	明治	1点	足立孔C	43. 堤人形	小浪	江戸後期	1点	本出C
「芝居と東北の古人形」 6/2~8/30					44. 堤人形	三番叟	江戸後期	1点	本出C
1. 見立忠臣蔵 初段	歌川国芳画	江戸後期	1枚	阿部次郎C	45. 堤人形	朝比奈	江戸後期	1点	本出C
2. 早野勘平	三代歌川豊国画	江戸後期	1枚	阿部次郎C	46. 堤人形	白酒売り	江戸後期	1点	本出C
3. 仮名手本忠臣蔵七段目	祇園一力の場	歌川国安画			47. 堤人形	狐忠信	江戸後期	1点	本出C
江戸後期	2枚続			阿部次郎C	48. 堤人形	八重垣姫	江戸後期	1点	本出C
4. 絵本太功記十段目	武智十次郎	三代歌川豊国画			49. 堤人形	政岡	江戸後期	1点	本出C
江戸後期	1枚			阿部次郎C	50. 堤人形	祇園一力茶屋	江戸後期	1点	本出C
5. 見立三十六句選	しつか・狐忠信	三代歌川豊国画			51. 堤人形	衣通姫	江戸後期	1点	本出C
江戸後期	1枚			阿部次郎C	52. 堤人形	和藤内	江戸後期	1点	本出C
6. 花卷人形	斧定九郎	江戸後期	1点	本出C	53. 堤人形	静御前	江戸後期	1点	本出C
7. 花卷人形	大星由良之助	江戸後期	1点	本出C	54. 堤人形	三番叟	江戸後期	1点	館蔵
8. 花卷人形	力弥と小浪	江戸後期	1点	本出C	55. 堤人形	勘平	江戸後期	1点	館蔵
9. 花卷人形	片岡伝五右衛門	江戸後期	1点	本出C	56. 堤人形	顔世御前	江戸後期	1点	館蔵
10. 花卷人形	小浪	江戸後期	1点	本出C	57. 堤人形	曾我五郎	江戸後期	1点	館蔵
11. 花卷人形	義経	江戸後期	1点	本出C	58. 堤人形	八重垣姫	江戸後期	1点	個人蔵
12. 花卷人形	汐汲み	江戸後期	1点	本出C					

茶道具

2009.3/10～5/31

1. 向付 絵長皿 銘乾也 江戸後期 5枚 館蔵
2. 竹一重切花入 伊達吉村作 江戸中期 1口 ゴトゥC
3. 茶杓 千宗旦作 江戸前期 1本 大枝美四子氏寄贈

6/2～8/30

1. 竹一重切花入 伝伊達綱村作 江戸中期 1口 平田道子氏寄贈
2. 肥後焼茶入 江戸初期 1口 寄贈 館蔵
3. 茶杓平樋 清水道竿作 筒道看作 江戸中期 1本 館蔵

浮世絵

「幕末・明治の錦絵40」 2009.3/10～5/31

1. 静御前〔瀬川菊之丞〕と狐忠信〔中村芝翫〕 歌川国貞 文政12年 2枚続 大宮司C
2. 寺岡平右衛門・岩城娘おいと・佐藤与茂七 歌川豊国Ⅲ 弘化4～嘉永5年 3枚続 大宮司C
3. 主水娘おやす・花笠翫次・鈴木主水・其崎浅吉・召仕お初 歌川豊国Ⅲ 嘉永5年 3枚続 大宮司C
4. 松若丸・猿嶋惣太・清玄尼 歌川豊国Ⅲ 嘉永6年 3枚続 大宮司C
5. 武田勝頼 木曾左馬之助信州和田塩尻峠合戦図 橋本貞秀 元治元年 3枚続 大宮司C
6. 大尺遊 金香楼花のうばえ 歌川国貞Ⅱ 明治4年 3枚続 大宮司C
7. 陸奥国千鳥のたま川 歌川国芳 弘化4～嘉永5年 3枚続 和泉C
8. 楠正成薬人形造敵箭奪図 歌川国芳 安政4年 3枚続 大宮司C
9. 武智光年 大多春忠の居城をせめる図 歌川芳虎 慶応2年 3枚続 大宮司C
10. 堀川夜討乱入之図 歌川芳虎 明治3年 3枚続 大宮司C
11. 源頼朝上洛 大井河行列之図 落合芳幾 文久3年 3枚続 阿部C
12. 甲越川中嶋大合戦之図 月岡芳年 慶応2年 3枚続 大宮司C
13. 魁題百撰相 伊達少将政宗 月岡芳年 明治元年 1枚 ゴトゥC
14. 魁題百撰相 根来小密茶 月岡芳年 明治元年 1枚 大宮司C
15. 風俗三十二相 にくらしそう 安政年間名古屋嬢之風俗 月岡芳年 明治21年 1枚 館蔵
16. 風俗三十二相 暗そう 明治年間妻君の風俗 月岡芳年 明治21年 1枚 館蔵
17. 新形三十六怪撰 鬼若丸池中に鯉魚を窺ふ図 月岡芳年 明治22年 1枚 館蔵
18. 新形三十六怪撰 藤原実方の執心雀となる図 月岡芳年

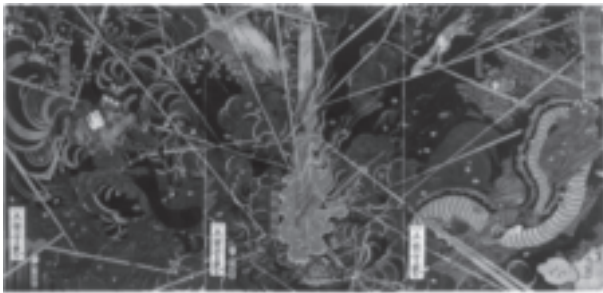
明治23年 1枚 館蔵

19. 東海道五拾三次(狂歌入) 鞠子 歌川広重 天保11年頃 1枚 林C
20. 東海道 卅四 五十三次之内 吉田 歌川広重 弘化4～嘉永5年 1枚 阿部次郎C
21. 富士三十六景 上総鹿埜山 歌川広重 安政5年 1枚 阿部次郎C
22. 富士三十六景 甲斐御坂越 歌川広重 安政5年 1枚 阿部次郎C
23. 東京名所する賀(駿河)町 三ツ井ハウスノ図 歌川広重Ⅲ 明治初年頃 3枚続 大宮司C
24. 常盤橋内紙幣察之図 小林清親 明治10年代前半頃 1枚 大宮司C
25. 三升合姿 幡随院長兵衛 右田年英 明治26年 1枚 山谷氏寄贈
26. 三升合姿 河内山 右田年英 明治26年 1枚 山谷氏寄贈
27. 東都錦画 川中嶋 鬼小嶋弥太郎〔市川左団次〕 豊原国周 明治15年 3枚続 大宮司C
28. 楼門五山桐 聚楽能舞台の場 豊原国周 明治29年 3枚続 大宮司C
29. 千代田大奥 御花見 橋本周延 明治27年 3枚続 大宮司C

「幕末・明治の錦絵41」 6/2～8/30

1. 玉屋の船頭新(兵衛)〔尾上菊五郎〕・小女郎のその吉〔岩井半四郎〕・出村町の新兵衛〔市川海老蔵〕 歌川国貞 天保4年 3枚続 大宮司C
2. 天竺徳兵衛大日丸〔尾上多見蔵〕・仲秋奥方〔尾上栄三郎〕 歌川国貞 天保12年 2枚続 大宮司C
3. 小野々道風・独蝸の駝六 歌川豊国Ⅲ 嘉永3年 2枚続 大宮司C
4. 兎雷也・田舎娘お綱 歌川豊国Ⅲ 嘉永5年 2枚続 大宮司C
5. 市川海老蔵・團十郎一家参会図 歌川豊国Ⅲ 嘉永5年 3枚続 大宮司C
6. 出羽庄内酒田風景 橋本貞秀 元治元年 3枚続 阿部次郎C
7. 美盾八競 晴嵐 宮本無三四 歌川国芳 天保14～弘化4年 3枚続 大宮司C
8. 文月 歌川国芳 弘化4～嘉永5年 3枚続 大宮司C
9. 大多春永の城塀修復 歌川国芳 嘉永2年 3枚続 大宮司C
10. 楠千刃破(ちはや)籠城の図 歌川芳虎 天保14～弘化4年 3枚続 大宮司C
11. 為朝誉十傑 歌川芳艶 安政5年 3枚続 大宮司C
12. 東京両国川開之図 落合芳幾 刊年未詳(明治初年) 3枚続 大宮司C
13. 当勢勇の朝顔 月岡芳年 万延元年 3枚続 大宮司C
14. 源平壇之浦大合戦之図 月岡芳年 慶応元年 3枚続 大宮司C

15. 新撰東錦絵 鬼神於松四郎三朗を害す図 月岡芳年
明治19年 2枚続 大宮司C
16. 東海道五拾三次(狂歌入) 箱根 歌川広重 天保11年頃
1枚 林C
17. 東海道 廿四 五十三次之内 金谷 歌川広重
弘化4～嘉永5年 1枚 阿部次郎C
18. 富士三十六景 伊豆の山中 歌川広重 安政5年 1枚
阿部次郎C
19. 富士三十六景 駿河薩タ之海上 歌川広重 安政5年
1枚 阿部次郎C
20. 大井川かち渡 歌川広重II 嘉永5年 3枚続 大宮司C
21. 道灌山夕日暮 小林清親 明治12年 1枚 館蔵
22. 本田忠勝小牧山軍功図 水野年方 明治24年 3枚続
大宮司C
23. 油坊主闇夜墨衣 豊原国周 明治25年 3枚続 山谷氏寄贈
24. 横櫛おとみ(尾上多賀之丞)・赤間源左衛門〔市川團十郎〕
豊原国周 刊年未詳(明治前期) 3枚続 大宮司C
25. 江戸風俗十二ヶ月之内 六月山王祭 橋本周延
明治22年 3枚続 大宮司C



11. 為朝誉十傑 歌川芳艶

国指定文化財の公開

当館は昭和50年から、文化財保護法第48条に基づく文化庁長官による勧告及び承認による国宝・重要文化財の公開館に指定されている。これは、広く全国の人々に文化財を公開し、文化の向上に資するために設けられた制度で、独立行政法人国立博物館をはじめ、全国の各地域ごとに17館が公開館として指定されている。当館は、東北地方の主要館の一つとして位置づけられており、仙台地方のみならず東北全域の国宝・重要文化財が公開の対象となり得る。本年度は下記のとおり承認による出品を行った。

1. 重要文化財 瑞巖寺本堂障壁画 10面
宮城県 瑞巖寺蔵
2. 重要文化財 太刀(銘備州長船住義光・建武四年十二月) 1口
宮城県 亀岡八幡宮蔵
3. 重要文化財 銅鏡 10面
山形県 月山神社・出羽神社・湯殿山神社蔵
4. 重要文化財 観瀾亭障壁画
檜楨図6面のうち2面 宮城県 松島町蔵

特別展・企画展

特別展

「朝鮮王朝の絵画と日本」

—宗達、大雅、若冲も学んだ隣国の美—

- 会 期 平成21年4月17日(金)～5月24日(日)
開催日数 32日間
入館者数 16,619人 (一日平均519人)
観 覧 料 一般1,000円(前売り800円) / 高校・大学生700円 / 小・中学生400円 (10名以上の団体は各100円引)
- 主 催 「朝鮮王朝の絵画と日本」仙台展実行委員会 (仙台市博物館・宮城テレビ放送)、読売新聞社、美術館連絡協議会
- 後 援 駐日韓国大使館 韓国文化院、駐仙台大韓民国総領事館、韓国観光公社、民団宮城、アジアナ航空、宮城県日韓親善協会、宮城県文化振興財団、河北新報社、TBC東北放送、仙台放送、KHB東日本放送、NHK仙台放送局、Date fm、ラジオ3、朝日新聞仙台総局、産経新聞社東北総局、毎日新聞仙台支局
- 協 賛 きんでん、ダイワボウ情報システム、ライオン、清水建設、大日本印刷、損保ジャパン
- 協 力 日本航空
- 助 成 国際交流基金、全日本社会貢献団体機構

朝鮮王朝は、太祖李成桂(在位1392～98)によって創始されて以来、500年以上に渡る長命な王朝であった。日本と朝鮮半島との文化交流の歴史は弥生・古墳時代にまで遡り、朝鮮王朝時代においても日朝貿易などによる物資の往来と共に文物の交流が盛んに行なわれた。中でも、王朝より将来された多くの絵画から受けた日本画壇の影響は決して小さなものではなかったのである。

本展では、朝鮮王朝時代の美に焦点を当て、山水画、仏画、陶磁器、民画、朝鮮通信使関係の作品などを展示すると同時に、日本で影響を受けた宗達や若冲ら名だたる近世画家たちの作品もあわせて紹介する貴重な機会であった。栃木県立美術館、静岡県立美術館、当館、岡山県立美術館を巡回した。

展示構成

第1部 朝鮮絵画の精華

- 第1章 朝鮮絵画の流れ:山水画を中心に
- 第2章 仏画の美 高麗から朝鮮王朝へ
- 第3章 絵画と工芸、越境する花鳥の美
- 第4章 「民画」誕生

第2部 日本人のまなざし

- 第5章 交流の形—朝鮮通信使の果たした役割
- 第6章 日本画家のまなざし—
—日本絵画に与えた影響

印刷物

- ポスター B2版 1,800枚 / B3版 300枚
チラシ(展覧会用) A4判 80,000枚
(うち50,000枚は割引券付)
チラシ(イベント用) A4判 30,000枚
図録 A4版



ポスターB2

関連行事

(1) 講演会①

4月25日(土) 13:30～15:00

博物館ホール 参加114人

演題「若冲の見た中国・朝鮮絵画」

講師：板倉聖哲氏(東京大学東洋文化研究所准教授)

講演会②

5月9日(土) 13:30～15:00

博物館ホール 参加102人

演題「朝鮮王朝の絵画と雪村」

講師：橋本慎司氏(栃木県立美術館特別研究員)

(2) 韓国伝統舞踊「宮廷文化の華・舞踊の世界へ」

博物館館庭

①5月5日(水) 13:30～14:40 参加468人

②5月16日(土) 13:30～14:40 参加520人

(3) 紙織画に挑戦!

博物館講習室 参加27人

5月3日(日) 9:00~12:00

講師: 島一嘉氏(栃木県立美術館主任研究員)

(4) 公開ワークショップ「朝鮮文化と日本—数学・書籍・美術、一つの事例から」

東アジアの海域交流と日本伝統文化の形成—寧波を焦点とする学際的創生—(平成17年度~21年度文部科学省特定領域研究)との共催

4月26日(日) 13:30~16:45

博物館ホール(一般参加可) 参加40人

講師: 川原秀城氏(東京大学教授)、藤本幸夫氏(麗澤大学教授)、橋本慎司氏(栃木県立美術館)、郷司泰仁氏(比叡山宝物館)

(5) ミュージアムセミナー

① 4月18日(土) 参加10人

② 4月22日(水) 参加4人

(6) 友の会広報セミナー 4月20日(月) 参加144人



韓国伝統舞踊



紙織画に挑戦!

展示資料目録

※◎は重要文化財

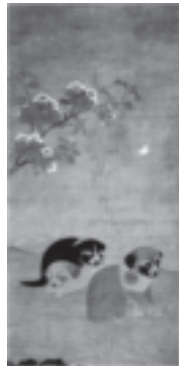
第1章 朝鮮絵画の流れ: 山水画を中心に

1. 瀟湘八景図冊 伝 文徵明/具濬賛 1冊 個人
2. 山水図(瀟湘夜雨図) 伝 胡直夫/伝 古林清茂賛 1幅 群馬県立近代美術館
3. 洞庭秋月・瀟湘夜雨図 伝 如雪 2幅 個人
4. 青緑山水図(秋嵐山水図) 伝 曾我蛇足 1幅 個人
5. 江山飄影図 伝 蕭照 1幅 個人
6. 山水図 伝 陳嘉言賛 1幅 個人
7. 雪景山水図 1幅 個人
8. 山水図「文清」印 1幅 京都国立博物館
9. 樓閣山水図 1幅 個人
10. 樓閣山水図 1幅 個人
11. 白居易載鶴図 伝 馬遠 1幅 個人
12. 山水図 伝 馬麟 2幅 兩足院(京都)
13. 山水図 1幅 個人
14. 山水図 伝 馬遠 1幅 個人
15. 山水図冊 尚徳(款) 1冊 個人
16. 樓閣山水図 2幅 個人
17. 瀟湘八景図 4幅 個人
18. 山水図 崔明龍 1幅 個人
19. 樓閣山水図 伝 李龍 1幅 個人
20. 山水図 伝 玉潤 1幅 個人
21. 山水図 伝 相阿弥 1幅 個人
22. 米法山水図 董其昌(款) 1幅 個人
23. 契会図 寓夫賛 1幅 九州国立博物館
24. 東宮冊封都監契会図 1幅 個人
25. 山水図 洪暹題 1幅 京都国立博物館
26. 松林携琴図 1幅 個人
27. 王羲之愛鷺図 1幅 個人
28. 靖節先生行楽図 1幅 個人
29. 送別図 1幅 正宗寺(茨城)
30. 帰漁図 1幅 個人
31. 山水人物図冊「小樵」印 1冊 個人
32. 花下遊狗図 李巖 1幅 日本民藝館
33. 秋草に鳥図 伝 金禔 1幅 個人
34. 牛図 伝 金埴 1幅 個人
35. 龍虎図 李楨 2幅 高麗美術館
36. 墨竹図「翠山」印 2幅 個人
37. 墨梅図 伝 魚夢龍 1幅(2図合装) 個人
38. 紅梅図 1幅 個人
39. 宣伝官庁契会図 1幅 日本民藝館
40. 韓画帖 鄭敎他 3図(37図の内) 東京国立博物館
41. 宋之問詩意図 扇面 鄭敎 1幅 個人
42. 万瀑洞図(「謙玄神品帖」の内) 鄭敎 1面 ソウル大学校博物館
43. 穴望峰図(「謙玄神品帖」の内) 鄭敎 1面 ソウル大学校博物館

44. 朴淵瀑図 鄭敏 1面 個人
 45. 金剛山図 扇面 許佖 1面 高麗大学校博物館 (ソウル)
 46. 長白山図 李麟祥 1面 個人
 47. 真景図冊 呉歴 (款) 1冊 個人
 48. 奉寿堂進饌図 1幅 東国大学校博物館 (ソウル)
 49. 山水図 李寅文 3幅 個人
 50. 高山九曲図 詹僖贊 1幅 個人
 51. 山水図 權敦仁・金正喜 1幅 (2図合装) 高麗美術館
 52. 山水図 扇面 許鍊 1面 ソウル大学校博物館
 53. 墨竹図 柳徳章 1幅 (3図合装) 個人
 54. 怪石草虫図 (「謙玄神品帖」の内) 沈師正 1面
 ソウル大学校博物館
 55. 指頭竹石図 沈師正 1幅 順天大学校博物館 (全羅南道)
 56. 菊図 鄭喆祚 1幅 個人
 57. 猫図 卞相璧 1幅 (2図合装) 東京国立博物館
 58. 飛雀猫図 卞相璧 1幅 東京国立博物館
 59. 葡萄図 李寅文 1幅 東京藝術大学
 60. 人物図冊 1冊 個人
 61. 紅白梅図 趙熙龍 1幅 個人
 62. 葡萄図屏風 崔爽煥 10曲1隻 福岡市美術館
 63. 海棠群蝶図 周津 1幅 個人
 64. 墨蘭図 李昞応 2幅 個人
 65. 山水人物翎毛図 張承業 8面 個人
 66. 蘆雁図屏風 楊基薫 10曲1隻 個人
 67. 雑画冊 張福昶 1冊 個人
 68. 風俗図冊 李応魯 1冊 個人



3. 洞庭秋月・瀟湘夜雨図 伝 如雪



32. 花下遊狗図 李巖
日本民藝館

第2章 仏画の美 高麗から朝鮮王朝へ

69. 釈迦説法図 1幅 四天王寺 (大阪)
 70. 釈迦如来及諸聖衆像 1幅 大倉集古館

71. 三尊仏図 (釈迦三尊二比丘図) 1幅 個人
 72. 阿弥陀如来図 1幅 個人
 73. 阿弥陀八大菩薩図 1幅 延暦寺 (滋賀)
 74. 阿弥陀八大菩薩図 1幅 個人
 75. 阿弥陀浄土図 1幅 個人
 76. 仏伝図 1幅 大阪市立美術館
 77. 摩利支天図 1幅 個人
 78. 羅漢図 1幅 個人
 79. 寒山拾得図 黄遂呂 (?) 2幅 個人
 80. 大方広仏華嚴経卷第二十六 1帖 個人
 81. 大方広仏華嚴経卷第三十九 1帖 個人
 82. 大方広仏華嚴経卷第三 1帖 個人

第3章 絵画と工芸、越境する花鳥の美

83. 鉄砂 梅竹文壺 1口 個人
 84. 青花 花鳥虫文壺 1口 個人
 85. 花鳥図 「恵隆」印 1幅 個人
 86. 群禽図 伝 李巖 1幅 大倉集古館
 87. 白鷹図 伝 辺鸞 1幅 個人
 88. 花鳥図 伝 呂紀 1幅 個人
 89. 花鳥図 1幅 個人
 90. 花鳥図屏風 「李澄」印 4曲1双 北村美術館 (ソウル)
 91. 架鷹図 8幅 正伝永源院 (京都)
 92. 架鷹図 1幅 日本民藝館
 93. 草虫図 伝 申師任堂 1幅 個人
 94. 茄子双鳥図 伝 申師任堂 1幅 福岡市美術館
 95. 菊虫図 1幅 個人
 96. 草花図 伝 張挙 1幅 個人
 97. 大根図 伝 魯治 1幅 個人
 98. 鉄砂葡萄文壺 1口 個人
 99. 葡萄図 伝 徐柱 1幅 個人
 100. 葡萄図 伝 閑情 1幅 個人
 101. 葡萄蟬図 伝 徐柱 1幅 個人
 102. 葡萄栗鼠図 伝 日観 1幅 個人
 103. 葡萄栗鼠図 一暎無双 (款) 1幅 個人
 104. 葡萄図 「蒼萄堂」印 1幅 個人
 105. 葡萄図 傳氏 1幅 個人
 106. 松竹葡萄栗鼠図 1幅 個人
 107. 葡萄栗鼠図屏風 10曲1隻 福岡市博物館
 108. 青花十長生文瓶 1口 個人
 109. 十長生文日月硯 1台 個人
 110. 松下双鹿図 1幅 個人
 111. 鹿図 1幅 個人
 112. 柳下双馬図 1幅 個人
 113. 牛図 1幅 個人
 114. 青花鯉藻文盤 1口 個人
 115. 青花楼閣山水文扁壺 1口 個人
 116. 華角貼人物図箱 1組 個人

第4章 「民画」誕生

117. 虎図 伝李公麟 1幅 正伝寺(京都)
 118. 虎図 1幅 静岡市立芹沢銈介美術館
 119. 虎図 許士寅 1幅 個人
 120. 松虎図 東皋(款) 1幅 個人
 121. 虎図 1幅 個人
 122. 龍虎図 2幅 個人
 123. 虎図屏風 8曲1隻 個人
 124. 虎図 1面 静岡市立芹沢銈介美術館
 125. 文房図屏風 8曲1隻 倉敷民藝館
 126. 時計図 伝司馬江漢 1幅 群馬県立近代美術館
 127. 文房図 4幅 静岡市立芹沢銈介美術館
 128. 文房図 7面 静岡市立芹沢銈介美術館
 129. 文字図屏風 8曲1隻 静岡市立芹沢銈介美術館
 130. 文字図屏風 4曲1隻 静岡市立芹沢銈介美術館
 131. 文具図屏風 8曲1隻 個人
 132. 寿老人図 1幅 個人
 133. 山神図 1幅 静岡市立芹沢銈介美術館
 134. 巫神図 1幅 静岡市立芹沢銈介美術館
 135. 祠堂図 1幅 日本民藝館
 136. 祠堂図 1幅 静岡市立芹沢銈介美術館
 137. 馬上人物図 1面 静岡市立芹沢銈介美術館
 138. 狩猟図 1面 静岡市立芹沢銈介美術館
 139. 狩猟図 1面 静岡市立芹沢銈介美術館
 140. 九雲夢図 2面 静岡市立芹沢銈介美術館
 141. 麒麟図、神蓑図 2幅 日本民藝館
 142. 蓮花図 1面 静岡市立芹沢銈介美術館
 143. 藻魚図 1幅 個人
 144. 亀と魚 1面 静岡市立芹沢銈介美術館
 145. 水族図屏風 8曲1隻 個人
 146. 瀟湘八景図屏風「栖隠」印 10曲1隻 個人
 147. 山水雑画屏風 黄一夢 10曲1隻 個人
 148. 紙織画屏風 6曲1隻 福岡市博物館
 149. 紙織山水図 西安主人 1幅 個人
 150. 紙織山水図 1幅 個人
 151. 紙織鳳凰図 1幅 個人
 152. 紙織雲龍図 1幅 個人
 153. 紙織魁星点斗図(北斗七星図) 1幅 個人

第5章 交流の形—朝鮮通信使の果たした役割

154. 風蘭図 「秀文」印 1幅 個人
 155. 白衣観音図 霊彩 1幅 相国寺(京都)
 156. ◎山水図 雪舟/李蓀・朴衡文賛 1幅 香雪美術館
 157. 鹿図 海北友松/李文長賛 1幅 個人
 158. 瀟湘八景図屏風 松葉軒/李文長賛 8曲1隻 個人
 159. 孔子像 狩野山雪/金世濂賛 1幅 東京国立博物館
 160. 達磨・梅・竹図 金明国 3幅 東京藝術大学
 161. 鷺図 金明国/林羅山賛 1幅 高麗美術館
 162. 布袋和尚図 韓時覚 1幅 高麗美術館
 163. 山水図 「一子」印 1幅 個人

164. 仕女図 李聖麟 1幅 個人
 165. 月梅図 崔北 1幅 福岡市博物館
 166. 松下虎図 卞璞 1幅 大阪市文化財協会
 167. 李賀騎馬図 金有声/慈周賛 1幅 両足院(京都)
 168. 滝山水・寿老人図 金有声/梅荘顕常賛 2幅 両足院(京都)
 169. 山水花鳥図押絵貼屏風 金有声 6曲1隻 清見寺(静岡)
 170. 山水図 金有声/敬雄賛 1幅 個人
 171. 雲龍図 金有声 1幅 順天大学校博物館(全羅南道)
 172. 山水図 金有声 1面 高麗大学校博物館(ソウル)
 173. 山水図 脱翠 2幅 福岡市博物館
 174. 山水図 李義養 1幅 大阪歴史博物館
 175. 皁虎図 李義養 1幅 両足院(京都)
 176. 達磨祖師図 沙弥栲林 1幅 個人
 177. 寿老人図 荷潭/古賀精里賛 1幅 大阪歴史博物館
 178. 富士山図 丹羽嘉言/頼斎賛 1幅 個人
 179. 観水声画 書画帖 1帖 個人
 180. ◎東照社縁起絵巻(仮名本)巻四 狩野探幽 1巻 日光東照宮宝物館
 181. 正徳度朝鮮通信使行列図巻 2巻 大阪歴史博物館
 182. 朝鮮通信使小童図(馬上揮毫図) 英一蝶 1幅 大阪歴史博物館
 183. 朝鮮通信使来朝図(琉球人年賀行列図) 羽川藤永 1幅 京都府立総合資料館
 184. 朝鮮通信使来朝図 1幅 栃木県立博物館
 185. 朝鮮通信使行列図屏風 6曲1隻 栃木県立博物館
 186. 洛中洛外図屏風 6曲1双 個人
 187. 釜山浦富士図 狩野典信 1幅 大阪市文化財協会
 188. 文化八年来聘朝鮮通信使図巻 1巻 東京国立博物館
 189. 曲馬(乗)図 白隠 1幅 個人
 190. 馬上才之図 1巻 大阪歴史博物館
 191. 馬上才之図 二代鳥居清信 1面 高麗美術館
 192. 富嶽百景 葛飾北斎 1冊 個人

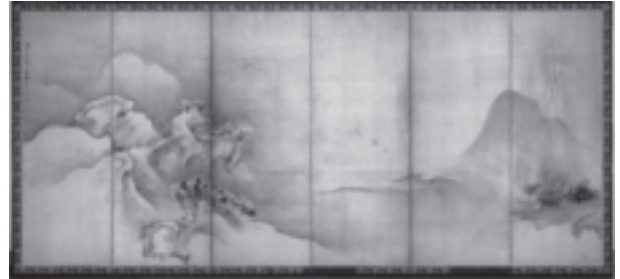


224. 犬図 俵屋宗達
西新井大師総持寺

第6章 日本画家のまなざし—日本絵画に与えた影響

193. ◎山水図 伝蛇足 2幅 群馬県立近代美術館
 194. 花鳥図 興悦 1幅 神奈川県立歴史博物館
 195. 虎溪三笑・山水図 啓孫 3幅 栃木県立博物館

196. 山水図 長尾景長 1幅 個人
197. 神農図 官南 1幅 栃木県立博物館
198. 飲中八仙・西園雅集図屏風 官南 6曲1双 正宗寺(茨城)
199. 渡唐天神図 官南 1幅 栃木県立博物館
200. 松に鷹図 文筈 1幅 栃木県立博物館
201. 架鷹図 文筈 1幅 個人
202. 鴛鴦図 元賀 1幅 栃木県立博物館
203. 葡萄栗鼠図 元賀 1幅 個人
204. 葡萄図 元賀 1幅 山口県立美術館
205. 瀟湘八景図 制光 1幅 栃木県立博物館
206. 瀟湘八景図 制光 8幅 栃木県立博物館
207. 蘭図 雪林 1幅 栃木県立博物館
208. 瓜にかやつり草図 雪村周継 1幅 個人
209. 瀟湘八景図屏風 雪村周継 6曲1隻 個人
210. 瀟湘八景図帖 雪村周継 1帖 個人
211. 山水図 雪村周継 1幅 個人
212. 花鳥図 雪村周継 2幅 個人
213. 花鳥図屏風 雪村周継 6曲1隻 栃木県立博物館
214. 竹虎図 伝 雪村周継 1幅 東京藝術大学
215. 瀟湘八景図 雪洞 6幅 栃木県立博物館
216. 煙寺晚鐘図 雪洞 1幅 個人
217. 残雪山水図 伝 如水宗淵 1幅 大倉集古館
218. 山水図(煙寺晚鐘、洞庭秋月、山市晴嵐)「真相」印 3幅 個人
219. 花鳥図「真相」印 1幅 個人
220. 山水図巻 狩野探幽 1巻 京都国立博物館
221. 探幽縮図 狩野探幽 1帖(18帖の内) 東京国立博物館
222. 鷹図巻 狩野探幽 1巻 個人
223. 犬図 俵屋宗達/一絲賛 1幅 個人
224. 犬図 俵屋宗達 1幅 西新井大師絵持寺(東京)
225. 狗子図 俵屋宗達 1幅 神奈川県立近代美術館
226. 秋雲舒出谷図 祇園南海 1幅 個人
227. 富士山図 池大雅 1帖 個人
228. 富士山図 池大雅 1幅 個人
229. 南山清秀図 池大雅 1幅 個人
230. 寒山拾得図 池大雅 1幅 京都国立博物館
231. 猛虎図 桑山玉洲 1幅 和歌山県立博物館
232. 虎図 佐竹蓬平 1幅 個人
233. 狗子図 与謝蕪村 4面 個人
234. 白象群獸図 伊藤若冲 1幅 個人
235. 樹花鳥獸図屏風 伊藤若冲 6曲1双 静岡県立美術館
236. 松樹群鶴図 伊藤若冲 1幅 個人
237. 彫児戯箏図 伊藤若冲 1幅 鹿苑寺(京都)
238. 隠元豆・玉蜀黍図 伊藤若冲 2幅 草堂禪寺(和歌山)
239. 鯉魚図 葛飾北斎 1幅 埼玉県歴史と民俗の博物館
240. 鯉図 葛飾北斎 1幅 群馬県立近代美術館
241. 南村訪雪図 浦上玉堂 1幅 岡山県立博物館
242. 仙山鳴鶴図 浦上玉堂 1幅 個人
243. 水亭臨敵図 浦上玉堂 1幅 個人
244. 山水画帖 浦上玉堂・秋琴 1帖 個人
245. 幽谷訪隠図 浦上玉堂 1幅 個人
246. 葡萄に鷹図 天龍道人 1幅 群馬県立近代美術館
247. 山水図 谷文晁 1幅 個人
248. 葡萄栗鼠図屏風 谷文晁 6曲1双 個人
249. 虎図 五十嵐竹沙 1幅 個人
250. 月夜葡萄図屏風 狩野栄信 6曲1双 静岡県立美術館



209. 瀟湘八景図屏風 雪村周継 個人



235. 樹花鳥獸図屏風 伊藤若冲 右隻 静岡県立美術館

特別展

「チュニジア世界遺産

古代カルタゴとローマ展

—きらめく地中海文明の至宝—

- 会 期 平成21年 6月12日(金)～8月16日(日)
開催日数 57日間
観覧者数 39,203名(1日平均約688人)
観 覧 料 一般1,200円/高校・大学生800円/小・
中学生500円(10名以上の団体各100円引、
前売各200円引)
主 催 「古代カルタゴとローマ展」仙台展実行委
員会(仙台市博物館、河北新報社、NH
K仙台放送局)
協 力 チュニジア共和国文化・遺産保存省、
チュニジア国立遺跡研究所(INP)、
チュニジア国立博物館群、カタール航空
企 画 東映
後 援 チュニジア共和国大使館、日本チュニジ
ア協会、宮城県、宮城県教育委員会、仙
台商工会議所、仙台観光コンベンション
協会、仙台国際交流協会、朝日新聞仙台
総局、毎日新聞仙台支局、産経新聞社東
北総局、日本経済新聞社仙台支局、仙台
リビング新聞社、仙台放送、TBC東北
放送、ミヤギテレビ、KHB東日本放送、
Date fm、ラジオ3 FM76.2

「地中海の宝石」と呼ばれるチュニジアには、白亜の壁が列なる旧市街の景観やサハラ砂漠などに代表される多彩な面があり、独自の歴史・文化が育まれてきた。約3千年前、フェニキア人によって建国された都市国家・カルタゴは、地中海貿易の中継地として繁栄を極めたが、ローマ共和国との争いにより消滅する。しかし、その後もモザイク芸術に見られるような、ローマとカルタゴの伝統が融合した文化がこの地に築かれることとなった。

本展では、カルタゴ遺跡群から出土した資料をはじめ、世界一のモザイクコレクションを誇るチュニジア国立博物館群の名品約150点を通じ、ギリシア、ローマ、カルタゴによって繰り広げられた古代地中海世界の歴史と文化を紹介した。

展示構成

- 第1章 地中海の女王カルタゴ
第2章 ローマに生きるカルタゴ



印刷物

- ポスター B2判 2,000枚、B3判720枚
チラシ A4判 112,000枚
割引券 150,000枚
図録 A4判 168ページ

関連行事

- (1) 記念講演会①
6月12日(金) 13:30-15:15
博物館ホール 参加200人
演題 a 「地中海におけるカルタゴ —その繁栄と信仰—」
講師: 佐藤育子氏(日本女子大学学術研究員・非常勤講師)
演題 b 「モザイクの歴史とその魅力」
講師: ファトヒ・ベジャウイ氏(チュニジア国立遺跡研究所所長)
- (2) ミュージウムセミナー
6月13日(土)、6月24日(水) 参加44人

(3) 友の会広報セミナー 6月15日(月)

参加137人

(4) 記念講演会②

7月18日(土) 13:30-15:00

博物館ホール 参加184人

演題 「カルタゴとローマ帝国 ―古代地中海
における北アフリカの都市社会―」

講師：松本宣郎氏(宮城学院学院長・東北大学
名誉教授)

(5) 記念コンサート



(7) プレイミュージアムイベント「チュニジアのお
守りをつくろう！」

6月9日(火)～8月16日(日)、60日間開催

参加3,020人



7月25日(土) 14:00-15:00

「ル・クラブ・バシュラフによるアラブ音楽コン
サート」

演奏：ル・クラブ・バシュラフ

博物館ホール 参加133人

(6) モザイク教室

講師：上 哲夫氏(アトリエ上主宰)

8月1日(土) 10:00-12:00、

14:00-16:00

参加29人



展示資料目録

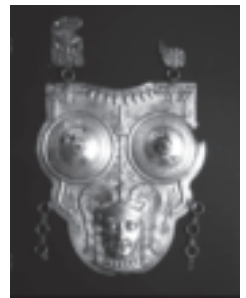
第1章 地中海の女王カルタゴ

1. マスク 前3C末～前2C初頭 カルタゴ、トフェト
カルタゴ博物館
2. マスク形女性頭部像 前6C末 カルタゴ カルタゴ博物館
3. マスク形女性頭部像 前5～前3C カルタゴ
カルタゴ博物館
4. 女性頭部形マスク 前4～前3C
カルタゴのネクロポリス カルタゴ博物館
5. 女性頭部形マスク(部分) 前4～前3C
カルタゴのネクロポリス カルタゴ博物館
6. 奉納石碑 前3～前2C 不明 カルタゴ博物館
7. 奉納石碑 前3～前2C カルタゴ、トフェト
カルタゴ博物館
8. アンフォラ 前2C 不明 カルタゴ博物館
9. アンフォラ 前1C 不明 カルタゴ博物館
10. 牡牛頭部形アリユバロス(香油壺) 前4～前3C 不明
カルタゴ博物館
11. マスク形ペンダント 前4～前3C
カルタゴのネクロポリス カルタゴ博物館
12. マスク形ペンダント 前3C 不明 カルタゴ博物館
13. マスク形ペンダント 前4～前3C 不明 カルタゴ博物館
14. マスク形ペンダント 前3C 不明 カルタゴ博物館
15. マスク形ペンダント 前4C 不明 カルタゴ博物館
16. マスク形ペンダント 前4～前3C 不明 カルタゴ博物館
17. マスク形ペンダント 前4～前3C 不明 カルタゴ博物館
18. マスク形ペンダント 前4～前3C 不明 カルタゴ博物館
19. オイノコエ形容器 前5～前4C 不明 カルタゴ博物館
20. オイノコエ形容器 前4～前3C 不明 カルタゴ博物館
21. アンフォラ形容器 前3C前半 ケルクアン
ケルクアン博物館
22. オイノコエ(水差し) 前5～前4C 不明 カルタゴ博物館
23. ネックレス 前7～前6C 不明 カルタゴ博物館
24. ネックレス 前7～前6C 不明 カルタゴ博物館
25. ネックレス 前4～前3C カルタゴのネクロポリス
カルタゴ博物館
26. ネックレス 前4～前3C ケルクアンのネクロポリス
ケルクアン博物館
27. 動物形容器 前4C ケルクアンのネクロポリス
ケルクアン博物館
28. ハト形容器 前3C 不明 カルタゴ博物館
29. 哺乳瓶形容器 前3C前半 カルタゴのネクロポリス
カルタゴ博物館
30. 哺乳瓶形容器 前3C カルタゴのネクロポリス
カルタゴ博物館
31. 哺乳瓶形容器 前3C カルタゴ、
サント=モニクのネクロポリス カルタゴ博物館
32. 哺乳瓶形容器 前3C前半 カルタゴのネクロポリス
カルタゴ博物館
33. アンフォラ 前7～前6C 不明 カルタゴ博物館
34. アンフォラ 前6C 不明 カルタゴ博物館
35. アンフォラ 前7～前6C 不明 カルタゴ博物館
36. スキュラを模った型 前3C ケルクアン
ケルクアン博物館
37. 女神小像 前7～前6C カルタゴ、
ビュルサの丘のネクロポリス カルタゴ博物館
38. アシュタルテ女神像? 前4～前3C カルタゴ、
サント=モニクに隣接するネクロポリス カルタゴ博物館
39. アシュタルテ女神像? 前3C カルタゴ、
サント=モニクのネクロポリス カルタゴ博物館
40. 女性頭部形香炉 前3～前2C 不明 カルタゴ博物館
41. 女性頭部形香炉 前3C中頃 不明 カルタゴ博物館
42. ピン ポエニ時代(前9～前2C)
カルタゴのネクロポリス カルタゴ博物館
43. 糸巻き ポエニ時代(前9～前2C) カルタゴ
バルドー博物館
44. 針 ポエニ時代(前9～前2C)
カルタゴのネクロポリス バルドー博物館
45. 副葬用果物 ポエニ時代(前9～前2C)
カルタゴのネクロポリス カルタゴ博物館
46. 矢じり ポエニ時代(前9～前2C) カルタゴ
カルタゴ博物館
47. 黒像式アンフォラ 前6C ケルクアンのネクロポリス
ケルクアン博物館
48. 赤像式容器 前4C前半 カルタゴ、
サント=モニクのネクロポリス カルタゴ博物館
49. 黒人を模した香水用容器 前4～前3C
ケルクアンのネクロポリス ケルクアン博物館
50. 手斧形カミソリ 前4C末～前3C初頭 ケルクアン
バルドー博物館
51. イシス女神小像 前4C カルタゴ、
サント=モニクのネクロポリス? カルタゴ博物館
52. イシス女神小像 前4C カルタゴ、
サント=モニクのネクロポリス? カルタゴ博物館
53. プタハ・パテク小像 前4C カルタゴ、
サント=モニクのネクロポリス カルタゴ博物館
54. ネックレス ポエニ時代(前9～前2C) 不明
カルタゴ博物館
55. ネックレス 前4～前3C ケルクアンのネクロポリス
ケルクアン博物館
56. 葬送用彫像 前3C ガマルタ バルドー博物館
57. 葬送用彫像 前4～前3C
カルタゴ、サント=モニクのネクロポリス カルタゴ博物館
58. ライオン小像 前4C ケルクアンのネクロポリス
ケルクアン博物館
59. スフィンクス 1C ティニニースト、
バアル=サトゥルススの聖域 ナブール博物館
60. ケルノス(儀式用容器) 前3C前半 不明 カルタゴ博物館
61. 小祭壇 前3C ケルクアン ケルクアン博物館

- | | | | |
|---------------------------|---------------------|----------|---------|
| 62. 女神小像 前6C | ケルクアンのネクロポリス | | |
| | ケルクアン博物館 | | |
| 63. シンバル 前4C | ケルクアンのネクロポリス | | |
| | カルタゴ博物館 | | |
| 64. 鈴 ポエニ時代(前9~前2C) | 不明 | カルタゴ博物館 | |
| 65. 鏡 前7~前6C | 不明 | カルタゴ博物館 | |
| 66. 化粧箱 前4C | ケルクアンのネクロポリス | | |
| | ケルクアン博物館 | | |
| 67. 奉納石碑 前4~前2C前半 | カルタゴ、トフェト | | |
| | カルタゴ博物館 | | |
| 68. 奉納石碑 前3~前2C | カルタゴ、トフェト | | |
| | カルタゴ博物館 | | |
| 69. 奉納石碑 前3~前2C | カルタゴ、トフェト | | |
| | カルタゴ博物館 | | |
| 70. 奉納石碑 前3~前2C | 不明 | カルタゴ博物館 | |
| 71. 奉納石碑 前3~前2C | 不明 | カルタゴ博物館 | |
| 72. 奉納石碑 前3~前2C | 不明 | カルタゴ博物館 | |
| 73. 奉納石碑 前3~前2C | 不明 | カルタゴ博物館 | |
| 74. 奉納石碑 前3~前2C | 不明 | カルタゴ博物館 | |
| 75. 骨壺 前3C | 不明 | カルタゴ博物館 | |
| 76. 骨壺 前3C | カルタゴ、サント=モニク | カルタゴ博物館 | |
| 77. 有翼女性神官の石棺の墓碑銘板 前4~前3C | | | |
| | カルタゴ、サント=モニクのネクロポリス | カルタゴ博物館 | |
| 78. 有翼女性神官の石棺(蓋) 前3C | | | |
| | カルタゴ、サント=モニクのネクロポリス | カルタゴ博物館 | |
| 79. コイン 前264-前241 | 不明 | バルドー博物館 | |
| 80. コイン ポエニ時代(前9~前2C) | 不明 | バルドー博物館 | |
| 81. コイン ポエニ時代(前9~前2C) | 不明 | バルドー博物館 | |
| 82. コイン ポエニ時代(前9~前2C) | 不明 | カルタゴ博物館 | |
| 83. コイン ポエニ時代(前9~前2C) | 不明 | カルタゴ博物館 | |
| 84. コイン ポエニ時代(前9~前2C) | 不明 | カルタゴ博物館 | |
| 85. コイン ポエニ時代(前9~前2C) | 不明 | カルタゴ博物館 | |
| 86. コイン ポエニ時代(前9~前2C) | 不明 | カルタゴ博物館 | |
| 87. イヤリング 前7~前6C | カルタゴのネクロポリス | | |
| | カルタゴ博物館 | | |
| 88. イヤリング 前7~前6C | カルタゴのネクロポリス | | |
| | カルタゴ博物館 | | |
| 89. イヤリング 前7C | カルタゴのネクロポリス | | |
| | バルドー博物館 | | |
| 90. イヤリング 前7C | カルタゴのネクロポリス | | |
| | カルタゴ博物館 | | |
| 91. イヤリング 前4C | レプティス(レムタ) | バルドー博物館 | |
| 92. イヤリング ポエニ時代(前3~前2C) | 不明 | | |
| | バルドー博物館 | | |
| 93. ペンダント形アミュレット 前6C | | | |
| | カルタゴのネクロポリス | カルタゴ博物館 | |
| 94. ペンダント形アミュレット 前4~前3C | | | |
| | カルタゴのネクロポリス | カルタゴ博物館 | |
| 95. ペンダント形アミュレット 前4~前3C | | | |
| | カルタゴのネクロポリス | カルタゴ博物館 | |
| 96. ペンダント形アミュレット 前4~前3C | 不明 | | |
| | カルタゴ博物館 | | |
| 97. 指輪 前7~前6C | 不明 | カルタゴ博物館 | |
| 98. スカラベ形印章 前4~前3C | シディ・サレム | | |
| | (メンゼル・テミム)のネクロポリス | ケルクアン博物館 | |
| 99. ペンダント 前4C | ケルクアンのネクロポリス | | |
| | ケルクアン博物館 | | |
| 100. 指輪 前4~前3C | シディ・サレム | | |
| | (メンゼル・テミム)のネクロポリス | ケルクアン博物館 | |
| 101. 指輪 前4~前3C | ケルクアン | ケルクアン博物館 | |
| 102. ネックレス 前6C | ケルクアン | バルドー博物館 | |
| 103. 奉納石碑 前3~前2C | 不明 | カルタゴ博物館 | |
| | 特別出品. 鎧 前3~前2C | 不明 | バルドー博物館 |



92. イヤリング



特別出品. 鎧

第2章 ローマに生きるカルタゴ

- | | | |
|--------------------------|-------------|---------|
| 104. 男性胸像 2C前半 | 不明 | バルドー博物館 |
| 105. ハドリアヌス帝像頭部 119年 | 不明 | バルドー博物館 |
| 106. マルクス・アウレリウス帝像頭部 2C末 | 不明 | |
| | | バルドー博物館 |
| 107. ドミティア・ルキッラ胸像 2C | 不明 | バルドー博物館 |
| 108. 演劇用マスク形頭部像 2C | 不明 | ウドナ |
| 109. 男性像頭部 2C | 不明 | ウドナ |
| 110. ミネルヴァ頭部像 2C後半 | 不明 | ウドナ |
| 111. 幼児像頭部 2~3C | 不明 | カルタゴ博物館 |
| 112. ヴィーナス像頭部 2~3C | 不明 | バルドー博物館 |
| 113. 老女頭部像 3C | 不明 | ウドナ |
| 114. ローマ皇帝像頭部 3C中頃 | 不明 | バルドー博物館 |
| 115. ライオン像 1~2C初頭 | マクタリス(マクトル) | |
| | 北東部のネクロポリス | バルドー博物館 |
| 116. プリアポス像 3C | 不明 | ウドナ |
| 117. ヴィーナス像 3C | 不明 | ウドナ |
| 118. イルカを象った装飾彫刻 2C | 不明 | ウドナ |
| 119. 泉水用装飾彫刻 2~3C | 不明 | ウドナ |
| 120. 柱頭 2C末~3C初頭 | ウドナの円形闘技場 | ウドナ |
| 121. コーニス 2C | ウドナのカピトリウム | ウドナ |
| 122. ヘルマ柱(人頭柱) 2C | カルタゴ | カルタゴ博物館 |
| 123. 男性頭部形水差し 2~3C | 不明 | カルタゴ博物館 |
| 124. 壺 2~3C | 不明 | カルタゴ博物館 |
| 125. 水差し 2~3C | 不明 | カルタゴ博物館 |
| 126. 鉢 4C末~5C初頭 | 不明 | カルタゴ博物館 |

- | | | | | |
|--------------|----------|--------------|----------------|-------------------|
| 127. ローマ式ランプ | 1 C | カルタゴ、役人の墓地 | カルタゴ、デルメシュ | カルタゴ博物館 |
| | | カルタゴ博物館 | | |
| 128. ローマ式ランプ | 1 C | カルタゴ、役人の墓地 | 158. モザイク | バラのつぼみを撒く女性 5 C前半 |
| | | カルタゴ博物館 | シディ・グリブ | カルタゴ博物館 |
| 129. ローマ式ランプ | 1 C | エル・ジェム | カルタゴ博物館 | 159. モザイク |
| 130. ローマ式ランプ | 2 C前半 | カルタゴ、役人の墓地 | カルタゴ博物館 | 水を注ぐ女性 5 C前半 |
| | | カルタゴ博物館 | シディ・グリブ | カルタゴ博物館 |
| 131. ローマ式ランプ | 1 C | カルタゴ、役人の墓地 | 160. モザイク | ネレイスと海獣 5 C前半 |
| | | カルタゴ博物館 | シディ・グリブ | カルタゴ博物館 |
| 132. ローマ式ランプ | 1 C | カルタゴ、役人の墓地 | 161. モザイク | オケアノスと海 5 C |
| | | カルタゴ博物館 | スビカ地方 | バルドー博物館 |
| 133. ローマ式ランプ | 1 C | 不明 | カルタゴ博物館 | 162. モザイク |
| 134. ローマ式ランプ | 1 C | カルタゴ、役人の墓地 | カルタゴ博物館 | ネプチューン 5 C末～6 C初頭 |
| | | カルタゴ博物館 | スベイトラ | スベイトラ |
| 135. ローマ式ランプ | 1 C | カルタゴ、役人の墓地 | カルタゴ博物館 | 特別出品、モザイク |
| | | カルタゴ博物館 | カルタゴ博物館 | 地中海の島々と都市 |
| 136. ローマ式ランプ | 3 C | 不明 | カルタゴ博物館 | 3 C末～4 C初頭 |
| 137. ローマ式ランプ | 3 C | 不明 | カルタゴ博物館 | ハイドラ |
| 138. ローマ式ランプ | 3 C | 不明 | カルタゴ博物館 | ハイドラ博物館 |
| 139. ローマ式ランプ | 1 C後半 | カルタゴ、役人の墓地 | カルタゴ博物館 | |
| | | カルタゴ博物館 | | |
| 140. ローマ式ランプ | 1 C | カルタゴ、役人の墓地 | カルタゴ博物館 | |
| | | カルタゴ博物館 | | |
| 141. ローマ式ランプ | 3 C | 不明 | カルタゴ博物館 | |
| 142. ローマ式ランプ | 3 C | 不明 | カルタゴ博物館 | |
| 143. ローマ式ランプ | 3 C | カルタゴ、 | カルタゴ博物館 | |
| | | ボルジュ・ジェデイドの丘 | カルタゴ博物館 | |
| 144. ローマ式ランプ | 1 C | カルタゴ、役人の墓地 | カルタゴ博物館 | |
| | | カルタゴ博物館 | | |
| 145. ローマ式ランプ | 4 C | 不明 | カルタゴ博物館 | |
| 146. ローマ式ランプ | 3 C | 不明 | カルタゴ博物館 | |
| 147. モザイク | 闘技者と賞品 | 3 C | ウティカ | バルドー博物館 |
| 148. モザイク | 野ウサギの追跡 | 3 C末 | アルティプロス (ムデイナ) | バルドー博物館 |
| 149. モザイク | 落馬する狩人 | 3 C末 | アルティプロス (ムデイナ) | バルドー博物館 |
| 150. モザイク | 野ウサギの捕獲 | 3 C末 | アルティプロス (ムデイナ) | バルドー博物館 |
| 151. モザイク | 狩猟からの帰還 | 3 C末 | アルティプロス (ムデイナ) | バルドー博物館 |
| 152. モザイク | メドゥーサ | 3 C | ティナ (スファックス近郊) | スファックス博物館 |
| 153. 泉水盤 | 3 C前半 | カルタゴ | カルタゴ博物館 | |
| 154. モザイク | 靴職人 | 4 C | ケリビア | エル・ジェム博物館 |
| 155. モザイク | アモルとプシュケ | 4 C | カルタゴ、 | カルタゴ博物館 |
| | | ビュルサの丘 | カルタゴ博物館 | |
| 156. モザイク | ヴィーナスの化粧 | 4 C後半 | チュブルボ・マジュス | バルドー博物館 |
| 157. モザイク | ゾウとニシキヘビ | 5 C初頭 | | |



117. ヴィーナス像



152. モザイク メドゥーサ

リニューアル工事の概要

昭和61年の新館開館から20余年。その間、当館では多くの実物資料を展示して参りましたが、展示ケース等の老朽化も目立つようになりました。特に、平成15年に仙台城跡が国史跡に指定されることにより、その発掘成果を含め仙台城に関わる展示の充実が強く求められるに至りました。

今回の改修では、常設展示部分の3室（総合展示室Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ）が、新たな総合展示室と特集展示室の2室に生まれ変わることになりました。総合展示室では、旧石器から中世、そして現在の町の骨格が形成された近世を経て、近代都市へと変貌する仙台の様子を、「むかしの仙台」「伊達政宗、仙台へ」「城」「藩」「町」「近代都市へのあゆみ」の6つのゾーンに分けて紹介。もちろん今まで同様、実物資料中心の展示で、特に仙台城や城下町仙台に関する情報が充実しています。



総合展示室

特に目を引く空間としては、展示室中央に置かれる「仙台しろ・まち情報広場」でしょう。年表やパソコンを使って、展示資料や関連施設についてのさまざまな情報を手に入れることができます。床に設置された航空写真の上に乗って、仙台城と城下町仙台の様子を現代に重ね合わせてみるのも一興です。



仙台しろ・まち情報広場

さらに「あのころの仙台」というコーナーでは、古写真や音声を通じて、懐かしの仙台を実感していただけるものと思います。

また、今回のリニューアルに際しては、環境省の助成を得て、最新のLED（発光ダイオード）を用いた照明システムを導入しました。地球はもちろんのこと、資料にもやさしい新時代の照明を体感してみてください。



あのころの仙台

隣接する特集展示室では、従来の通史的な展示ではご覧いただけなかった資料群を、様々なテーマのもとで紹介します。たとえば歴史の分野では、仙台藩の歴代藩主を画像や書状などを通じて紹介していくとともに、伊達政宗の手紙や戦国武将たちの花押とハンコ、林子平・大槻玄沢ら仙台藩の生んだ学者たち、さらには江戸時代の教科書や七夕などにちなんだ特集も準備しています。美術の分野では、四季の風物を造形化した作品や屏風・掛軸・巻物に描かれたものなど、特定の主題や描写形式などに絞って、日本美術の楽しみ方を紹介していきます。仙台藩のお抱え絵師や仙台四大画家、浮世絵の特集展示も用意しています。さらに、好評だった展示内容については、企画展や特別展への展開も考えていきたいと思えます。加えて、正面に設置のケースには、じっくり鑑賞いただけるような演出を施しつつ、順次館蔵の名品を展示して参ります。



特集展示室

2. 資料の収集保管

受贈資料

本年度は14人の方々から149件163点の資料寄贈を受けた。

※寄贈者（敬称略）／資料名／数量の順に記載
星智雄／東東洋筆「許由・巢父図」／双幅
吉田るり子／林子平書状写／1面
鈴木日輪子／浮世絵「伊賀之仇討新狂言 御前仕合 政右エ門早業手練之場」ほか／2点
萩田耕造／伊達家江戸愛宕下中屋敷絵図／1鋪
石垣喜嗣／火縄銃／1挺
朴澤学園理事長朴澤泰治／朴澤学園130周年記念『朴澤学園公文書資料集』／1件13冊
菅原成一／伊達氏系図ほか／2件3点
目黒卓英／仙台藩鷹匠佐藤家文書／123点
高橋敏／雪村筆「茅濛図」／1幅
小林嵩／歌川国丸画「立美人図」／1幅
遠藤まし子／多田等観書／7枚
斉藤善彦／大槻磐溪筆「山水図」ほか／2幅
伊達幸男／青葉城本丸本殿正面之図（印刷・複製）ほか／5点
金ヶ崎伸二／伊達政宗黒印状／1通

購入資料

本年度は43件96点の資料を購入した。
※資料名／数量の順に記載
原南嶺私註『環海異聞』上・下／2帖
虎図／1幅
埋木細工および関連資料／36件87点
葵紋橋文蒔絵昆布箱／1合
南山古梁書正面刷版木／2枚（4面）
宝船図／1枚
セヴィリア市街図／1枚
天保期仙台藩古文書／1点

寄託資料

当館では、現在、98人5,981件の寄託を受け付けている。

資料修理

本年度は2件の資料修理を行った。

- (1) 保存処理
郡山遺跡出土クリ材（材木柱列） 仙台市教育委員会蔵 1点
- (2) 改装
洛中洛外図屏風（六曲一双、佐々木源一郎氏寄贈）のうち1隻分

資料保存

市民の貴重な財産である文化財を保存し、次の世代に継承するため、当館では収蔵庫及び展示室においては適切な温度と湿度を保ち、紫外線をカットした蛍光灯を使用している。

また虫菌害対策としては、以下のように(1)加害生物調査や(2)くん蒸による殺虫・殺菌処理を行った。

- (1) 加害生物調査
目的：歩行性昆虫の種類と侵入経路の特定
実施日：①平成21年7月2日～7月16日
②平成21年9月24日～10月8日
③平成21年12月4日～12月18日
④平成22年2月20日～3月5日
調査方法：粘着トラップで徘徊する昆虫を捕獲
調査場所：展示室・収蔵庫など館内204箇所（リニューアル工事期間は展示室を除いて実施）
効果：調査結果をうけ加害生物の侵入を防ぐための対策を講じた。昆虫の侵入が認められた箇所を含む大規模な整理・清掃を行い、さらに侵入経路の遮断を行った。また上記期間以外にも数箇所に粘着トラップを設置し、継続的に侵入状況を観察した。
- (2) くん蒸庫におけるくん蒸
目的：新規収蔵資料や露出展示資料、借用資料のうち虫菌害を及ぼす恐れのある資料の殺虫・殺菌。
実施日：①平成21年7月5日～7月7日
②11月22日～11月23日
③平成22年2月6日～2月8日
方法：①～③ともエキヒュームS（酸化エチレン製剤）ガス投薬による密閉くん蒸。
効果：①～③とも供試虫・供試菌はいずれも殺滅

され、殺虫・殺菌効果は100パーセントと判定された。

その他：①～③とも環境への影響に配慮し、使用ガスの屋外排気にあたっては活性炭に有害物質を吸着させて排気を行った。

資料貸出

本年度は22館等に171件214点の資料貸出を行った。
※貸出先／目的／資料名／期間の順に記載
府中市美術館／「山水に遊ぶ—江戸絵画の風景250年」／東東洋筆「夏冬山水図」等5件6点／平成21年3月12日～5月27日
名古屋市美術館・東急文化村・兵庫県立美術館／「だまし絵展」／歌川国芳画「其面影程能写絵」（獵人にたぬき・金魚にひごいっ子）等4件16点／4月3日～11月9日
広島県立美術館／「—知られざるサムライ・アート—大名庭園展」／縹縮緬地松竹梅鶴亀文様夜着1件1点／平成21年4月8日～6月10日
米沢市上杉博物館／特別展「天地人博2009」／狩野探幽筆「伊達政宗甲冑像」等18件18点／5月13日～7月14日
カメイ記念展示館／「生誕120年記念 菅野 廉 バリ・スケッチ展」／菅野廉画「収穫の秋」等2件2点／5月14日～7月29日
サントリー美術館・新潟県立歴史博物館／三宝荒神形兜等6件6点(内寄託品1点) 5月18日～9月10日
一枝会／「清和会」／墨跡 大綱禅師筆 淀の川舟云々等11件11点／6月13日～6月14日
北上市立博物館／企画展「南部領伊達領境塚展」／寛永十九年之絵図 伊沢之内相去村・和賀之内鬼柳村新境絵図等2件2点／8月28日～11月13日
文化庁／メトロポリタン美術館（アメリカ合衆国ニューヨーク）「侍の芸術」／黒漆五枚胴具足 伊達政宗所用菅野正左衛門重成拝領等4件4点／9月4日～平成22年2月10日
長野県信濃美術館・高知県立美術館／「日本のわざと美」展／千葉あやの作 正藍染単衣1件1点／9月9日～12月4日
東北歴史博物館／東北歴史博物館10周年特別展「東北の群像 —みちのく祈りの名宝—」／脇差（仙台東照宮奉納） 附金梨地葵紋拵等2件2点(内寄

託品1点)／9月9日～11月16日
仙北市立角館樺細工伝承館／小野田直武・佐竹義躬生誕260年「秋田蘭画とその周辺展」／宇田川榛斎著 医範提綱（本文編）等6件12点／9月24日～11月9日
徳川美術館・名古屋市蓬左文庫／特別展「戦国ふあっしょん —武将の美学—」／銀伊予札白糸素懸威胴丸具足1件1点／9月30日～11月27日
神奈川県立金沢文庫／仙台市博物館・神奈川県立金沢文庫交流特別展「伊達政宗とみちのく文華」／黒漆五枚胴具足 伊達政宗所用等99件123点(内寄託品10点)／10月3日～12月11日
一関市博物館／テーマ展「光芒の再生 —GHQに接收された刀剣—」 脇差 銘「仙台住藤原国包／慶安五年二月吉日」等3件3点／11月30日～平成22年2月17日
せんだいデザインウィーク実行委員会／せんだいデザインウィーク2009 合同企画展／テーブルランプ等3件3点／12月10日～12月16日
塩竈市神社博物館／「仙台の刀工 安倫」展／脇差（東照宮奉納）等3件3点／12月18日～平成22年1月28日

写真資料貸出・利用

当館では写真資料の貸出と利用に応じている。本年度の申込みは320件874点であった。

「重要文化財 黒漆五枚胴具足 伊達政宗所用」は、のべ57回、「伊達政宗画像 狩野安信筆」は、のべ31回の利用があった。



重文 黒漆五枚胴具足



伊達政宗画像

表2 収蔵資料一覧

平成22年3月31日現在

伊達家寄贈文化財	古文書、絵画、工芸等	22,054 ※
石橋幸作コレクション	飴売り風俗人形、駄菓子模型	501
石原謙太郎コレクション	絵画、書跡、屏風	84
中村徳重郎コレクション	林子平関係資料、古文書、古記録	432
本出保治郎コレクション	古堤人形、古三春人形、古花巻人形、古相良人形等	3,416
朴沢家資料	古文書、古記録、絵画	539
阿部次郎コレクション	絵画、浮世絵、古書籍、古文書	3,286
佐藤半兵衛コレクション	古銭、中国絵画	3,291
石川洽行コレクション	東北の陶磁器	17
古賀孝コレクション	切込焼、東北の陶磁器	178
浅尾哲次関係資料	古文書、書簡、写真、法服	29
安久津成清関係資料	教育、ギリシャ正教・自由民権運動関係文書	446
小野家資料	古文書、古記録、古写真等	791
林信夫コレクション	浮世絵、近世絵画	196
尚文館コレクション	古書籍、古記録等	3,052
菊田定郷コレクション	書籍、絵画等	340 ※
濱田家資料	古文書、古記録、濱田景隆遺品	157
武市家資料	古文書、古記録、具足	291
横山文夫コレクション	東北の陶磁器	25
角懸家資料	古文書、絵画、具足、刀剣等	407
松川家資料	古文書、古記録、絵画等	245 ※
大久保良雄コレクション	書跡	1,136
岡家資料	古文書等	11,000 ※
小野台蔵コレクション	土人形、郷土玩具等	1,826
小松家資料	仙台平等裂地	10
三原良吉コレクション	古文書、古書籍、古写真、絵画、玩具等	4,856
大宮司雅之輔コレクション	浮世絵	2,786 ※
亀田兵治コレクション	絵画、開成丸関係資料	103
伊澤家コレクション	絵画、古書籍、具足、刀剣、工芸等	1,077
佐藤明コレクション	絵画、書跡、土人形	122
菅野家資料	具足、工芸、服飾、古文書等	247
佐藤家資料	古文書、古記録、自由民権運動関係資料	301
金子家資料	古文書、古記録	46
武田家資料	古文書、古記録、服飾、工芸	192
ゴトウコレクション	絵画、工芸、書跡	255
甲田コレクション	仙台平袴、裂地、絵画、陶磁器、刀剣等	522
新津宗助コレクション	絵画、書跡	114
敷波家コレクション	刀剣	4
小関家・新井奥遼関係資料	古文書、書跡、古写真	91
瑞鳳殿跡出土副葬品	糸巻太刀、黒漆地葛蒔絵文箱等	21
慶長遣欧使節関係資料	支倉常長像、ローマ教皇パウロ五世像等	52
林家・大槻家関係資料	古文書、絵画、肖像真	94
片倉家資料	小紋染胴服、陣羽織、書状等	487
青木家資料	具足、旗、刀剣、古文書等	13
亀田孜コレクション	拓本、写真等	537 ※
藤塚家資料	藤塚知明、林子平関係資料等	343 ※
和泉幸一郎コレクション	浮世絵、陶磁器等	708
国分家資料	古文書等	60
千田家資料	古文書等	405
新井田コレクション	陶器、絵画等	250
鈴木家資料	具足、古文書等	134
足立孔コレクション	古堤人形、古三春人形、古相良人形、古花巻人形等	3,367
佐藤宗鶴コレクション	茶道具等	520
書跡	書跡、文芸等	352
工芸	埋木細工、服飾、刀剣、具足、陶磁器、古土人形、独楽等	2,583
絵画	絵画	880
考古資料	土器、石器等	414
歴史資料	古文書、古書籍、古記録、絵図、地図、貨幣、地券状、写真等	15,623
総計		91,308点(平成21年度新規収蔵資料199点)

※資料の一部を市史編さん室に移管済

表3 当館収蔵指定文化財一覧

国指定文化財（国宝）

平成22年3月31日現在

項目	資料名	員数	指定年月日
歴史資料	慶長遣欧使節関係資料	47点	平成13年6月22日

国指定文化財（重要文化財）

項目	資料名	員数	指定年月日
工芸品	小紋染胴服	1領	昭和53年6月15日
工芸品	黒漆五枚胴具足 兜・小具足付（伊達政宗所用） 附 黒羅紗地裾緋羅紗山形文陣羽織 1領 旗 1旒	1領	昭和54年6月6日
工芸品	銀伊予札白糸威胴丸具足 兜・小具足付 附 兜巾 1頭 頭巾 1頭 団扇 3握 軍扇 2握	1領	昭和54年6月6日
工芸品	帯（三沢初子所用） 附 総鹿子裂 2枚 入日記（正徳2年4月） 1通	12条	平成3年6月21日
書跡	塵芥集	1冊	平成15年5月29日

宮城県指定文化財

項目	資料名	員数	指定年月日
絵画	仙台城本丸大広間障壁画扇面図	6曲1双 2曲1双	平成5年12月24日
歴史資料	国絵図 正保年間奥州仙台領絵図（写）	1軸	平成20年5月2日

仙台市指定文化財

項目	資料名	員数	指定年月日
絵画	紙本著色伊達政宗画像（狩野探幽筆・伊達政宗筆和歌短冊貼込）	1幅	昭和44年7月31日
絵画	菊絵和歌屏風	2隻	昭和51年7月1日
絵画	躑躅ヶ岡花見図屏風	6曲半双	昭和51年7月1日
絵画	菅井梅閑 水亭午翠図	1幅	昭和51年7月1日
絵画	仙台城旧本丸及二ノ丸御殿障壁画 紙本著色葵図（2曲屏風） 紙本金地著色花木図 紙本金地著色松に山鳥図（東東洋筆）	1双 6面 4面	昭和60年9月4日
絵画	仙台藩歴代藩主及夫人肖像画	31幅2面	昭和60年9月4日
絵画	絹本著色霊昭女、牡丹、芙蓉図（伊達綱宗筆）	3幅	昭和60年9月4日
絵画	紙本著色河図之図（東東洋筆）	1幅	昭和60年9月4日
絵画	銅版油彩悲しみのマリア像	1面	昭和60年9月4日
絵画	瀟湘八景図（雪村周継筆）	6幅	平成7年3月23日
工芸品	仙台藩歴代藩主所用具足	11領	昭和60年9月4日
工芸品	服飾類（伊達政宗所用） 白綾地竜胆立涌浮模様狩衣 白絹地小袖 藍平絹地直垂 紫羅背板地五色水玉模様陣羽織 表袴 大口袴 錦織唐草文竹に雀紋入野袴 白綾地鶴印金帯	1具 1領 1領 1領 1領 1腰 1腰 1腰 1条	昭和60年9月4日
工芸品	孔雀羽根織込陣羽織（伊達重村所用）	1領	昭和60年9月4日
工芸品	茶杓 仙台藩歴代藩主作 伊達政宗作 2筒 伊達忠宗作 2筒 伊達綱宗作 6筒 伊達綱村作 7筒 伊達吉村作 36筒 仙台藩主作 7筒（以上茶杓筆筒入） 伊達忠宗作 1筒	61筒	昭和60年9月4日

項目	資 料 名	員 数	指定年月日
工 芸 品	仙台城旧本丸御殿金具 魚々子地菊桐紋釘隠 魚々子地唐草紋釘隠	1 個 1 個	昭和60年 9 月 4 日
工 芸 品	花鳥山水文孔雀羽雪薄紋散蒔絵十三弦琴 「元禄貳己巳年石村近江守忠貞二月吉日」の銘がある 附 黒漆松竹梅鶴亀蒔絵琴箱 1 合	1 面	昭和60年 9 月 4 日
工 芸 品	黒漆五枚胴具足 (伊達政宗所用・菅野正左衛門重成拝領)	1 領	平成20年 3 月24日
工 芸 品	朱黻漆六枚胴具足 三宝荒神形兜付 (伝上杉謙信所用)	1 領	平成20年 3 月24日
工 芸 品	脇差 附 金梨地葵紋拵	1 口	平成20年 3 月24日
古 文 書	晴宗公采地下賜録	2 冊	昭和51年 7 月 1 日
古 文 書	印章 (仙台藩歴代藩主所用)	227 顆	昭和60年 9 月 4 日
古 文 書	伊達治家記録 (仙台市博物館本)	696 冊	昭和60年 9 月 4 日
古 文 書	伊達世臣家譜及続編 (仙台市博物館本)	268 冊	昭和60年 9 月 4 日
古 文 書	伊達出自正統世次考 (仙台市博物館本) 伊達出自正統世次考首巻 伊達出自世次考 伊達正統世次考 伊達出自正統世次考系図 附 御代々考考證 遊佐好生筆 10 冊	1 冊 9 巻9 冊 10 巻14 冊 1 冊	昭和60年 9 月 4 日
古 文 書	林子平自筆写本絵図分類 附 六無斎遺詠 1 冊	8 枚	昭和60年 9 月 4 日
古 文 書	支倉家文書	一括	昭和60年 9 月 4 日
考古資料	伊達政宗墓所出土品 糸巻太刀刀身 1 口 糸巻太刀拵 1 腰 黒漆葛蒔絵文箱 1 合 青龍付文鎮 (文箱内容品) 1 点 墨 (文箱内容品) 1 挺 黒漆白梅蒔絵箱 1 合 梨地菊蒔絵箱 1 合 黒漆鉄線蒔絵香合 1 合 梨地梅笹蒔絵硯箱 1 合 筆入 (硯箱内容品) 1 点 墨 (硯箱内容品) 1 挺 硯 (硯箱内容品) 1 面 水滴 (硯箱内容品) 1 点 梨地煙管箱 1 合 煙管羅宇 (煙管箱内容品) 2 点 梨地菊蒔絵印籠 1 具 皮袋 1 点 慶長 1 分金 (皮袋内容品) 3 枚 携帯用磁石 (皮袋内容品) 1 点 金製グローチ (皮袋内容品) 1 点 練玉 (皮袋緒締) 1 点 銀製服飾品 1 点 円鏡 1 点 毛抜 2 点 雲母製菜板 5 枚 葵紋金製菜板 1 枚 金具 一括 残欠類 一括	一括	昭和60年 9 月 4 日
歴史資料	仙台城及び江戸上屋敷主要建物姿絵図	1 巻	平成11年 2 月 1 日
歴史資料	玉蟲左太夫「航米日録」及び関係資料	48 件	平成11年 3 月23日
歴史資料	仙台城下絵図 (推定天明 6 ~ 寛政元年)	1 鋪	平成12年 4 月28日
歴史資料	明治元年現状仙台城市之図	1 面	平成12年 4 月28日
歴史資料	伊達政宗和歌詠草「入そめて」 附 春慶塗印籠蓋造箱 1 合	1 幅	平成13年 3 月22日

3. 教育・普及

講座・イベント

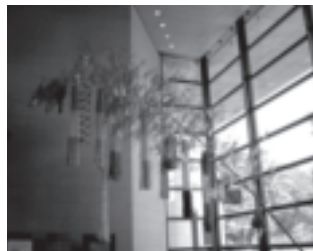
1. 博物館七夕飾り

7月7日(火)～8月16日(日)

エントランスホール

柳生地区(仙台市太白区)に伝承されてきた柳生和紙を使用し、七夕の竹飾りを飾った。

吹き流しを中心に、仙台七夕の七つ道具(吹き流し・短冊・紙衣・千羽鶴・巾着・投網・屑籠)を作り、展示した。



2. 夏休み工作教室

「からくり玩具 回りねずみを作ろう」

8月8日(土) 10:00～12:30

講習室 参加 18組46人

小学生を対象とした夏休みの工作教室である。今年度は、自遊創意クラブの三浦孝男氏の協力を得て行った。



「回りねずみ」は、プレイミュージアムにも展示してある郷土玩具の一つである。スギの角材を削ってバーナーであぶったり、からくり



装置を組み立てたりして仕上げていく。その一連の作業を通して、子供たちに昔の玩具で遊ぶ楽しさを味わわせる

だけではなく、その仕組みの面白さに気付かせることができたと考える。

3. 親子体験イベント

「木のネームプレートをつくろう」

7月26日(日) 9:30～11:30

講習室・館庭 参加27組57人

小学生が、樹木名を表記したプレートを作成しながら、三の丸跡及び登城路の自然に触れ親しむことを目的としたイベントである。自遊創意クラブの三

浦孝男氏を講師に、樹木についての解説を聞いた後、親子で協力しながら樺の板を加工してプレートを作った。完成したプレートは、それぞれの手で担当の樹木に取り付けられた。



後半には三浦氏の指導で、木のバッジ作り・紙飛行機作り・電動ドリルでの穴あけ体験などを行い、参加者それぞれが楽しめるイベントとなった。



4. 親と子の博物館ミニコンサート

8月30日(日) 14:00～15:00

エントランスホール 参加483人

小学生などを対象に楽しみながらクラシック音楽の魅力を実感してもらうことに加え、今年度は、休館前に博物館の締めくくりとすることを目的として行った。

NPO法人「子どもに音楽を」の協力のもと、出演者に漆原朝子氏(ヴァイオリン)、山崎伸子氏(チェロ)、小菅優氏(ピアノ)を迎え、ピアノ三重奏によりヘンデルやメンデルスゾーンの名曲が披露された。親子連れはもとより、一般客も多く集まり、昨年度以上に盛況であった。



5. ギャラリー・トーク 92・93

参加合計 101人

常設展の展示替えにあわせて、コーナーごとに担当学芸員が解説する催しである。原則として、特別展及び企画展関連行事がある月を除く土曜日、13:30～14:00に開催した。内容は以下の通りである。



- ・92 6/20「近代都市仙台へのあゆみ」…… 45人
- ・93 7/11「絵図から見る仙台藩」…………… 56人

6. 「旬の博物館」まるかじり講座 20～21

学芸員が日頃調査研究している分野を博物館の「今(=旬)」として紹介する催しである。いずれも13:30～15:00、ホールで開催した。



表 4

No.	月日	講師 ・ 演題	参加者
22	5/31 (日)	水野沙織(当館学芸員) 「伊達政宗三百年祭について」	62人
23	8/22 (土)	内山淳一(当館学芸室長) 「江戸後期の旅と風景－谷文晁の松島図と奥州街道図を中心に－」	94人

7. 図録セール

8月18日(火)～23日(日)

9:00～16:45 エントランスホール

平成15年度以前に発行した図録や収蔵資料目録などを7割～4割引で提供した。6日間で788冊の売り上げとなった。

8. 生涯学習推進(館内講師・館外講師派遣)

団体・機関などからの依頼を受けて、学芸員等の館職員が講話を行った。依頼により、館内で行う場合と館外で行う場合とがあった。

表5は、当館で受理された「講師派遣申込書(館内・館外)」をもとに作成した講師派遣状況である。なお、学習推進という観点から、学校関係を対象とした講師派遣(館内・館外)は、ここでは除外した(学校関係については、「学校教育との連携」の頁を

参照)。

表 5

講師派遣(館内・館外)	件数	対象人数
館内講師 ○特別展の解説	14件	746人
館外講師	28件	1,680人
合計	42件	2,426人

プレイミュージアム

プレイミュージアムは、博物館を存分に楽しんでもらいたいという意図のもとに命名された展示室である。当室には歴史や文化を体験できる様々な資料が展示されており、利用者はそれを手に取って自由に遊ぶことができる。「遊びの素材」の中から取捨選択し、面白さを発見するのは幅広い年齢層の利用者である。この部屋のミュージアム・アシスタントの1名（プレイリーダーと呼ぶ）と、解説ボランティアがその手伝いをしている。

プレイミュージアムで提供している遊びには、常時利用できる物と、時期を限って利用できる特定のテーマをもった物の二種類がある。当室では前者を常設展示、後者をイベントと称している。

1. 常設展示

当室では、通常、利用者の行動を「観る・動かす音を出す・うつしとる・変身する・はかる・織る・編む・考える・学ぶ」の10に分類している。

表6 平成21年度主な常設展示資料

観る	輪島塗蒔絵工程見本／板木の見本／織りの組織見本／錦絵（東海道五十三次）／絵巻物の複製ミニ版（鳥獣人物戯画ほか）／和綴じの昔の絵本（まるづくしほか）／縄文土器（複製）／土人形（つつみ・相良ほか）／木地玩具（廣井氏製作江戸独楽・木下駒・八幡馬・三春駒ほか）／張子（仙台・三春ほか）／凧／紙芝居	
動かす	手毬／お手玉／けん玉／羽子板／郷土玩具（江戸独楽・ぺたくた・藍付きお蔵・餅つき兎・牛若と弁慶・浜北風車・お化けの金太・鳩車・米つき鼠・三体神輿・面かぶり・ズボンボほか）／大型紙相撲	
音を出す	箏／小鼓／太鼓／法螺貝／尺八／横笛類／銅鐸／神楽鈴／弥生の土笛／拍子木／びんざささら／擬音（雨うちわ・各種鳥笛ほか）／郷土玩具（下川原の鳩笛などの土笛・庄内板獅子・巴波の鯨・土佐の鳴子・土鈴類ほか）／手作り楽器	
写し取る	平面	収蔵品の透過写真や複製版の浮世絵（トレーシングペーパーを使用）／伸縮器
	立体	複製の縄文土器（型取器を使用）
はかる	長さ	物差し（曲尺・鯨尺ほか）／ウォーキングメジャー／キャリパー
	量	杓（一升・五合・一合）／軽量カップ／風力
	重さ	台秤／棹秤

織る	平織機（カランコ） 織台（オフルーム）	編む	百足編み 花結び
変身する	複製や復元品	政宗具足／政宗兜／秀吉具足／山形文様陣羽織／支倉常長の衣装／桃山時代様式の打掛・小袖	
	その他	十二単着せ替え人形／草鞋／お面（仙台張子）／手拭	
考える	日本のからくりの復元 アイ・トリック	二挺天府式和時計／直視式覗きからくり ニセロンの隠し絵／トロンプイユ（だまし絵）／ゾートロープ ／反射式覗き眼鏡／世界七不思議アナモルフォーシス／鞘絵／立体眼鏡／万華鏡類 投扇興／盤双六／貝合／投壺／十六むさし／絵双六／将棋／碁／カルタ／福笑	
	ゲーム パズル	大型パズル／伊達政宗ジグソーパズル／箱根組木／草木染さいころパズル／清少納言の智恵の板／マグネット式政宗具足シート／触覚パズル	
学ぶ	PCマルチメディア博物館／各種図書		

以上は、購入、委託製作、当室製作からなる。

- 入場者数 平成21年度のプレイミュージアム入場者数は17,885人。
- 配布物

よろいのワークシート1,407枚、展示物の透過写真等を写しとるためのトレーシングペーパー6枚、折紙40枚、イベントで配布したものを除いたテキスト25枚。
- 破損、修理状況

破損やひどい汚れのための撤去は65件、紛失3件。その中で修理による復帰60件、修理不可能での廃棄4点、同種で交換や追加したもの8点、ひどい汚れのため廃棄したものは無かった。資料を大切に扱っていただくことのお知らせを兼ねて、簡単な修理はできるだけ利用者の前で行った。
- マルチメディア博物館

マルチメディア博物館とは、館内情報資料センターに設置している高精細収蔵品閲覧システムである。より多くの来館者に利用してもらう目的で、同システムをプレイミュージアムにリンクし設置した。年間利用者数は5,126人。

2. イベント

当室のイベントには、よろいなどを着る「変身イベント」と、一定期間継続する「特別イベント」がある。なお本年度のイベント参加人数は〔大人、子供、計〕と表記した（子供は中学生以下）。また（ ）内は聴講者の人数。

(1) 変身イベント

変身タイム1330「よろいを着てみよう！」

5月2日（土）13：30～15：00

〔大人8、子供6、計14（20）〕





重要文化財「政宗所用の黒漆五枚胴具足・秀吉拝領の銀伊予札白糸威胴丸具足」の複製体験資料を着たり、学芸員による解説を聞いたりすることで、具足についての知識を深めることを目的としたイベントである。県内外の小学校1年生から年配の方まで幅広い年齢層の方々の参加があった。

(2) 特別イベント

イベントを企画する際の原則は以下の通りである。

- ①入室には常設観覧料を必要とするため、イベント参加を目的に訪れる利用者に配慮し、材料費無料とし、用具などの必要なものはすべて用意する。
- ②表示やテキストを見ながら自分にできる内容にする。
- ③内容的には、以下に分類されるものを取り上げる。
 - 常設展示資料に焦点をあてたもの
 - 年中行事や季節にあわせたもの
 - ◎特別展や企画展にちなんだもの

表7 特別イベント一覧

イベント名称	期間と参加人数	内 容
●挑戦しよう！投扇興	3/17(火)～4/5(日) 18日間 〔大人121 子供43 計164〕	「投扇興」は中国から渡来した投壺という遊びを参考に創案されたと伝えられ、枕の上においた的（蝶、または花）をめがけ、開いた扇を投げ打つ遊びである。プレイミュージアム流の得点方法で楽しんでもらった。
◎つくってあそぼう！ チェギチャギ 	4/14(火)～5/24(日) 36日間 〔大人195 子供491 計686〕	伝統的な遊びである「チェギチャギ」を通して、韓国の文化に触れることを目的として行った。参加者には、スズランテープで羽根を作り、それを使って実際に遊んでみることを提案した。製法や体験の仕方を、体験する人に合わせて選べるようにした。本場韓国からの参加者もいた。
◎チュニジアのお守りをつくろう！ 	6/9(火)～8/16(日) 60日間 〔大人1586 子供1434 計3020〕	チュニジアに伝わる神の「タニト」、お守りの「ファティマの手」をかたどったアクセサリを作り、その国の文化に触れることを目的として行った。樹脂粘土「おゆまる」を使用。樹脂粘土の質感が面白く、製法が単純であるため、年齢・性別を問わず好評であった。
○短冊に願いを！	7/7(火)～8/9(日) 29日間 〔大人300 子供270 計570〕	柳生和紙の短冊に願い事を書きながら、七夕を迎える楽しさを味わうことを目的として行った。短冊には昨年度の吹き流しを短く切って使用。笹竹は3本用意し、参加者の願いのこもった短冊をバランスよく飾ることができた。
	全計 〔大人2202 子供2238 計4440〕	

情報資料センター

博物館には、資料の収集および調査・研究に伴って膨大な情報が蓄積され、その提供手段は主に展示活動であるが、それを補足するために図書や映像などといった二次資料のかたちで提供する場が必要となってくる。一方、歴史的分野における市民の自主的な学習を通じた生涯学習支援は、博物館の教育普及活動の重要な要素であり、情報資料センターを実践の場と位置付けている。

当センターは、利用者のニーズにも対応できるよう運営されている。ミュージアムアシスタント2名（うち司書1名）が、利用案内と質問の受付にあたり、専門的な回答を要するものについては、各担当学芸員に引き継いでいる（利用状況は表8参照）。

今年度取り組み作業として、リニューアル工事の長期休館を利用し、年々増加していく図書的大幅な整理を行った。

提供資料

1. 図書資料

博物館の蔵書数は今年度受入図書1,936冊で図書整理を行った結果、79,443冊となった。このうちセンターで自由閲覧できる図書は4,788冊（うち本年度新規配架21冊）である。内容的には、仙台を中心とする東北地方の地方史文献、通史及び分野別の全集、美術全集、百科事典及び分野別の辞典類、古典文学、などである。

センター内の企画として、特設図書コーナーを設け、特別展・企画展合わせて年2回の関連図書を提供した。本年度の延べ設置冊数は61冊であった。

閉架書庫内の蔵書も要望により閲覧に供しているが、センター内図書とともに貸出には応じていない。

2. 映像資料

申込み制の利用とし、主に館内講演会などの記録映像を中心にモニターで提供している。

3. 収蔵資料閲覧カード

伊達家文書を中心として、絵巻物・浮世絵等について写真を添付したカードを作成し、専用のバインダーで整冊して、開架書架に配している。

4. マイクロフィルム

伊達家文書を中心にマイクロフィルム化を進めており、コインバインダー式のマイクロリーダープリンター1台を設置し、ダイレクトにプリントが出来る（有料・申込制）。今年度の利用件数は66件である。フィルム資料は伊達治家記録や、三原良吉コレクション（一部）などが閲覧可能。今後も閲覧フィルムの充実を図っていく予定である。

5. 周辺情報・他館情報の提供

仙台市と近郊の博物館・美術館など文化施設の利用案内や展示・行事の情報、また全国の博物館・美術館から送られてくるポスター、リーフレット、館だより等についても当センターで取り扱っている。

6. デジタルデータの活用

当センターでは当館所蔵の資料を、博物館情報検索システム3台（内2台はタッチパネル式）で提供している。また、プレイミュージアムにも同システム1台を設置しており、今年度のアクセス件数（4台合計）は6,878件であった。公開資料件数は、650件である。

表8 平成21年度情報資料センター利用状況

	4月	5月	6月	7月	8月	合計
利用者数（人）	642	834	687	689	956	3,808
相談質問（件）	60	85	102	72	88	407
外線問合せ（件）	347	507	439	471	490	2,254
映像利用	利用（件）	1	0	0	0	1
	利用者（人）	1	0	0	0	1
図書複写利用	（件）	38	62	46	59	295
	（枚）	885	942	534	780	4,425
マイクロフィルム利用	複写利用（件）	1	8	6	8	66
	複写（枚）	3	202	391	899	3,792
画像提供装置利用者数（情報資料センター調べ）	52	101	56	91	142	442
収蔵資料検索システム利用（件）	248	203	132	511	658	1,752

※ 平成21年9月1日～平成22年4月20日までリニューアル工事のため休館

学校教育との連携

1. 学校の博物館利用状況

表9に示したように学校による博物館の総利用状況は416件9,440人（前年度比156件減5,791人減）であった。平成21年度は、改修工事にともない8月31日以降休館したため前年度より大幅減となった。

そこで、4月から8月末までに限って前年度と比較すると、25件増515人減で、博物館を利用した学校数は増えているにもかかわらず児童・生徒・学生数が減っていることがわかる。小中学校を中心に、博物館学習の主要形態が、一斉学習からグループ学習へ変わってきたためと思われる。班単位で行動する仙台市内の自主研修を計画し、研修コースの選択肢の1つとして博物館を位置づける小中学校が増加傾向にあるようだ。

2. 学校向け広報

(1) 博物館活用案内の配布

平成22年4月20日からのリニューアルオープンと次年度実施の特別展に関する情報を、仙台市内の学校を中心に1月中旬までに周知した。また3月下旬には、オープン直前の博物館最新情報と年間予定を、宮城県内の小・中・高・特別支援学校等及び市内幼稚園へ送付し、学校教育における博物館活用について広報した。

(2) ホームページ案内

「学校の先生方へ」の項目を設け、見学・調べ学習・職場見学・貸出教材リスト・出前授業・教員向け研修などの情報を提供している。申込用紙のダウンロードも可能である。

3. 学校教員対象講座

(1) 博物館活用研修会 8/4(木)講習室 参加19人
市内小・中学校の教員を対象に、博物館の活用方法についての研修会を実施した。

天文台学習とセットで博物館見学を実施していた市内中学校による来館が、平成20年度は、天文台の移転に伴い激減した。そのため、特に中学校教員を意識して、博物館活用の有効性を知ってもらおうと、貸出教材や博物館と連携した授業づくりの具体例に力点を置いた研修会を計画した。内容は次の通りである。

- ①博物館活用の実際：展示解説や質問対応、貸出教材、出前授業など学校による博物館活用の具体例についての説明。
- ②総合的な学習での活用：調べ学習や、職場見学などでの活用例の説明。博物館及び仙台城三の丸跡から仙台城本丸跡へと活動範囲を広げた学習例の紹介。
- ③社会科学習での活用：地域における歴史上の人物として伊達政宗と青柳文蔵を取り上げ、常設展や貸出教材を活用した授業づくりの具体例を紹介。

平成21年度 学校における博物館利用状況 (上段：21年度 下段：20年度 単位：件・人)

表9 概況

利用人数	内 訳	件数		人数	
		件数	人数	件数	人数
市内		66	2754		
		126	5172		
	合計	192	7926		
市外		350	6686		
		446	10059		
	合計	796	16745		
合計		416	9440		
		572	15231		
	合計	992	26175		
学習形態	一 斉	98	152		
	グ ル ー プ	318	419		
	合計	416	571		
利用目的	常設展	331	6468		
	企画展	374	9002		
	特別展	110	2945		
合計		815	18415		
		612	15231		
	合計	1427	33646		

表10 月別状況

	4月		5月		6月		7月		8月		9月		10月		11月		12月		1月		2月		3月		合計			
	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数		
仙台市内	小	5	119	9	635	3	170	3	241	2	131	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	22	1296
		2	204	11	758	2	140	3	198	1	78	5	100	12	686	6	276	7	332	2	101	7	323	3	112	61	3308	
		0	0	5	116	1	4	4	152	3	55	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	13	327
	中	1	2	4	148	1	5	1	112	0	0	0	0	4	102	2	86	0	0	0	0	1	102	0	0	0	15	557
		1	59	4	343	4	161	3	133	1	28	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	13	724
		0	0	2	287	1	15	2	7	0	0	0	0	3	35	4	131	5	163	1	3	0	0	0	0	0	18	641
	高	2	30	6	146	3	72	4	83	3	76	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	18	407
		1	29	7	223	2	25	2	13	1	20	1	5	6	108	4	55	5	147	1	10	1	30	1	1	32	666	
		8	208	24	1240	11	407	14	609	9	290	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	66	2754
	小計	4	235	24	1416	6	185	8	330	2	98	6	105	25	931	16	548	17	642	4	114	9	455	4	113	126	5172	
		6	52	43	588	111	1632	10	188	1	15	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	171	2475
		5	156	36	345	113	1578	9	244	1	14	29	271	15	163	10	358	6	159	1	100	1	28	1	10	227	3426	
中	48	923	86	2249	4	147	19	350	6	54	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	163	3723	
	56	1986	90	2272	4	54	12	275	8	101	11	403	4	54	7	261	0	0	0	0	1	3	1	11	194	5420		
	0	0	3	270	2	14	3	75	2	31	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	10	390	
高	3	171	3	307	2	31	2	69	0	1	10	0	4	430	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	16	1018	
	0	0	0	0	0	0	3	48	3	50	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6	98	
	0	0	0	0	0	0	1	29	2	59	4	87	1	7	0	0	0	0	1	13	0	0	0	0	0	9	195	
小計	54	975	132	3107	117	1793	35	661	12	150	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	350	6686	
	64	2313	129	2924	119	1663	24	617	11	174	45	771	20	224	21	1049	6	159	3	113	2	31	2	21	446	10059		
	62	1183	156	4347	128	2200	49	1270	21	440	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	416	9440	
合計	68	2548	153	4340	125	1848	32	947	13	272	52	876	45	1155	37	1597	23	801	7	227	11	486	6	134	572	15231		

※1 平成21年8月31日から平成22年4月19日まで改修工事のため休館となったため、9月以降の月別利用状況は、利用件数・人数ともに0となっている。
 ※2 人数は、園児・児童・生徒・学生の数である（引率者の数は除外してある）。
 ※3 利用目的が複数あった学校があるため、目的件数と利用件数は一致しない。
 ※4 仙台市内は、入館料減免（事前申込）による来館者数及び当日来館者（どこでもパスポート利用含む）数から作成した。
 ※5 仙台市外は、来館者数（当日申込含）から作成した。
 ※6 他は、大学、高等専門学校、幼稚園、特別支援学校、ろう学校、盲学校、杜のひろば等とした。

(2) ミュージアムセミナー

特別展と企画展毎に行う、宮城県内の教員を対象としたセミナーで、当館学芸員が展示の見所を30分程度で解説し、その後で自由観覧してもらうという内容である。今年度は以下の特別展について2回(水と土)ずつ実施した。

- ①「朝鮮王朝の絵画と日本」4/18、22……14人
- ②「古代カルタゴとローマ展」6/13、6/24…44人

(3) その他

宮城県小学校社会科研修会

6/4(木) 講習室 参加15人

宮城県教育研修センター主催で、当館指導主事が博物館学習の具体例を報告し、博物館及び仙台城三の丸跡から仙台城本丸跡へと活動範囲を広げた学習例についてフィールドワークを交えながら提案した。

4. 博物館学習の事前打合せ

より充実した博物館学習を行うために、館職員と学校関係者による事前打合せを行ってきた。打合せ件数は、来館相談件数が73件(前年度比82件減)、電話相談が293件(同14件減)、合計366(同96件減)であった。

博物館の利用方法や雨天時の昼食場所に関する相談をはじめ、展示見学における解説ボランティアとの連携やスタディシートの活用法、学芸員の講話など、学習活動に関する内容に時間をかけている。

今年度の後半は休館となったが、その間にも、貸出教材や授業づくりに関する相談が寄せられ対応した。

5. 展示見学におけるボランティアとの連携

常設展示室で児童・生徒から出される質問への対応や解説については、解説ボランティアが活躍した。あらかじめ質問事項がわかっているものについては、前もってボランティアに内容を連絡しておくことで、よりわかりやすく児童・生徒に対応することができた。

ボランティア解説の事前予約は、9件178人(小学校3件108人、中学校4件42人、高校1件25人、大学1件3人)で、その多くが40分から1時間での解説依頼であった。

6. 職場見学・体験

キャリア教育の浸透にともない、職場見学や学芸員の仕事に関する問合せが増加している。職場見学は例年10月から11月に集中するが、今年度はその期

間が休館と重なったため、4月から8月までに3件44人(前年度比5件減6人減)を受け入れた。内訳は中学校2件41人、高校1件3人であった。

7. 教材資料等の貸出

複製品・写真パネル・ビデオ(DVD・VHS)・当館収蔵資料の画像データ(CD-R)を学習教材として貸出した。貸出状況はのべ数で、40校に対して教材75点(前年度比6校増・14点増)であった。今年度、貸出頻度が大きく増えたのは「楽山公行列図巻」(写真パネル)で、前年度の5点から11点へと増加した。そのうち5点は市外の学校へ貸出された。また、CD-Rによる当館収蔵資料の画像データ貸出が今年度から始まり、3校へ26点が貸出された。利用校増加の背景として、博物館活用研修会や電話相談などの際に、貸出教材を紹介してきたことも一因と思われる。

8. 館内講師・館外講師派遣

学校からの依頼を受けて、児童・生徒・学生や教職員向けに、学芸員をはじめとする館職員が講話を行った。館内での講話は、特別展の見所や仙台の歴史と文化に関する依頼が多く、当館の講習室やホールを使って行われた。館外での講話は、伊達政宗や仙台城と城下町に関する依頼があり、出前授業として行われた。下表は、当館で受理された「講師派遣依頼(館内・館外)」の中から、学校関係を選び作成した講師派遣状況である(学校関係以外への対応は、「講座・イベント」の頁を参照)。

表11

講師派遣(館内・館外)	件数	対象人数
館内講師 (内訳)	13件	515人
○常設展の解説	2件	172人
○特別展・企画展の解説	4件	203人
○講話・講義	7件	140人
館外講師 (内訳)	2件	397人
○中学校(出前授業)	2件	397人
合計	15件	912人

9. 博物館実習

学芸員資格取得を目指す学生を対象に、7/30(木)から8/22(土)まで、2グループに分け、のべ9日間、博物館実習を行った。実習は5日間(合同実習が1日、グループ別実習が4日)で、6大学13人の実習生を受入れた。

広報

博物館で随時開催する展覧会やイベントなどの各種行事に来館・参加いただくためには、周知・広報業務も重要であり、博物館の普及活動の一環として位置づけられている。

また、最近では学校を通じての児童・生徒への広報活動にも力を入れているが、このことについては別項「学校教育との連携」を参照されたい。

そのほか展覧会や市史講座など、内容によっては定例的な広報手段のほかにも単発で取材依頼や個別発送なども行った。

1. 広報用印刷物

最も基本的な広報資料として、以下2種類の印刷物を発行・配布した。平成19年からはじめてPDFファイルによるホームページへの掲載も継続し、いつでもどこからでも自由に閲覧できるようにしている。

- (1) 博物館だより（隔月・年6回発行） No.138～143
225×420mm 四つ折り 観音開き
(No.138, 139, 142, 143)
225×210mm 二つ折り (No.140, 141)
- (2) 展覧会案内
225×420mm 四つ折り 観音開き



広報用印刷物（博物館だより・展覧会案内）

2. 広報資料発送

マスコミ等をはじめとする広報関係機関への情報提供として、上記広報用印刷物やイベントのちらし、概要資料などの広報資料を定期的に送付している。今年度は、マスコミ各社（テレビ局、ラジオ局、新聞社、雑誌・フリーペーパー等出版社など）約150社あてに発送した。近年のフリーペーパー等の増加に伴い、発送先リストは随時更新している。

また、個別に送付される掲載依頼やイベント情報

などに関する照会・回答などにはその都度対応しているほか、実際に掲載される原稿に誤りがないかの校正依頼などもあり、今年度はあわせて約150件となった。

3. ホームページ

博物館ホームページは、博物館案内や展覧会・イベント情報、英語による博物館情報（展覧会案内含む）などのほか、主な収藏品50件を検索できるコーナーや伊達政宗・支倉常長コーナー、調べ学習にも活用できるキッズコーナーなどを充実させている。また、学校教育との連携のため、「学校の先生方へ」という学校利用を取り上げた項目も掲載し、利用に関する流れや手続き、貸出教材などについて、詳しく紹介している。

情報更新は、毎月1回を目安に随時行っており、平成21年度の当館ホームページへの総アクセス数は、766,446件であった。今年度は、長期休館のため総アクセス数には減少が見られたものの、ゴールデンウィークにあたる5月、夏休みとも重なった、特別展「カルタゴ展」開催中の6～8月にアクセス数が伸びている。



刊行物・グッズ等

本年度当館では、下記のとおり2種の刊行物を発行した。

新規グッズとしては、当館を含む市内の8施設（仙台歴史ミュージアムネットワーク）の資料写真をデザインに用いたA4クリアブックを作製した。これは、市内の歴史系施設の連携を図る試みの一環である。また、以前より販売していたA4クリアファイル「ローマ市公民権証書」について、デザインの改訂を行った。平成17～20年度に作製したグッズー水玉模様陣羽織デザイン風呂敷、オリジナルシール（伊達政宗）、絵葉書6種ーも増刷した。本年度は特に、平成20年度に作製した水玉模様陣羽織デザイン風呂敷が、前年度に引き続き大変好評を得た。

なお、休館中はミュージアムショップを運営するホテル仙台プラザ売店で販売するとともに、絵葉書についてはオリジナルグッズ製作業者が運営する絵葉書ショップでの販売も行った。

1. 刊行物

- (1) 「仙台市博物館年報」第36号
5月31日発行 A4判 80頁
- (2) 「仙台市博物館調査研究報告」第30号
平成22年3月31日発行 B5判 46頁



仙台市博物館年報



仙台市博物館調査研究報告

2. オリジナルグッズ

- (1) A4クリアブック (480円)
- (2) A4クリアファイル (350円)



ローマ市公民権証書

- (3) 水玉模様陣羽織デザイン風呂敷
(増刷・2,000円)



- (4) オリジナルシール（伊達政宗）
(増刷・250円)



- (5) 絵葉書6種（増刷・各60円）



表12 仙台市博物館調査研究報告書一覧

No.	所 取 タ イ ト ル	執 筆 者	発行年・頒価等
No.1	仙台における明治20年代の自由民権思想－雑誌「通信演説」と「東北評論」から－ 仙台北城丸の障壁画をめぐる 大槻磐溪書翰集について 伊達政宗の印章・印影について 博物館を市民のものとするために	佐藤憲一 濱田直嗣 鵜飼幸子 嘉藤美代子 佐藤泰	昭和56年3月 完売
No.2	養賢堂の学制改革について－桜田欽斎、志村篤治の反論を中心に－ 仙台の書肆について－西村治郎兵衛、西村治右衛門、伊勢屋半右衛門、伊勢屋 安右衛門－ 伊達家旧蔵の印章について (史料紹介) 宮城県の自由民権運動に関する新史料 名取市熊野神社蔵 木造狛犬調査報告	鵜飼幸子 小井川百合子 嘉藤美代子 佐藤憲一 佐藤泰	昭和57年3月 完売
No.3	角懸鹿谷の美術 正保年間製作「奥州仙台領絵図」について 大槻俊斎の書状について 伊達家旧蔵の印章について・補遺	濱田直嗣 佐藤憲一 鵜飼幸子 嘉藤美代子	昭和58年3月 完売
No.4	仙台藩寛永期検地帳について－「伊具郡東根之内小斎村御検地帳」の分析－ 堤人形と信仰－照徳寺内地蔵堂の例－ 伊達政宗・伊達忠宗所用兜の銘について 旧支倉家関係資料について	鵜飼幸子 小井川百合子 嘉藤美代子 濱田直嗣	昭和59年3月 完売
No.5	仙台市博物館蔵ブルーノ・タウト指導照明器具4点の復元研究報告ならびに修 理報告	庄子晃子・ 鈴木治平	昭和60年3月 完売
No.6	仙台北城館および周辺建築復元考	佐藤巧	昭和61年3月(平成10 年3月増刷) 1,210円
No.7	円山応挙試論 伊達の黒箱文書について もう一つの伊達政宗言行録－木村宇右衛門覚書－(一) 善応寺横穴墓群、法領塚古墳出土鉄・銅製品整理報告	内山淳一 鵜飼幸子 小井川百合子 田中則和	昭和62年3月 完売
No.8	ローマ、ボルゲーゼ宮「支倉常長」像の作者について 江戸時代における古瓦の認識－宮城県域を中心に－ 「支倉常長追放文書」の年代について 菅野壽雄氏寄贈資料について－染織資料を中心に－ もう一つの伊達政宗言行録－木村宇右衛門覚書－(二)	田中英道 佐々木和博 佐藤憲一 嘉藤美代子 小井川百合子	昭和63年3月 完売
No.9	新博物館への一考察－反省と展望－ 学校教育における博物館利用学習 もう一つの伊達政宗言行録－木村宇右衛門覚書－(三) 仙台藩関係の婚礼調度について 慈光明院蔵 種子華鬘について 柴田町金谷具塚出土の權状木製品 支倉常長の法王使節団に関する諸問題 伊達政宗の「鉛筆」調査報告 I～V	佐藤泰 佐藤佳彦 小井川百合子 嘉藤美代子 高橋あけみ 田中則和 P.コッラディーニ・ 芳野明 訳 内藤俊彦・西 本洋二・村山 斌夫・小井川 百合子	平成元年3月 1,690円
No.10	東北地方における山伏笈 「仙台領奥州街道絵図」の基礎的検討 白雲の研究－未紹介の真景帖を中心に－ もう一つの伊達政宗言行録－木村宇右衛門覚書－(四) 館蔵考古資料の紹介I トナの実を食す	高橋あけみ 佐々木和博 内山淳一 小井川百合子 結城慎一 結城慎一	平成2年3月 1,870円
No.11	「宗久・宗易道具書立」を含む伊達政宗伝授書群について もう一つの伊達政宗言行録－木村宇右衛門覚書－(五) 館蔵考古資料の紹介II－佐藤半兵衛コレクションに見る中国古銭－ 宮城県における古代火山灰の年代観について	高橋あけみ 小井川百合子 結城慎一 結城慎一	平成3年3月 1,870円
No.12	戦国期奥羽の在家をめぐる 伊達政宗と医事・医学－高屋家文書の紹介を兼ねて－ 朱鍍漆紫糸素懸威具足・三宝荒神形兜について もう一つの伊達政宗言行録－木村宇右衛門覚書－(六) 画像情報提供装置の導入について 赤焼土器についての覚書－宮城県とその近県－ 仙台北城三ノ丸跡出土漆器資料の製作技法	菅野正道 佐藤憲一 嘉藤美代子 小井川百合子 阿部秀夫 結城慎一 北野信彦	平成4年3月 1,870円
No.13	東洋におけるキリスト教伝道の歴史的証言－クイリナーレ宮殿のサーラ・レー ジアの肖像画について－ 宮城県大和町西風所在の五輪塔－支倉常成・常長との関わりの可能性－ 財団法人斎藤報恩会所蔵「遠藤山城文書」について もう一つの伊達政宗言行録－木村宇右衛門覚書－(七)	K.H.フィオーレ・ 小関史絵 訳 佐々木和博 明石治郎 小井川百合子	平成5年3月 1,990円

No.	所 収 タ イ ト ル	執 筆 者	発 行 年 ・ 頒 価 等
No.14	観瀾閣宝物目録について－仙台伊達家における什器保存の試み 孫太郎虫と仙台藩主－江戸後期博物趣味の一断面－ 東京国立博物館所蔵の「小袖図」(伊達家旧蔵) などについて 重要文化財・慶長遣欧使節関係資料のうちローマ市民権証書の修理について 洋式帆船開成丸について	小井川百合子 内山淳一 嘉藤美代子 高橋あけみ 荒井聡	平成6年3月 1,870円
No.15	『伊達支族伝引証記』所収の石田文書 「支倉六右衛門遺物」と写真－明治時代前期の動向を中心に－ 観瀾閣宝物目録について(二)－仙台伊達家における什器保存の試み(補遺) 伊達政宗の母・義姫の出奔の時期について－新出の虎哉和尚の手紙から－ 『松島風土記』所載の「坪碑文図」－多賀城碑に関する新資料－ 仙台座『目論見書』について－芝居小屋経営の視点から－ 宮城県における岩版・土版について	菅野正道 濱田直嗣 小井川百合子 佐藤憲一 佐々木和博 佐藤理香 原河英二	平成7年3月 完売
No.16	「スタディ・シート」の十年－博物館ワーク・シートの構想と実践－ 観瀾閣宝物目録について(三)－仙台伊達家における什器保存の試み(補遺二) 「古川状」について 情報資料センターの展望と課題－10年目をむかえて－ 伊達政宗の使節団(1614年)	佐々木和博 小井川百合子 伊藤信 郷湖理香 J.C.R.フラー 今江克彦 訳	平成8年3月 2,460円
No.17	博物館の「利用」から「活用」へ－仙台市博物館での実践を通して－ 「宗久・宗易道具書立」を含む佐藤家本四冊について 天正十七年の伊達氏の正月行事－「茶湯客座亭座人数書」と「矢日記」・「玉日記」の再検討－ 宮城県蔵王町鍛冶沢遺跡出土の土偶について 宮城県仙台市青山二丁目B遺跡出土の石器について	布施勝久 高橋あけみ 菅野正道 相原淳一 原河英二	平成9年3月 2,240円
No.18	円爾弁円最晩年の頂相著賛について－我が国への頂相文化定着の一局面－ 仙台藩の小人について 支倉常長将来の刀剣に関する基礎的研究	樋口智之 齋藤潤 佐々木和博	平成10年3月 1,710円
No.19	伊達家の家紋に関する一考察－家紋の覚書と美術資料にみる伊達家の家紋およびその変遷－ 資料紹介 戦国期伊達領における馬術・伯耆関係資料－館蔵の新資料から－ 資料紹介 仙台市博物館所蔵『年中行事絵巻模本』十八巻 中部バヌアツ・エファテ島東海岸における考古学的踏査	高橋あけみ 菅野正道 樋口智之 相原淳一・中野拓大 磯日隆夫・篠遠喜彦	平成11年3月 2,280円
No.20	新収資料・国分家資料について 伊達家文書の形成過程(一) 朝鮮出兵時における伊達政宗の足跡をたどる－大韓民国倭城等調査報告－ 中国に「仙台」を訪ねて－仙台開府四百年記念特別展・中国調査の報告－ 近年における仙台市博物館の入館者動向－98・99年実施の面接調査およびアンケート調査から－	齋藤潤 菅野正道 濱田直嗣・齋藤潤 樋口智之 相原淳一	平成12年3月 2,020円
No.21	百富士画をめぐって－江戸時代後期の風景趣味と絵画－ 「秀頼様御祝言御呉服之帳」・「万渡方帳」・「御物之帳」について 資料紹介 仙台市博物館所蔵の伊達氏古系図四種	内山淳一 高橋あけみ 羽下徳彦	平成13年3月 2,460円
No.22	仙台市内出土の陶磁器集成－近世－ 仙台市博物館における学校教育との連携－社会科・総合的な学習の時間における博物館利用の報告－ 仙台市博物館におけるマルチメディア博物館実証実験について ローマ教皇パウロ5世宛伊達政宗ラテン語書状について－西洋古典文献学の立場から－ 佐藤家本について(補遺)	佐藤洋 高倉祐一 荒井聡 石田啓 高橋あけみ	平成14年3月 1,260円
No.23	陸奥国分寺の不動明王・毘沙門天・十二神将 竹菱梅葵紋蒔絵女乗物について 調査報告 大崎八幡宮石の間天井画について 仙台市博物館における広報活動について 仙台市博物館利用者アンケート調査報告－平成12・13・14年度の調査から－	酒井昌一郎 高橋あけみ 樋口智之 佐藤美香 高倉祐一	平成15年3月 1,330円
No.24	仙台画壇の黎明期－寛政・文化期の画譜と書画会を中心に－ もう一つの伊達綱村茶会記「学恵茶湯志」	内山淳一 小井川百合子	平成16年3月 2,180円
No.25	絵師徳應・貞綱の肖像画制作について－瑞巖寺僧関係作品を中心に－ 伊達氏における印判状の成立 資料紹介 佐々木閑心覚書－伊達氏系譜の異伝資料－	樋口智之 菅野正道 羽下徳彦	平成17年3月 非売品
No.26	ベネチア・佐賀・仙台に在る竹に雀雪薄紋桜折枝蒔絵三棚について－黒棚(ベネチア東洋美術館蔵)・厨子棚(鍋島報効会蔵)・書棚(仙台市博物館蔵)－ 伊達家文書の形成過程(二) 資料紹介 文化三年御屏風本帳附渡帳 資料紹介 尚文館コレクションの「西洋式軍鼓」免許巻	高橋あけみ 菅野正道 樋口智之・齋藤潤 船渡崇	平成18年3月 非売品

No.	所 収 タ イ ト ル	執 筆 者	発行年・頒価等
No.27	陸奥国分寺の仏像－主に表面仕上げに関するデータから－ 仙台市博物館ボランティア「三の丸会」活動紹介－10周年を迎えて－ 仙台市博物館友の会活動35年の総括と今後の課題	酒井昌一郎 高橋綾子 小井川百合子・ 大友まさ子	平成19年3月 非売品
No.28	支倉常長像の模写と写真－大泉光一氏「支倉常長像の加筆・改作」説の検証を 兼ねて－ 柳宗悦と東北－昭和九年～昭和十五年－ 資料紹介 御証文方御本牒手控－仙台藩における資料管理の一側面－	濱田直嗣 小井川百合子 齋藤潤	平成20年3月 非売品
No.29	1. 失われたみちのく図巻－谷元旦・大野文泉の東北地方写生図をめぐって－ 2. 伊達政宗公三百年祭について	内山淳一 水野沙織	平成21年3月 非売品
No.30	※内容については、本年報45頁参照		平成22年3月 非売品

(平成22年5月1日現在、以下続刊)

4. 調査・研究

平成21年度「仙台市博物館調査研究報告」第30号には、以下の論文を掲載した。

1. 史料紹介「領内境目記」

－伊達吉村の軍制整備との関係から－

坂田 美咲

本稿は伊達家文書に含まれる「領内境目記」の全文を翻刻し、若干の考察を行ったものである。本史料は仙台藩の境目に関して記したもので「上」・「下」二冊からなり、「上」では境目の場所や警固体系、付近の要害や所拝領等の家臣を、「下」では境目番所以外の境目や他国へ抜ける脇道、仙台城からの距離を記している。

本史料の成立年代は享保12年（1727）頃と推定され、史料の形態や料紙等から、伊達吉村の早制整備に関わって同時期に作成された「御軍役御定」などの史料と一連のものであることを指摘した。

2. 小田原参陣時における伊達領の警固体制

菅野 正道

天正18年、伊達政宗は豊臣秀吉の麾下に属することを決し、小田原北条氏を攻撃中の秀吉の下に赴いた。その際、領内の警固のため、他領との境目を中心に重要な城郭に臨時に家臣を配置した。その配置状況を記した「諸境警固賦之日記」を翻刻、紹介し、併せて伊達領における支城制に言及した。

3. 十八夜観世音堂菩薩立像に使用された木材の樹種

大山 幹成

星野 安治

鈴木 三男

＜付論＞十八夜観世音堂菩薩立像の樹種同定結果の樹種同定結果を受けて

酒井 昌一郎

仙台市の十八夜観世音堂菩薩立像は、奈良時代後期～平安時代初期（8世紀後半～9世紀初頭）の制作と考えられる一木造の仏像である。この時期の仏像用材にはカヤが多く用いられたことが明らかになってきているため、本像に使用された樹種の同定により用材の時代変遷や地域差を考えるためのデータを得ることを試みた。調査手法はデジタルマイク

ロスコープによる像表面の非破壊観察とし、その結果、像本体の当初材および一部の後補材についてカヤと同定することができた。東北地方において当該時期にカヤ材を用いた作例はこれまで確認されておらず、意義深い結果といえる。また、今回の手法は対象樹種など調査条件が限られるものの、仏像など貴重な文化財を対象とする場合には今後有効な手法と考えられる。

◇ 平成22年度研究テーマ ◇

平成22年度の仙台市博物館学芸員の研究テーマは以下のとおりである。

中世・近世の伊達家と仙台藩の研究

坂田 美咲

近世・近代の都市仙台の研究

水野 沙織

古代・中世仏教彫刻・工芸史の研究

酒井昌一郎

古代～近世東北地方史の研究

佐々木 徹

学校教育における館蔵資料の活用法

岩瀬 利宏

博物館周辺における自然・遺跡等の教材化について

相澤 文典

「奥方格式」について

高橋あけみ

日本洋風画史の研究

内山 淳一

5. 市史編さん事業

仙台市制百周年記念事業の一つとして昭和61年から開始された市史編さん事業は、平成2年度から当館内に市史編さん室を置き作業を進めている。

今年度は第27回配本『通史編7 近代2』及び第28回配本『特別編8 慶長遣欧使節』を刊行した。平成20年度までに刊行された市史は、通史編『原始』『古代中世』『近世1』『近世2』『近世3』『近代1』、資料編『古代中世』『近世1 藩政』『近世2 城下町』『近世3 村落』『近代現代1 交通建設』『近代現代2 産業経済』『近代現代3 社会生活』『近代現代4 政治・行政・財政』『仙台藩の文学芸能』『伊達政宗文書1』『伊達政宗文書2』『伊達政宗文書3』『伊達政宗文書4』、特別編『自然』『考古資料』『美術工芸』『市民生活』『板碑』『民俗』『城館』の計26冊である。

『通史編7 近代2』（大正から昭和前期を対象）では、大きく変化する市民の生活や町並の変化などを多様な豊富なカラー図版と最新の研究成果を基にわかりやすく紹介している。

『特別編8 慶長遣欧使節』では、慶長遣欧使節に関する国内外の文献史料と美術工芸資料を総合的に集成し、慶長遣欧使節の全貌に迫っている。

そのほかに、通史編『現代1』は平成22年度中、通史編『現代2』は平成23年度中の刊行を目指して、資料調査及び執筆作業が進められた。また、特別編『地域誌』については、資料調査を中心とした作業が進行中である。

『伊達政宗文書』など既に刊行を終えたものについても随時その補足調査を行い、その成果を機関誌『市史せんだい』などに発表している。



1. 委員

市史編さん事業においては、学識経験者、市職員などで構成される11人の仙台市史編さん委員の指導・助言のもと、編集や監修などを行う専門委員13人によって随時協議が行われている。また調査分析を行う担当者として、在仙の研究者を中心に調査分析委員17人、さらに執筆委員を8人委嘱して作業を進めている。これらの委員は、近代現代・慶長遣欧使節・地域誌の部会に属して、調査分析および執筆作業を行い、必要に応じて各部会の下に小部会を設けて活動している。

2. 資料調査

資料調査は専門委員および各部会の要望、市民からの情報提供などに基づいて実施されている。

今年度は、『慶長遣欧使節』に関連してスペイン、ヴァチカンをはじめとする国内外にわたる調査を行った。また、平成20年度に立ち上げた『地域誌』部会では、執筆担当地区を決定した上で、各担当者による精力的な調査が進められている。そのほかの部会でも前年度に引き続き精力的な調査を行った。

〔主な調査箇所〕

仙台市／秋保市民センター

秋保総合支所

荒町小学校

泉区役所

泉図書館

片平市民センター

上杉山通小学校

光明寺

市企画市民局

市教育委員会

市健康福祉局

市民図書館

仙台商工会議所

仙台文学館

せんだいメディアテーク

東北大学大学院教育学研究科

東北大学附属図書館

東北福祉大学鉄道交流ステーション

宮城教育大学附属図書館

宮城県公文書館

宮城県青年会館

宮城県／宮城県図書館

観瀾亭松島博物館

岩手県／一関市博物館

東京都／国立国会図書館

東京都立中央図書館

大阪府／南蛮文化館

ヴァチカン／ヴァチカン美術館

ヴァチカン秘密文書館

スペイン／インディアス総合文書館

コルドバ市文書館

シマンカス総合文書館

セビリヤ市文書館

トレド市文書館

マドリッド国立図書館

宮城県漁業協同組合仙台支所／宮城県漁業協同組合関係資料／194点

(3) 整理作業を行った借用資料（主なもの）

荒浜浄土寺文書

荒町小学校学校日誌

内島家文書

大童家文書

坂琢治関係資料

佐々重文書

七郷村長喜城農業関係資料

仙台藩士伊東家文書（第一次・第二次受入）

仙台藩鉄砲鍛冶今野家文書

登米伊達家関係資料

根白石村地押絵図関係資料

菱沼家文書（第三次受入）

逸見英夫氏所蔵資料

※このほかにも、多数の個人宅での調査および市内各所での調査を行った。

3. 資料収集

資料調査を行った資料の一部については、所蔵者の同意を得て借用し、館内で調査・整理作業を行っている。こうした資料については随時くん蒸を実施して虫菌類による損傷を防ぐとともに、原則として目録を作成し、マイクロフィルムなどによる撮影を行っている。

また、古書店などを通して仙台関係の近世の古文書や近代以降の各種資料の収集も行っている。

(1) 購入資料（主なもの）

宮城郡御林絵図、村絵図など／13点

支倉家関係資料／7点

菅井梅関書状／一卷

(2) 寄贈資料

※寄贈者(敬称略)／内容／数量 の順に記載

金子克子／水道事業関係資料／1点

菅野邦男／宮城県第一女子高等学校合唱部関係資料など通信簿／4点

佐藤政一／戦前の教科書／2点

多木和夫／仙台市内遠望パノラマ写真／1点

千葉久太郎／追廻住宅関係資料／55点

中川正人／演劇関係資料など／3点

橋本恵子／東北実業銀行関係資料／1点

三上正之／仙台藩医大森家文書／73点

4. 仙台市史セミナー

仙台市史セミナーは、市史編さん事業で得られた調査分析成果を市民へ発表することを目的に平成3年度から年1回実施しているイベントである。

今年度は、リニューアル工事のための閉館により仙台市史セミナーの開催が困難な状況なことから実施せず、例年2回開催している仙台市史講座を年3回実施している。

5. 仙台市史講座

仙台市史講座は、市内59カ所に設置されている市民センターとの共催によるイベントで、『仙台市史』編さん事業成果の地域還元と『仙台市史』の読者層の拡大を目的に年2回程度実施している。講演のテーマは、市史編さん事業で得られた調査研究成果のなかから、開催場所に即したものを選択している。今年度は以下の3カ所で講演を行った。

第18回仙台市史講座

日 時：平成21年9月19日（土）13：30～15：30

場 所：広瀬市民センター

参加者：102人

テーマおよび講師

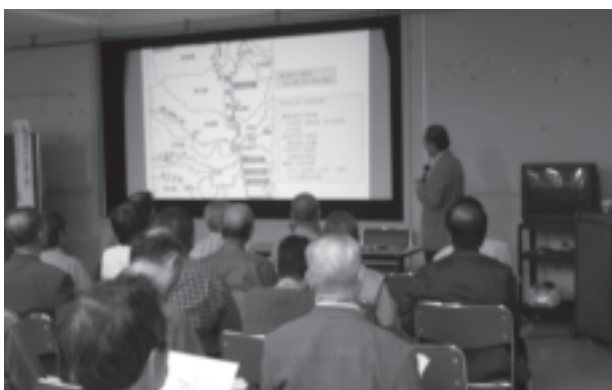
「戦国時代の道と城」

市史編さん室主査 菅野正道

「関山街道と広瀬の史跡」

仙台市史編さん専門委員

東北大学東北アジア研究センター教授 平川新



第19回仙台市史講座

日 時：平成21年10月17日（土）13：00～15：00

場 所：宮城西市民センター

参加者：101人

テーマおよび講師

「関山隧道への道

－明治初年の奥羽横断道路構想－」

東北大学教育研究支援者 佐藤大介



第20回仙台市史講座

日 時：平成22年1月23日（土）13：30～15：30

場 所：田子市民センター

参加者：86人

テーマおよび講師

「七北田川流域と近代都市仙台

－都市の進展と人と物－」

仙台市史編さん調査分析委員

仙台市歴史民俗資料館主事 畑井洋樹



6. 講師派遣

市史編さん事業の成果の市民などへの普及を目的として、学校や各種の団体、機関などからの依頼を受けた場合、職員を派遣して仙台の歴史に関する講話を行っている。また、市政でまえ講座として広聴相談課を通して講話の依頼を受けて職員を派遣する場合もある。

- ・館外への講師派遣 34回
- ・市政でまえ講座 3回

7. 刊行物

(1) 『市史せんだい Vol.19』

9月30日発行 A5判 128ページ

特集 政令指定都市20年あれこれ

「政令指定都市移行時における大区役所制の採用」

鳴海 渉

「あのときを振り返って－石井市長から藤井市長へ－」

氏家 道也

「地下鉄南北線の泉中央駅延伸前後の泉区の変容」

針生 登

「ごみ処理行政の20年間を振り返って」

遠藤 守也

「せんだいメディアテーク開館」

奥山恵美子

「国際交流で豊かな人のつながりを」

池田 規子

「仙台城跡国史跡指定時の石垣保存と長櫓復元の
問題」

七海 雅人

「戦後最大の冷害と米の自由化」

渡邊 龍彦

「仙台市国際知的産業特区」

白川由利枝

「ホントの、本のプロジェクト委員会、奔走記」

一力 徳子

「[広瀬川の清流を守る条例] 制定後の広瀬川の変
遷」

日下 均

「仙台市に見る地域情報と創作活動」

浅井 宣夫

「定禅寺ストリートジャズフェスティバルの立ち
上げ」

米竹 隆

「[楽都仙台] への取り組み 二つの国際音楽コン
クール」

伊深 久男

「もしもベガルタ仙台がなかったら…」

竹鼻 純

論文 女子教育者戸板関子の生涯と業績

佐藤和賀子 (仙台市史編さん執筆委員)

論文 会津藩征討と京都詰仙台藩士

栗原伸一郎 (市史編さん室嘱託)

研究ノート 仙台藩の高札場

—根白石村肝入鷲尾家文書からの一考察—

倉橋真紀 (市史編さん室嘱託)

史料紹介 伊達政宗文書・補遺 (三)

史料紹介 入生田康欣明治三年公私雑誌抄

相原陽三 (仙台市史編さん調査分析委員)



(2) 『せんだい市史通信 第21号』

平成21年7月発行 A4判 4ページ

(3) 『せんだい市史通信 第22号』

平成22年2月発行 A4判 4ページ



表13 「仙台市史」刊行年次計画

(○数字は既刊)

刊行年度	通史編	資料編	特別編
平成5 (1993) 年度		⑩ 伊達政宗文書1	① 自然
平成6 (1994) 年度		① 古代中世	② 考古資料
平成7 (1995) 年度		② 近世1	③ 美術工芸
平成8 (1996) 年度		③ 近世2	④ 市民生活
平成9 (1997) 年度			⑤ 板碑・⑥ 民俗
平成10 (1998) 年度	① 原始	⑤ 近代現代1	
平成11 (1999) 年度	② 古代中世	④ 近世3	
平成12 (2000) 年度			
平成13 (2001) 年度	③ 近世1	⑥ 近代現代2	
平成14 (2002) 年度	④ 近世2	⑪ 伊達政宗文書2	
平成15 (2003) 年度	⑤ 近世3	⑦ 近代現代3	
平成16 (2004) 年度		⑫ 伊達政宗文書3	
平成17 (2005) 年度	① 原始 [改訂版]		⑦ 城館
平成18 (2006) 年度		⑧ 近代現代4 ⑬ 伊達政宗文書4	
平成19 (2007) 年度	⑥ 近代1	⑨ 仙台藩の文学芸能	
平成20 (2008) 年度			
平成21 (2009) 年度	⑦ 近代2		⑧ 慶長遣欧使節
平成22 (2010) 年度	8 現代1		
平成23 (2011) 年度	9 現代2		
平成24 (2012) 年度			9 地域誌
平成25 (2013) 年度			10 年表・索引

6. ボランティア

仙台市博物館では、平成9年度から博物館解説ボランティアを導入し13年目を迎えた。ボランティア登録者は「仙台市博物館ボランティア三の丸会」を組織し活動している。平成21年度登録者数は、新規21人を含めた94人であった。平成19年度より任期制を導入し、今年度は5・6期生10名が任期終了となった。

ボランティア活動は班毎に行っている。活動班は7人～8人の12班編成で、2週間に1回のペースで活動日が回ってくる。活動の中心は常設展示室での資料解説であり、映像による館内紹介（以下、ガイドランスと記す）やプレイミュージアムでのアシスタント補助なども行う。

会の運営や情報交換は、月1回の役員会によって行われる。役員会は会長、副会長、会計、監事、各部長、班長、担当館職員からなる。会全体の活動方針に関わる事項は、年1回の総会で決定している。

1. 平成21年度の新規会員の募集・養成講座・登録

新規ボランティア募集により35人の応募があり、抽選の結果21人を新会員候補とした。新会員候補は、以下のボランティア養成講座（4回11講座、13:30～16:30）を受講し、会員として登録される。

- ・第1回 5/17（日）：ボランティア概論／博物館案内・ボランティア活動の実際
- ・第2回 5/23（土）：プレイミュージアム研修／歴史展示の解説①／三の丸会の活動（三の丸会）
- ・第3回 5/30（土）：接遇実技実習（外部講師）／美術展示の解説①
- ・第4回 6/28（日）：歴史展示の解説②／美術展示の解説②

※ 6/6（土）の登録・更新式で新規の21人に登録証を交付し、翌日から活動開始とした。最終の第4回ボランティア養成講座は、新会員が解説活動を1回経験した後に受講するように設定した。

2. 展示解説とガイドランス

今年度は博物館改修工事に伴う休館のため、平成21年8月30日までの活動であった。そのため活動日数が130日間（前年度比171日減）、延べ活動人数が881人（同1,012人減）、解説件数が4,483件（同3,508

件減）、解説対象となった観覧者は10,828人（同7,518人減）であった。このうち、事前に解説予約のあったものは16件・525人で、その多くが40分から1時間程度での解説依頼であった。ガイドランスは予約制で2件・39人に対応した。

3. 部会活動

ボランティアは、活動班の他にも、以下の5部会のいずれかに属し活動している。

表14 ボランティアの5つの部会

部会	活動内容
運営部	会員全体の総務的な部で、総会や各種会議の準備、議事録作成などを担当。
研修部	会員の研究発表会、学習会、講演会、館外研修会などの企画・運営を担当。ただし今年度は、博物館休館中に実施した博物館主催の研修会が多かったため、研修部主催の講演会と館外研修会は中止した。
会報部	三の丸会会報40～41号を発行した。博物館情報、会員による紀行文、勉強会報告などが掲載され、情報共有化の大切な手段となっている。
英語部	海外からの来館者に英語で解説する。事前予約による英語解説は1件・10名であった。
資料部	観覧者からの質問と回答をまとめた「尋解集」の作成や、各種資料の収集・保管を担当。古文書講読会を実施した。

4. ボランティア研修会

主に休館期間を利用して以下のように10回の研修会を行った。特に、近隣の文化施設での研修会は、リニューアルオープン後、博物館を中心に施設間の連携を深め、観覧者の興味関心に応じてその回遊を促すという目的にそって実施された。

- ・8/29(土)美術歴史講座①……………55人
- ・9/9(水)館庭<仙台城三の丸跡>案内研修…59人
- ・10/23(金)仙台市縄文の森広場での研修…49人
- ・10/30(金)仙台市歴史民俗資料館での研修…49人
- ・11/15(日)仙台文学館での研修……………55人
- ・12/1(火)仙台市戦災復興記念館での研修…51人
- ・12/6(日)美術歴史講座②……………71人
- ・1/24(日)美術歴史講座③……………70人
- ・2/16(火)仙台市富沢遺跡保存館での研修…50人
- ・3/14(日)美術歴史講座④……………73人

7. 友の会

仙台市博物館友の会は、博物館活動を愛好する市民によって、昭和47年に結成された。以後、会員相互の親睦をはかりながら、歴史・美術・文化に関する教養を高めることを目標に、博物館を支援しながらその活動の普及に寄与してきた。

会員は賛助会員（年会費1口5,000円）・普通会員（年会費3,000円）・学生会員（年会費2,000円）からなる。普通会員は近年増加の傾向にあったが、今年度は改修工事に伴う休館の影響もあり、600人強に留まった。

平成21年度会員の構成は、別表の通りである。友の会の企画運営は、様々な職業・年齢層の15名の役員より構成される役員会において決定される。役員会は年6回開かれる。また役員は「友の会だより」を編集する編集委員会、研修旅行を企画・立案する研修委員会、講演会の司会や受付などを担当する講座委員会に属し、積極的に活動を行っている。

本年度事業は、別表のとおりである。今年度は、約半年に及ぶ休館の間にも、会としての活動の場を提供できるよう努めた。史跡めぐりを増やし、美術歴史講座を全4回にわたり開催、好評の講読会等も例年通り行い、いずれも数多くの会員の参加を得た。

表15 平成21年度会員内訳

	性別	年代	人数	
賛助会員			19	19
普通会員	男	10代	0	354
		20代	2	
		30代	9	
		40代	28	
		50代	69	
		60代	115	
		70代	88	
		80代～	22	
	その他	21	271	
	女	10代		0
		20代		5
		30代		6
		40代		17
		50代		68
		60代		94
70代		53		
80代～	13			
その他	15			
学生会員			5	5
計				649

平成21年度活動報告

1. 総会 4日20日 当館ホール 144名参加

2. 会議開催

(1) 役員会 6回

第1回 4月4日 第2回 6月6日 第3回 8月29日

第4回 12月6日 第5回 2月7日 第6回 3月14日

(2) その他の委員会

編集 2回 講座 6回 研修 13回

3. 事業

(1) 会報発行

6月5日 147号 (B5判変形カラー8頁)

9月1日 148号 (B5判変形カラー6頁)

12月3日 149号 (B5判変形カラー6頁)

3月4日 150号 (B5判変形カラー6頁)

(2) 行事

4/20 広報セミナー「朝鮮王朝の絵画展」

講師 内山淳一学芸室長 参加144名

5/2 紙織画講習会

講師 栃木県立美術館主任研究員 島一嘉氏 参加25名

5/20～21 研修会 日光方面

講師 樋口智之学芸員 参加33名

6/15 広報セミナー「カルタゴ展」

講師 酒井昌一郎学芸員 参加137名

6/27 史跡めぐりⅠ 榴岡周辺

講師 仙台歴史民俗資料館学芸員

佐々田弥生氏 水野沙織学芸員 参加62名

8/29 美術歴史講座①「綱村もゾッコン! 黄檗宗」

講師 樋口智之学芸員 参加102名

9/10 日帰り研修会 丸森方面

講師 仙台市史編さん調査分析委員 松浦順一氏 水野沙織学芸員 参加31名

10/17 史跡めぐりⅡ 仙台北城跡

講師 坂田美咲学芸員 参加60名

11/15 史跡めぐりⅢ 仙台文学館

講師 仙台文学館学芸室長 赤間亜生氏 参加38名

12/6 美術歴史講座②「仙台北城下の酒造り」

講師 水野沙織学芸員 参加61名

1/24 美術歴史講座③「仙台の社寺と彫刻」

講師 酒井昌一郎学芸員 参加78名

2/7 古文書講読会①「上杉景勝・直江兼統の手紙を読む」

講師 水野沙織学芸員 参加71名

2/28 古文書講読会②「参勤交代の舞台裏」

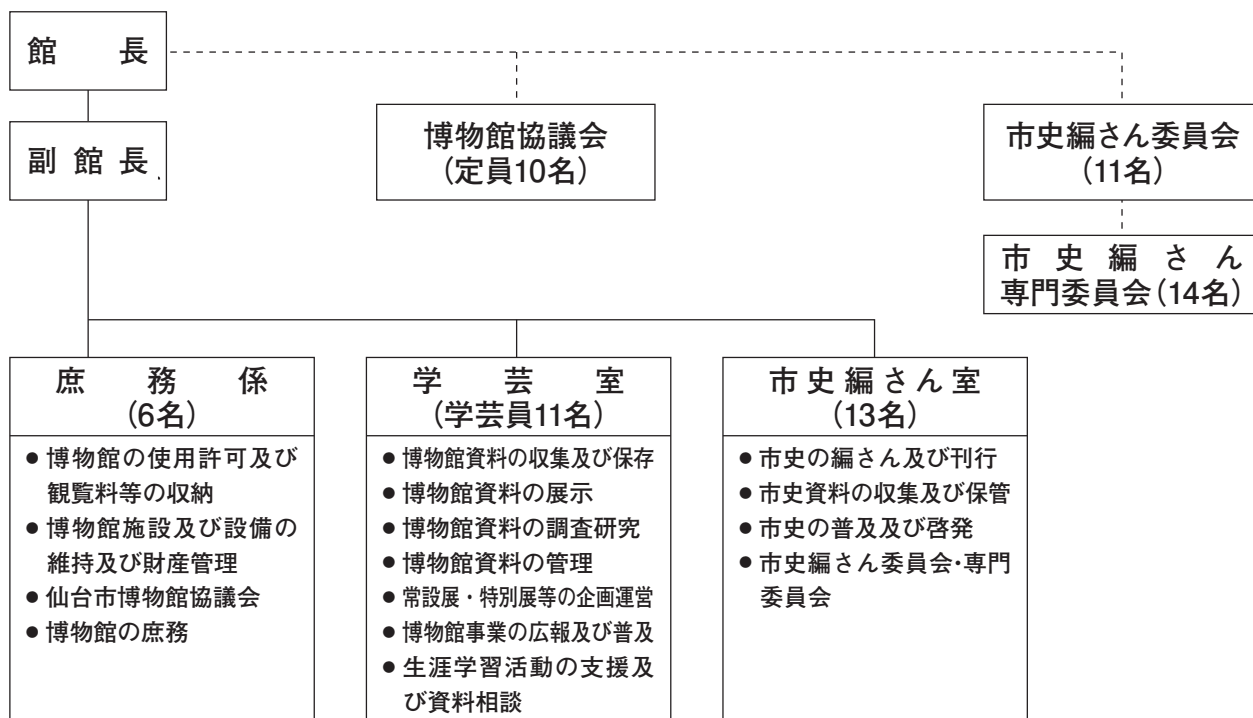
講師 坂田美咲学芸員 参加86名

3/14 美術歴史講座④「リニューアル後の博物館」

講師 内山淳一学芸室長 参加84名

8. 組織・予算・運営

組織・事務分掌（平成21年4月1日現在）



予算概要

表16 平成21年度予算概要

(単位：千円)

費目	当初予算額	摘要
1 運営管理費	(1) 光熱水費	44,745 電気、上・下水道、ガス使用料
	(2) 管理運営委託費	82,215 警備、清掃、電気機械設備運転保守、観覧料収納・案内、看板・演示具製作、展示物運搬・陳列等の委託費
	(3) 施設修繕費	7,300 機械設備等修繕費
	(4) 資料修繕費	1,275 収蔵資料修繕費
	(5) その他管理運営費	16,703 教育普及、調査研究、その他運営管理に要する経費
	小計	152,238
2 資料購入費	4,575	展示用美術工芸品・歴史資料等の購入経費
3 特別展覧会開催費	34,934	特別展覧会開催に要する経費
4 市史編さん費	49,852	「仙台市史」編さん・刊行に要する経費
5 維持修繕費	78,586	天井補強工事
6 仙台城ガイダンス機能拡充費	499,859	展示室改装業務委託
合計	820,044	

職 員 (平成21年 4 月 1 日現在)

館 長 佐 藤 敏 国
副 館 長 小 井 川 百 合 子

室・係	職 名	氏 名
庶 務 係	係 長	鈴 木 弘 美
	主 任	鈴 木 誠 一
	主 任	佐 々 木 洋 子
	主 任	相 澤 義 輝
	臨 時 職 員	勝 亦 涼 子
	非 常 勤 嘱 託 職 員	庄 司 晴 美
学 芸 室	室 長	内 山 淳 一
	指 導 主 事	岩 瀬 利 宏
	指 導 主 事	伊 東 真 文
	指 導 主 事	石 山 美 穂
	主 任	樋 口 智 之
	主 事	酒 井 昌 一 郎
	主 事	水 野 沙 織
	主 事	押 野 良 美
	主 事	坂 田 美 咲
	非 常 勤 嘱 託 職 員	氏 家 文 枝
	非 常 勤 嘱 託 職 員	鈴 木 か お る
市 史 編 さ ん 室	室 長 (再 任 用)	鵜 飼 幸 子
	主 査	菅 野 正 道
	主 任	昆 野 順 一
	非 常 勤 嘱 託 職 員	菅 原 よ し 子
	非 常 勤 嘱 託 職 員	明 石 治 郎
	非 常 勤 嘱 託 職 員	村 岡 淳 子
	非 常 勤 嘱 託 職 員	二 上 玲 子
	非 常 勤 嘱 託 職 員	倉 橋 真 紀
	非 常 勤 嘱 託 職 員	佐 々 木 徹
	非 常 勤 嘱 託 職 員	菅 原 友 子
	非 常 勤 嘱 託 職 員	栗 原 伸 一 郎
	非 常 勤 嘱 託 職 員	濱 田 直 嗣
非 常 勤 嘱 託 職 員	佐 藤 憲 一	

仙台市博物館協議会

仙台市博物館協議会は、仙台市博物館条例第10条並びに同施行規則第12条、第13条及び第14条により設置されている。委員は、学校教育及び社会教育の関係者並びに学識経験のある者の中から、教育委員会が委嘱・任命する。

仙台市博物館協議会委員（平成21年4月1日現在）

（五十音順・敬称略 ◎=会長 ○=副会長）

浅野 治志	宮城教育大学教授
◎有賀 祥隆	東京芸術大学客員教授
池田 友信	仙台市議会議員
泉 武夫	東北大学大学院教授
大藤 修	東北大学大学院教授
佐川 正敏	東北学院大学教授
○庄子 晃子	東北工業大学教授
伊達 泰宗	伊達家伯記念會取締役会長
仁平 道明	和洋女子大学教授
降矢美彌子	帝京平成大学教授

協議内容

第1回 平成21年7月14日（火）

- 1 報告事項
 - (1) 平成20年度及び平成21年4月～6月の観覧者数について
 - (2) 特別展「朝鮮王朝の絵画と日本」の結果報告について
 - (3) 特別展「古代カルタゴとローマ展」の中間報告について
 - (4) 市史編さん事業について
 - (5) 仙台城ガイダンス機能拡充等事業について
- 2 資料購入について

第2回 平成21年12月1日（火）

- 1 報告事項
 - (1) 平成21年7月～8月の観覧者数について
 - (2) 特別展「古代カルタゴとローマ展」の結果報告について
 - (3) 市史編さん事業について
 - (4) 総合展示室リニューアルの進捗状況について
 - (5) 平成22年度の事業について

- 2 協議事項
特別展「聖地チベット ポタラ宮と天空の至宝」について

第3回 平成22年3月23日（火）

- 1 報告事項
 - (1) 博物館のリニューアルオープンについて
 - (2) 市史編さん事業について
- 2 協議事項
特別展「インカ帝国のルーツ 黄金の都シカン」について

仙台市編さん委員会

仙台市史編さん事業の遂行に当たっては、仙台市史編さん委員会設置要綱により、幅広い視野からの指導・助言を得ることを目的として仙台市史編さん委員会を設置して、学識経験者・市職員などに委員を委嘱している。また、市史編さんに必要な編集や監修などを行うために専門委員会を設置して、随時協議を行っている。

仙台市史編さん委員

順不同敬称略 ○=委員長

大石 直正 東北学院大学名誉教授

鈴木 広康 仙台市議会市民教育委員会委員長
(~6/10)

菊地 昭一 仙台市議会市民教育委員会委員長
(6/11~)

櫻井恵美子 仙台市ジュニアオーケストラ副団長

佐佐木邦子 作家

佐藤 晃郎 仙台商工会議所副会頭

立花 鶴憲

(株)河北TBCカルチャーセンター代表取締役

朴澤 泰治 朴沢学園理事長

吉田 正志 東北大学大学院教授

○笠原 周二 仙台市副市長

大嶋 英世 仙台市総務局長 (~10/15)

藤本 章 仙台市総務局長 (10/16~)

荒井 崇 仙台市教育委員会教育長

仙台市史編さん専門委員

順不同敬称略 ○=委員長

飯泉 茂 東北大学名誉教授

入間田宣夫 東北芸術工科大学教授

岩本 由輝 東北学院大学教授

○大石 直正 東北学院大学名誉教授

佐藤 憲一 前仙台市博物館館長

齋藤 鋭雄 宮城県農業短期大学名誉教授

(~9/30)

須藤 隆 東北大学名誉教授

難波 信雄 東北学院大学名誉教授

羽下 徳彦 東北大学名誉教授

濱田 直嗣 元仙台市博物館館長

平川 新 東北大学東北アジア研究センター教授

守屋 嘉美 東北学院大学教授

小井川百合子 仙台市博物館副館長

内山 淳一 仙台市博物館学芸室長

協議内容

仙台市史編さん委員会

第45回 平成21年7月23日

- (1) 市史編さん事業に関する提言書について
- (2) 平成21年度仙台市史編さん事業について
- (3) 平成22年度仙台市史編さん事業計画について

第46回 平成22年3月26日

- (1) 平成21年度仙台市史編さん事業について
- (2) 平成22年度仙台市史編さん事業計画について

仙台市史編さん専門委員会

第111回 平成21年5月9日

- (1) 平成21年度事業について

第112回 平成21年7月5日

- (1) 平成21年度事業について
- (2) 平成22年度事業計画について

第113回 平成21年9月4日

- (1) 平成21年度事業の進捗状況
- (2) 平成22年度事業について

- (3) 市史編さん事業の収束と展開について

第114回 平成21年11月6日

- (1) 平成21年度事業の進捗状況について

第115回 平成22年1月15日

- (1) 平成21年度事業の進捗状況について
- (2) 平成22年度事業計画について
- (3) 専門委員会の開催方法について

第116回 平成22年3月8日

- (1) 平成21年度調査分析報告書について
- (2) 平成22年度事業計画について

9. 利用状況

月別観覧者数

表18 月別観覧者数

(人)

月	個人				団体				無料	総計
	一般	高校	小中	計	一般	高校	小中	計		
4	2,753	80	786	3,619	1,909	67	297	2,273	1,499	7,391
5	7,044	305	1,510	8,859	5,908	580	1,538	8,026	4,111	20,996
6	4,260	258	904	5,422	3,078	189	689	3,956	2,206	11,584
7	8,169	532	493	9,194	6,413	543	343	7,299	3,461	19,954
8	9,361	906	1,015	11,282	6,052	647	367	7,066	12,448	30,796
9				0				0	0	0
10				0				0	0	0
11				0				0	0	0
12				0				0	0	0
1				0				0	0	0
2				0				0	0	0
3				0				0	0	0
計	31,587	2,081	4,708	38,376	23,360	2,026	3,234	28,620	23,725	90,721

開館日数 130日

施設利用状況

表19 ギャラリー利用状況

利用団体名	利用期間	日数	利用内容
日本陶磁協会	6.6～6.7	2	茶会、列品解説
博物館		122	特別展、資料整理等
計		124	一般貸出利用者計 130人

表20 ホール利用状況

利用団体名	利用期間	日数	利用内容
仙台市教育委員会確かな学力育成室	4.22	1	研修会
日本神経学会	5.19～5.22	4	ビデオ上映
日本陶磁協会	6.7	1	講演会
仙楽会	8.23	1	演奏会
pleade游	8.30	1	発表会
博物館		37	講演会、ビデオガイダンス等
計		45	一般貸出利用者計 1,505人

開館日数 130日

10. 条例・規則・要綱等

仙台市博物館条例

昭和60年12月19日

仙台市条例第二九号

仙台市博物館条例（昭和36年仙台市条例第二十二号）の全部を改正する。

（設 置）

第一条 歴史、美術工芸等に関する資料を収集し、保管し、及び展示して市民の教養の向上、調査研究等に資するとともに、これらの資料に関する調査研究及び普及活動を行うことを目的として、博物館を設置する。

（名称及び位置）

第二条 博物館の名称及び位置は、次のとおりとする。

名 称	位 置
仙台市博物館	仙台市青葉区川内二十六番地

（観覧料）

第三条 博物館が展示する資料を観覧しようとする者は、別表第一に定める観覧料を納入しなければならない。

（使用の許可）

第四条 別表第二に掲げる施設（以下「施設」という。）を使用しようとする者は、教育委員会の許可を受けなければならない。

2 教育委員会は、次の各号の一に該当するときは、前項の許可をしないことができる。

- 一 公の秩序を乱すおそれがあるとき
- 二 管理上支障を及ぼすおそれがあるとき
- 三 使用目的が博物館の設置目的に反するとき

（使用料）

第五条 施設の使用料は、別表第二に定めるとおりとする。

2 使用料は、前条第一項の許可の際に納入しなければならない。ただし、市長が必要と認めるときは、使用料を別に定める納期限までに納入させることができる。

（使用料の額の特例）

第五条の二 市長は、前条第二項ただし書の規定により使用料を別に定める納期限までに納入させる

場合において、当該納期限の日以前に、第四条第一項の許可を受けた者につき次の各号のいずれかに該当すると認めるとき（使用料が既納の場合を除く。）は、前条第一項の規定にかかわらず、同項に規定する使用料の額の範囲内で使用料の額を定めることができる。

一 天災その他自己の責めによらない事由により施設を使用できないとき

二 市長が別に定める期間内に施設の使用の取りやめを申し出たとき

（使用許可の取消し等）

第六条 教育委員会は、次の各号の一に該当するときは、第四条第一項の許可を取り消し、又は使用を制限し、若しくは停止することができる。

一 第四条第一項の許可を受けた者がこの条例又はこの条例に基づく規則に違反したとき

二 第四条第二項各号の一に該当することとなったとき

（観覧料等の返還）

第七条 既納の観覧料及び使用料は、返還しない。ただし、次の各号のいずれかに該当すると市長が認めるときは、その全部又は一部を返還することができる。

一 観覧料を納入した者につき天災その他自己の責めによらない事由により観覧できないとき

二 使用料を納入した者につき第五条の二各号のいずれかに該当するとき

（観覧料等の減免）

第八条 市長は、特別の事由があると認めるときは、観覧料及び使用料を減免することができる。

（損害賠償）

第九条 博物館の建物、付属設備又は資料を損傷し、又は滅失した者は、その損害を賠償しなければならない。

（博物館協議会）

第十条 博物館法（昭和26年法律第二百八十五号）第二十条第一項の規定に基づき、博物館に仙台市博物館協議会（以下「協議会」という。）を置く。

2 協議会の委員の定数は、10人とする。

3 協議会の委員の任期は、2年とする。ただし、補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。

（委 任）

第十一条 この条例の施行に関し必要な事項は、市長又は教育委員会が定める。

附 則

この条例は、昭和61年3月1日から施行する。

附 則（昭63、12・改正）抄

この条例は、昭和64年4月1日から施行する。

附 則（平3、12・改正）抄

（施行期日）

- 1 この条例は、平成4年4月1日から施行する。
（経過措置）
- 2 次項に定めるものを除き、この条例の施行の日（以下「施行日」という。）前になされた使用の許可その他これに類する行為に係る使用料又は手数料については、なお従前の例による。

附 則（平9、3・改正）抄

（施行期日）

- 1 この条例は、平成9年4月1日から施行する。
（経過措置の原則）
- 2 次項から附則第十三項まで定めるものを除き、この条例の施行の日（以下「施行日」という。）前になされた使用の許可その他これに類する行為に係る使用料又は手数料については、なお従前の例による。

附 則（平15、7・改正）

この条例は、公布の日から施行する。

附 則（平16、3・改正）

この条例は、公布の日から施行する。

別表第一（第三条関係）

区 分		金額（1人につき）	
常 設 展	個人 利用	一 般	400円
		高 校 生	200円
		小学生・中学生	100円
	団体 利用	一 般	320円
		高 校 生	160円
		小学生・中学生	80円
特 別 展		1,500円の範囲内で教育委員会が定める額	

備考

- 一 特別展の観覧料を納入したものは、常設展は無料とする。
- 二 団体利用とは、30人以上の団体による利用をいう。
- 三 常設展のみの団体利用においては、引率者

は、30人に1人の割合で無料とする。

別表第二（第四条、第五条関係）

使用区分		使用時間	
		午 前 (9:00~12:00)	午 後 (13:00~16:30)
ホ ー ル	入場料を徴収しない場合	4,200円	6,500円
	入場料を徴収する場合	12,600円	19,500円
ギ ャ ラ リ ー	入場料を徴収しない場合	3,000円	4,400円
	入場料を徴収する場合	9,100円	13,200円

備考

- 一 全日（午前9時～午後4時30分）の使用時間に係る使用料は、午前及び午後の使用料の合計額とする。
- 二 使用時間が本表に定める使用時間に満たない場合は、時間割計算は、行わない。
- 三 本表に定める使用時間を超えて使用する場合における当該超える分に係る使用料は、その使用が午前9時以前又は正午から午後1時までのときは午前、午後4時30分以降のときは午後の使用料の額の時間割計算による。この場合において、超える時間に一時間に満たない端数があるときは、これを一時間に切り上げる。
- 四 本表に定める使用時間に準備等のために使用する場合の使用料は、当該使用料の2分の1とする。
- 五 日曜日又は国民の祝日に関する法律（昭和23年法律第七十八号）に規定する休日に使用する場合は、本表に定める使用料の2割増しとする。
- 六 付帯設備の使用料は、教育委員会が定める。
- 七 暖房し、又は冷房する場合の使用料は、教育委員会が定める。

仙台市博物館条例施行規則

昭和61年1月24日

仙台市教育委員会規則第二号

仙台市博物館条例施行規則（昭和36年仙台市教育委員会規則第八号）の全部を改正する。

（趣旨）

第一条 この規則は、仙台市博物館条例（昭和60年仙台市条例第二九号。以下「条例」という。）の施行に関し必要な事項を定めるものとする。

（開館時間）

第二条 博物館の開館時間は、午前9時から午後4時45分までとする。ただし、教育委員会が必要と認めるときは、臨時にこれを変更することができる。

（休館日）

第三条 博物館の休館日は、次のとおりとする。ただし、教育委員会が必要と認めるときは、休館日に開館することができる。

- 一 月曜日（国民の祝日に関する法律（昭和23年法律第七十八号）に規定する休日（以下「休日」という。）に当たる日を除く。）
- 二 休日の翌日（休日又は日曜日に当たる日を除く。）
- 三 1月1日から1月4日まで及び12月28日から12月31日まで
- 四 その他教育委員会が必要と認める日

（入館者の遵守事項）

第四条 入館者は次の事項を遵守しなければならない。

- 一 博物館の建物、付属設備若しくは資料を損傷し、若しくは汚損し、又はそのおそれのある行為をしないこと
- 二 許可を得ないで博物館の資料の撮影、模写等をしてしないこと
- 三 所定の場所以外の場所で喫煙又は飲食をしないこと
- 四 他の入館者に迷惑となる行為をしないこと
- 五 その他係員の指示に従うこと

（入館の制限）

第五条 教育委員会は、博物館を利用する者が次の各号の一に該当するときは、入館を拒絶し、又は退館を命ずることがある。

- 一 適当な指導者又は付添人のない満六歳未満の者

二 でい酔者

三 他人に危害を及ぼし、若しくは他人の迷惑となるおそれのある物品を携帯し、又は動物を伴う者

四 係員の指示に従わない者

五 その他管理上支障があると認められる者（観覧券）

第六条 博物館が展示する資料を観覧しようとする者は、観覧券の交付を受け、展示室の入り口においてこれを係員に提示しなければならない。

2 前項の観覧券は、観覧料の納入の際に交付する。ただし、教育委員会が特別の事由があると認めるときは、この限りでない。

（使用許可の手続）

第七条 条例第四条第一項の許可（以下「使用許可」という。）を受けようとする者は、使用しようとする日（以下「使用日」という。）の十四日前までに使用申込書を教育委員会に提出しなければならない。

2 前項の使用申込書の受付は、使用日の3月前から行うものとする。ただし、教育委員会が特に必要と認めるときは、6月前から行うことができる。

3 教育委員会は、使用許可をしたときは、使用承認書を交付するものとする。

（市長が必要と認めるときの使用料の納期限）

第七条の二 条例第五条第二項ただし書に規定する市長が必要と認めるときは、次の各号に掲げる場合とし、同項ただし書に規定する別に定める納期限は、当該各号に掲げる場合の区分に応じ、それぞれ当該各号に定める日とする。

- 一 使用料を口座振替の方法により納入する場合
使用許可を受けた日の属する月の翌月末日
- 二 教育委員会が特別な事由があると認める場合
教育委員会が定める日

（市長が必要と認めるときの使用料の額の特例）

第七条の三 使用許可を受けた者（以下「使用者」という。）が条例第五条の二第一号に該当する場合において、同条の規定により市長が定める使用料の額は、零とする。

2 条例第五条の二第二号に規定する市長が別に定める期間は、次の各号に掲げる期間とし、同条の規定により市長が定める使用料の額は、前項の規定にかかわらず、次の各号に掲げる期間の区分に応じ、それぞれ当該各号に定める額とする。

- 一 使用許可を受けた日から使用日の一月前の日までの期間 零
 - 二 使用日の一月前の日翌日から使用日の七日前の日までの期間 条例第五条第一項の規定による使用料（以下「従前の使用料」という。）の額の五割に相当する額（その額に百円未満の端数が生じたときは、これを切り上げた額）。ただし、附帯設備の使用料及び暖房し、又は冷房する場合の使用料にあつては、零
 - 三 使用日の七日前の日翌日から使用日までの期間 従前の使用料の額
- 3 使用者が前条の納期限までに使用料を納入せず、かつ、施設を使用する意思があると認められないときは、当該納期限の日において使用の取りやめの申出がなされたものとみなし、前項の規定を準用する。

（使用者の遵守事項）

第八条 使用者は、次の事項を遵守しなければならない。

- 一 使用の権利を譲渡し、又は転貸しないこと
- 二 使用許可を受けた目的以外の目的に使用しないこと
- 三 入場人員は収容定員を超えないこと
- 四 火災、盗難、人身事故その他の事故防止に留意すること
- 五 許可を得ないで寄付金の募集、物品の販売又は飲食物の提供を行わないこと
- 六 許可を得ないで広告物等の掲示若しくは配布又は看板立札等の設置を行わないこと
- 七 使用の終了後、直ちにその使用に係る施設を原状に回復すること

（観覧料等の返還）

- 第九条** 観覧料を納入した者が天災その他自己の責めによらない事由により観覧できないときは、観覧料の全額を返還する。
- 2 使用者が条例第五条の二第一号に該当すると教育委員会が認める場合において、条例第七条ただし書の規定により既納の使用料を返還する場合の返還額は、既納の使用料の全額とする。
 - 3 使用者が条例第五条の二第二号に該当すると教育委員会が認める場合において、条例第七条ただし書の規定により既納の使用料を返還する場合の返還額は、次の各号に掲げる期間の区分に応じ、それぞれ当該各号に定める額とする。

- 一 第七条の三第二項第一号に掲げる期間 既納の使用料の全額
 - 二 第七条の三第二項第二号に掲げる期間 既納の使用料の額から当該額の五割に相当する額（その額に百円未満の端数が生じたときは、これを切り上げた額）を控除して得た額（附帯設備の使用料及び暖房し、又は冷房する場合の使用料にあつては、既納の使用料の全額）
- 4 使用料の返還を受けようとする者は、使用料返還申込書を教育委員会に提出しなければならない。
- （観覧料等の減免）

第十条 観覧料又は使用料の減免を受けようとする者は、減免を受けようとする事由を記載した減免申込書を教育委員会に提出しなければならない。ただし、教育委員会が減免申込書の提出を必要としない事由があると認める者については、この限りでない。

（付帯設備等の使用料）

第十一条 条例別表第二備考第六号の付帯設備の使用料は、別表一に表の定めるとおりとする。

- 2 条例別表第二備考第七号の暖房し、又は冷房する場合の使用料は、同表に定める使用料の額に同表の使用区分に応じ別表二の表に定める額を加算した額とする。

（博物館協議会）

第十二条 仙台市博物館協議会（以下「協議会」という。）に会長及び副会長1人を置き、委員の互選によって定める。

- 2 会長は、協議会を代表し、会務を総理する。
- 3 副会長は、会長を補佐し、会長に事故があるとき又は会長が欠けたときは、その職務を代行する。

第十三条 協議会の会議（以下「会議」という。）

は、会長が必要と認めたときに開催する。

- 2 会長は、会議を招集し、その議長となる。
- 3 会議は、委員の過半数が出席しなければこれを開くことができない。
- 4 会議の議事は、出席した委員の過半数をもって決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

第十四条 協議会の庶務は、博物館において処理する。

（実施細目）

第十五条 この規則の実施細目は、教育長が定める。

附 則

この規則は、昭和61年3月1日から施行する。

附 則（昭和63、2・改正）

この規則は、昭和63年4月1日から施行する。

附 則（平成9、3・改正）

（施行期日）

- 1 この規則は、平成9年4月1日から施行する。
（経過措置）
- 2 改正後の別表一の表の規定は、この規則の施行の日（以下「施行日」という。）以後になされた使用許可に係る付帯設備使用料について適用し、施行日前になされた使用許可に係る付帯設備使用料については、なお従前の例による。

附 則（平成9、9・改正）

この規則は、公布の日から施行する。

附 則（平成15、9・改正）

（施行期日）

- 1 この規則は、平成15年11月16日から施行する。ただし、第六条及び第十条の改正規定は、公布の日から施行する。
- 2 改正後の第九条の規定は、この規則の施行の日以後に使用料の返還の申込みがあった場合について適用する。

附 則（平16、3・改正）

この規則は、平成16年4月1日から施行する。ただし、第八条の改正規定及び第十三条の改正規定（「定例会及び臨時会とし、定例会は隔月に、臨時会は」を削る部分を除く。）は、公布の日から施行する。

附 則（平17、3・改正）

この規則は、平成17年4月1日から施行する。

別表第一（第十一条関係）

一 付帯設備使用料

区 分	単 位	金額（1回につき）
舞台照明設備	1式	1,000円
音 響 設 備	1式	2,100円
視 聴 覚 設 備	1式	1,000円

備考 1回とは、使用1回（使用が2日以上にわたる場合は、1日）をいう。

二 暖房し、又は冷房する場合の加算額

区 分	加算額（1時間につき）
ホ ー ル	500円
ギャラリー	400円

備考 暖房し、又は冷房する時間に1時間未満の端数があるときは、これを1時間に切り上げる。

仙台市史編さん委員会設置要綱

（平成2年9月13日市長決裁）

（設 置）

第1条 仙台市市政百周年を記念して実施される“仙台市史”（以下「市史」という。）編さん事業を行うにあたり、広い視野から検討するため、仙台市史編さん委員会（以下「委員会」という。）を設置する。

（所管事項）

第2条 委員会の所管事項を次のとおり定める。

- (1) 市史編さんの基本的事項に関すること。
- (2) その他市史編さんに関して必要な指導・助言に関すること。

（組 織）

第3条 委員会は15名以内の委員をもって組織する。

- 2 委員は学識経験者、市職員、その他必要と認められる者の中から市長が委嘱し、又は任命する。
- 3 委員の任期は2年とし、再任を妨げない。ただし、任期途中で交代した場合は残任期間とする。

（委員長）

第4条 委員会に委員の互選により、委員長を置く。

- 2 委員長は、委員会の会議を招集し、これを総務する。
- 3 委員長に事故ある時は、委員長があらかじめ指名する者がその職務を代理する。

（会 議）

第5条 委員会の会議は、委員の過半数の出席がなければ開くことができない。

- 2 委員会の議事は、出席した委員の過半数をもって決し、可否同数のときは、委員長の決するところとする。

（専門委員会）

第6条 委員会に、市史編さんに必要な編集、監修等を行うため、専門委員会を置く。

- 2 専門委員会は、15名以内の専門委員をもって組織する。
- 3 専門委員は、学識経験者の中から市長が委嘱する。
- 4 専門委員の任期は2年とし、再任を妨げない。ただし、任務の終了した時点までとし、任期途中で交代した場合は残任期間とする。

第7条 第4条及び第5条の規定は、専門委員会に準用する。

(庶務)

第8条 委員会の庶務は、教育局博物館において処理する。

(委任)

第9条 委員会の運営に関しこの要綱に定めるもののほか必要な事項は教育長が定める。

附則

この要綱は平成2年9月13日から実施する。

附則

この要綱は平成4年4月1日から実施する。

附則

- 1 この改正は、平成4年12月1日から実施する。
- 2 平成6年9月12日に委嘱する委員の任期は、平成8年3月31日まで、平成4年12月4日に委嘱する専門委員の任期は、平成6年3月31日までとする。

11. 仙台市博物館のあゆみ

旧 館

昭和34年 3月	博物館建設調査着手
35年 1月	学識経験者による基本構想検討
3月	博物館建設費予算計上
9月	博物館建設事務局設置
10月	博物館建設工事着工
36年 6月	同工事竣工（鉄筋コンクリート 2階建一部地階 総床面積883㎡）
7月	博物館条例設定
9月	博物館施行規則及び処務規定制定
10月	同条例・施行規則施行
38年 7月	第一次増築工事（鉄筋コンクリート 2階建 総床面積244㎡）
～11月	
43年 3月	第二次増築工事（鉄筋コンクリート 2階建 総床面積879㎡）
～11月	
46年12月	第三次増築工事（鉄筋コンクリート 2階建 総床面積405㎡）
～47年 3月	
50年11月	文化財保護法第48条に基づく勧告・承認館認定
58年 3月	新館建築のため休館
5月	旧博物館解体工事開始
7月	旧博物館解体工事完了

新 館

昭和57年 4月	博物館基本構想策定委員会設置
7月	同委員会が「仙台市博物館基本構想報告書」を仙台市教育委員会へ提出
9月	市議会で新博物館基本設計費を議決
11月	新博物館建設基本設計開始
58年 5月	新博物館建設実施設計・展示実施設計開始
59年 1月	博物館改築工事安全祈願祭及び起工式執行
60年 7月	建築工事完了
11月	定礎式
61年 2月	展示工事完了
3月	新博物館開館
62年 9月	新博物館入場者50万人達成
平成元年10月	新博物館入場者100万人達成
11年 8月	新博物館入場者300万人達成
13年 6月	「慶長遣欧使節関係資料」47点 歴史資料国宝第1号指定
19年 9月	「仙台城ガイダンス機能拡充等事業」基本計画策定業務開始
20年 3月	「仙台城ガイダンス機能拡充等事業」基本計画策定完了
21年 3月	仙台城ガイダンス機能拡充等総合設計完了
21年 9月	「仙台城ガイダンス機能拡充等事業」館内改修工事着工
22年 3月	改修工事完了

仙台市博物館年報

第37号 平成21年度

編集・発行 仙 台 市 博 物 館
仙台市青葉区川内26番地
〈仙台城三の丸跡〉
Tel.022(225)2557/0814

印 刷 遠山青葉印刷株式会社
仙台市青葉区木町通二丁目5-24
Tel.022(272)7371

平成22年5月31日発行

©Sendai City Museum 2010

再生紙を使用しています